

第2次小樽市都市計画マスタープラン策定のための アンケート調査（まとめ）

平成30年11月

小樽市建設部都市計画課

目次

1. 調査概要.....	1
2. 小樽市の住み心地について	3
3. 小樽市のこれまでのまちづくりについて	5
4. 今後のまちづくりにおいて重点をおくべきもの.....	12
5. お住まいの地域周辺の生活環境について	24
6. お住まいの地域の「たからもの」・「将来へ残したいもの」	33
7. お住まいの地域のイメージについて（現在・将来）	34
8. 魅力的なまちにするための提案	38
9. 身近なみどりについて.....	39
10. 身近な公園について	43
11. 「みどりのふれあい」について	48
12. まとめ.....	54
(1) まちづくりの満足度について.....	54
(2) 定住意向について	58

まとめの見方

- ・図中の「n」とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数を示す。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。このため、単一選択式の質問においては、全ての選択肢の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・回答者が複数の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・図表やコメント部においては、調査票における質問及び選択肢の語句などを一部簡略化している場合がある。

1. 調査概要

(1) アンケートの目的

本調査は、「第2次小樽市都市計画マスタープラン」の策定にあたり、小樽市民のまちづくりに対する意向を把握するため調査したものです。

(2) 調査地域

小樽市内全域

(3) 調査期間

平成30年4月27日～平成30年5月14日

(4) 調査対象

小樽市在住の18歳以上の方

(5) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(6) 抽出方法

住民基本台帳より小樽市民3,000人を無作為に抽出

(7) 回収状況

配布数3,000票 回収数727票 回収率24.2%

(8) 属性

表1 性別の回答数

選択肢	回答数	構成比
男	251	34.5%
女	443	60.9%
回答不明・未回答	33	4.5%
合計	727	100.0%

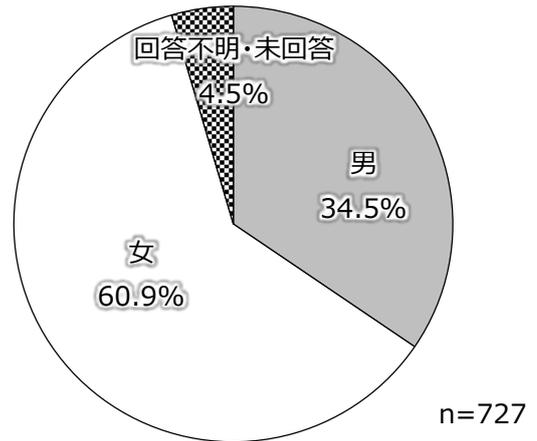


図1 性別の回答

表2 年代別の回答数

選択肢	回答数	構成比
18歳～29歳	136	18.7%
30歳～39歳	116	16.0%
40歳～49歳	96	13.2%
50歳～59歳	130	17.9%
60歳～69歳	120	16.5%
70歳以上	98	13.5%
回答不明・未回答	31	4.3%
合計	727	100.0%

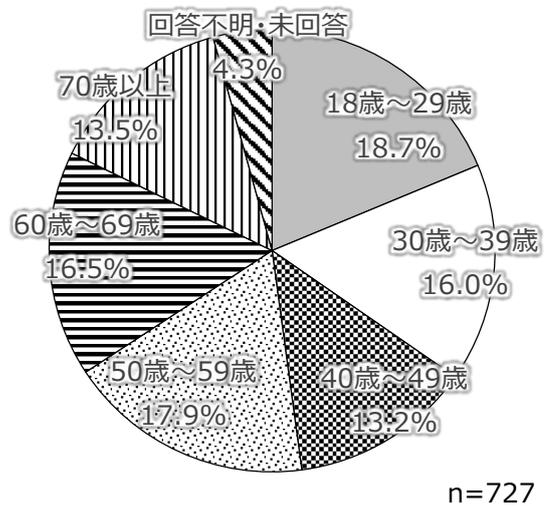


図2 年代別の回答

表3 地区別の回答数

選択肢	回答数	構成比
塩谷地区	83	11.4%
長橋、オタモイ地区	81	11.1%
高島地区	66	9.1%
手宮地区	64	8.8%
中央地区	93	12.8%
山手地区	73	10.0%
南小樽地区	75	10.3%
朝里地区	91	12.5%
銭函地区	89	12.2%
地区不明	12	1.7%
合計	727	100.0%

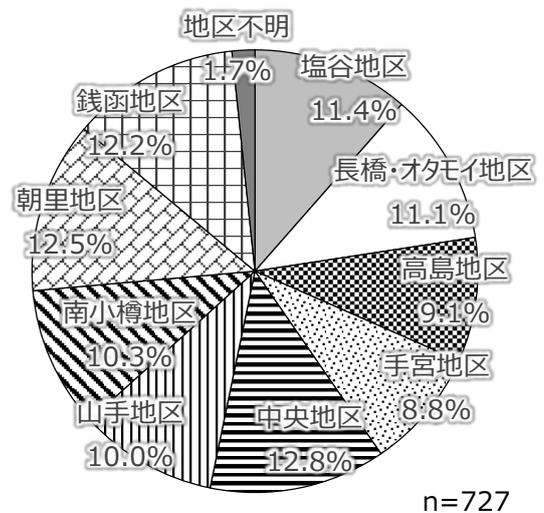


図3 地区別の回答

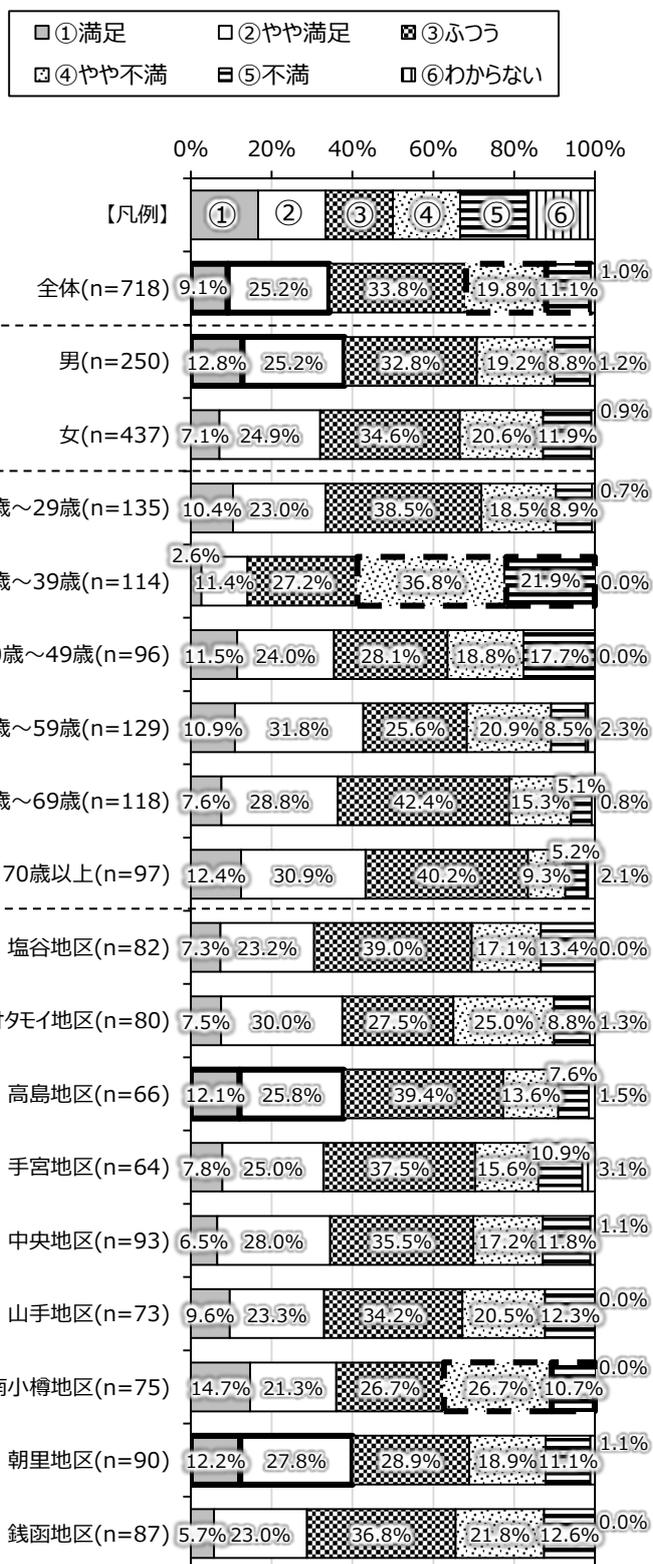
2. 小樽市の住み心地について

問1 あなたは小樽市の住み心地についてどう思いますか。(単一選択)

「小樽市の住み心地」について、「ふつう」と回答した人が33.8%と最も多くなっています。

満足度の高い回答^{※1} (34.3%) と満足度の低い回答^{※2} (30.9%) はほぼ同率^{※3}となっております。

図4 住み心地の満足度



性別で見ると、「男性」の満足度の高い回答が38.0%と女性より6.0ポイント上回っています。

年代別で見ると、年齢が上がるにつれて満足度の低い回答が少なくなる傾向がある中で、「30歳～39歳」の満足度の低い回答が58.7%と最も多くなっています。

地区別で見ると、満足度の高い回答では朝里地区が40.0%と最も多く、満足度の低い回答では南小樽地区が37.4%と最も多くなっています。

また、高島地区においては、「ふつう」が39.4%と最も多いものの、満足度の低い回答が最も少なく21.2%となっており、満足度の高い回答が満足度の低い回答を16.7ポイント上回っています。

※1 満足度が高い＝「満足」+「やや満足」

※2 満足度が低い＝「不満」+「やや不満」

※3 クロス集計結果では、差異が5%以内のものについて、「ほぼ同率」、「大きな差異なし」、「同様の傾向」と表記。

問2 あなたは、これからも小樽市に住みたいと思いますか。(単一選択)

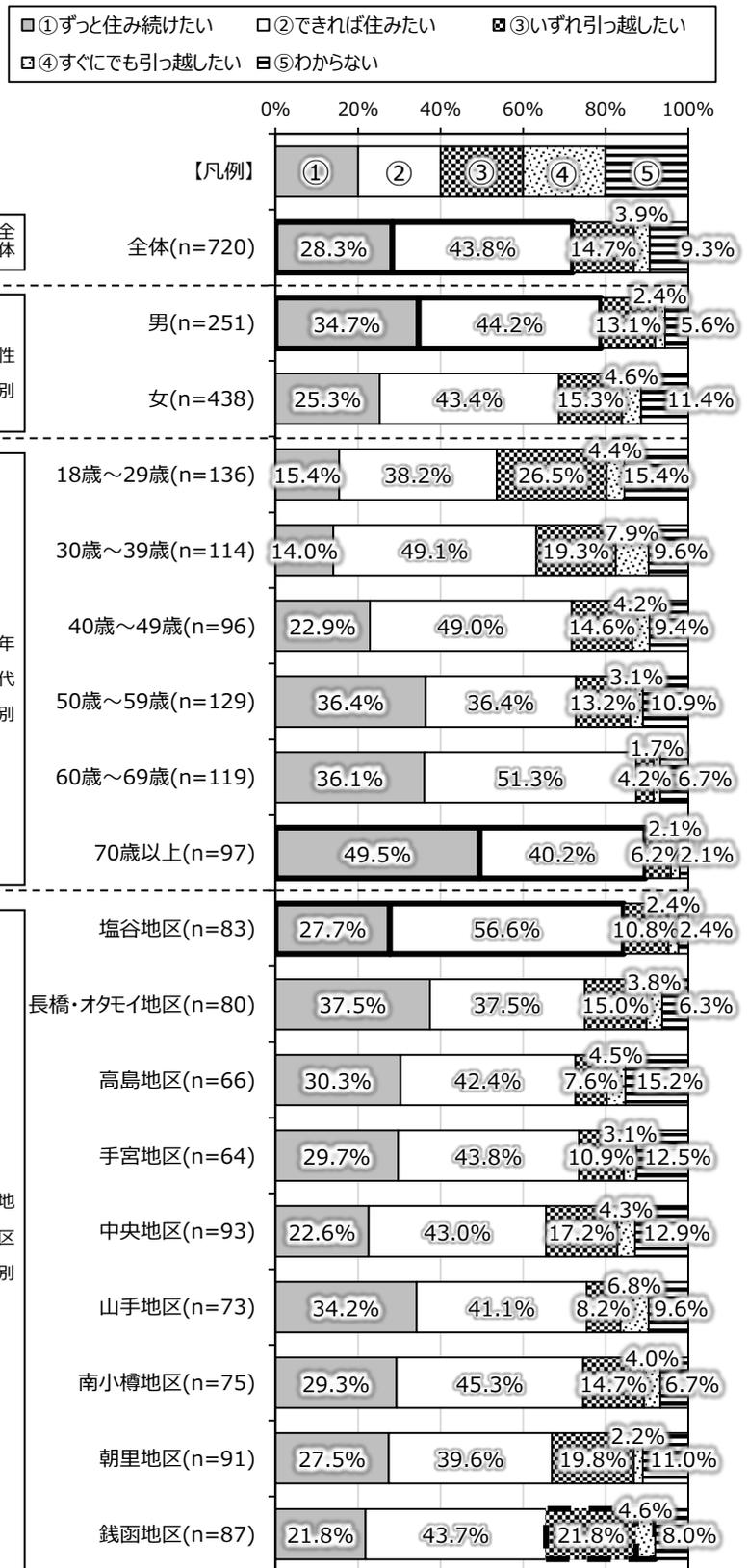
図5 定住意向

定住意向については、「できれば住みたい」が43.8%と最も多く、「ずっと住み続けたい」の28.3%と合わせると、定住に肯定的な回答^{※4}が72.1%となっています。

性別で見ると、男性は定住に肯定的な回答が78.9%と、女性より10.2ポイント多くなっています。

年代別に見ると、年代が低くなるにつれて「いずれ引っ越したい」の割合が多く、年代が高くなるにつれて定住に肯定的な回答が多くなっており、特に70歳以上で定住に肯定的な回答が89.7%と最も多くなっています。

地区別による定住に肯定的な回答では、塩谷地区が84.3%と最も多くなっており、定住に否定的^{※5}な回答では、銭函地区が26.4%と最も多くなっています。



※4 「定住に肯定的」=「ずっと住み続けたい」+「できれば住みたい」

※5 「定住に否定的」=「すぐにでも引っ越したい」+「いずれ引っ越したい」

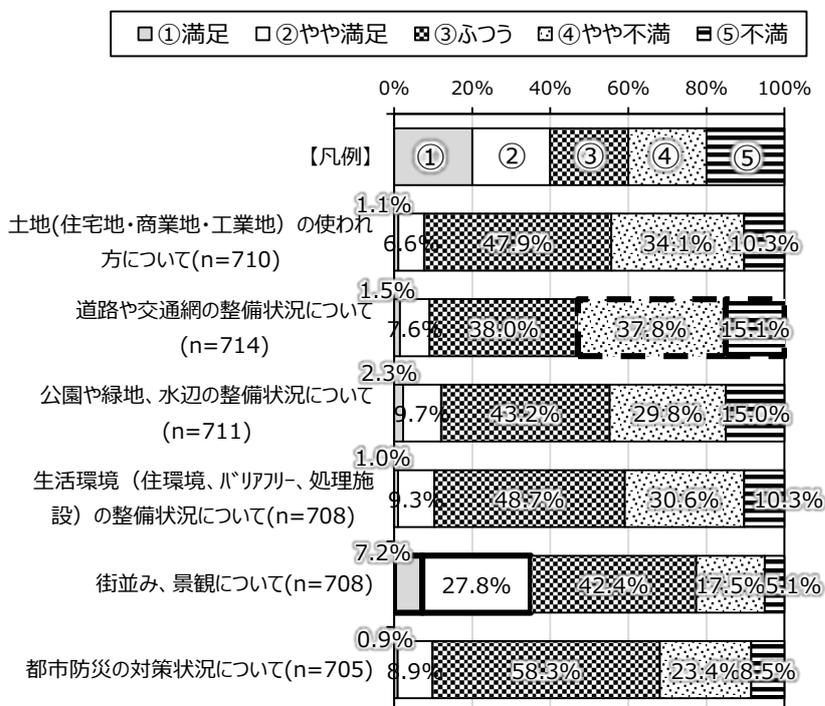
3. 小樽市のこれまでのまちづくりについて

問3 小樽市のこれまでのまちづくりについてどのように感じていますか。(単一選択)

小樽市のこれまでのまちづくりについて、どの項目においても「ふつう」が最も多くなっていますが、「道路や交通網の整備状況について」は、満足度の低い回答が52.9%と最も多くなっています。

一方で、「街並み、景観について」は、満足度の高い回答が35.0%と、満足度の低い回答を12.4ポイント上回っています。

図6 これまでのまちづくりの満足度



ここでは、満足を5点、不満を1点とし、平均点を出すことにより各項目の満足度の高さを比較しやすくしています。(平均は3)

「街並み、景観について」の平均点が3.15と最も高くなり、「道路や交通網の整備状況について」の平均点が2.43と最も低くなっています。

表4 これまでのまちづくりの満足度

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	合計	平均
土地(住宅地・商業地・工業地)の 使い方について	8	47	340	242	73	710	2.54
道路や交通網の整備状況について	11	54	271	270	108	714	2.43
公園や緑地、水辺の 整備状況について	16	69	307	212	107	711	2.54
生活環境(住環境、バリアフリー、 処理施設)の整備状況について	7	66	345	217	73	708	2.60
街並み、景観について	51	197	300	124	36	708	3.15
都市防災の対策状況について	6	63	411	165	60	705	2.70

(1) 土地（住宅地・商業地・工業地）の使われ方について

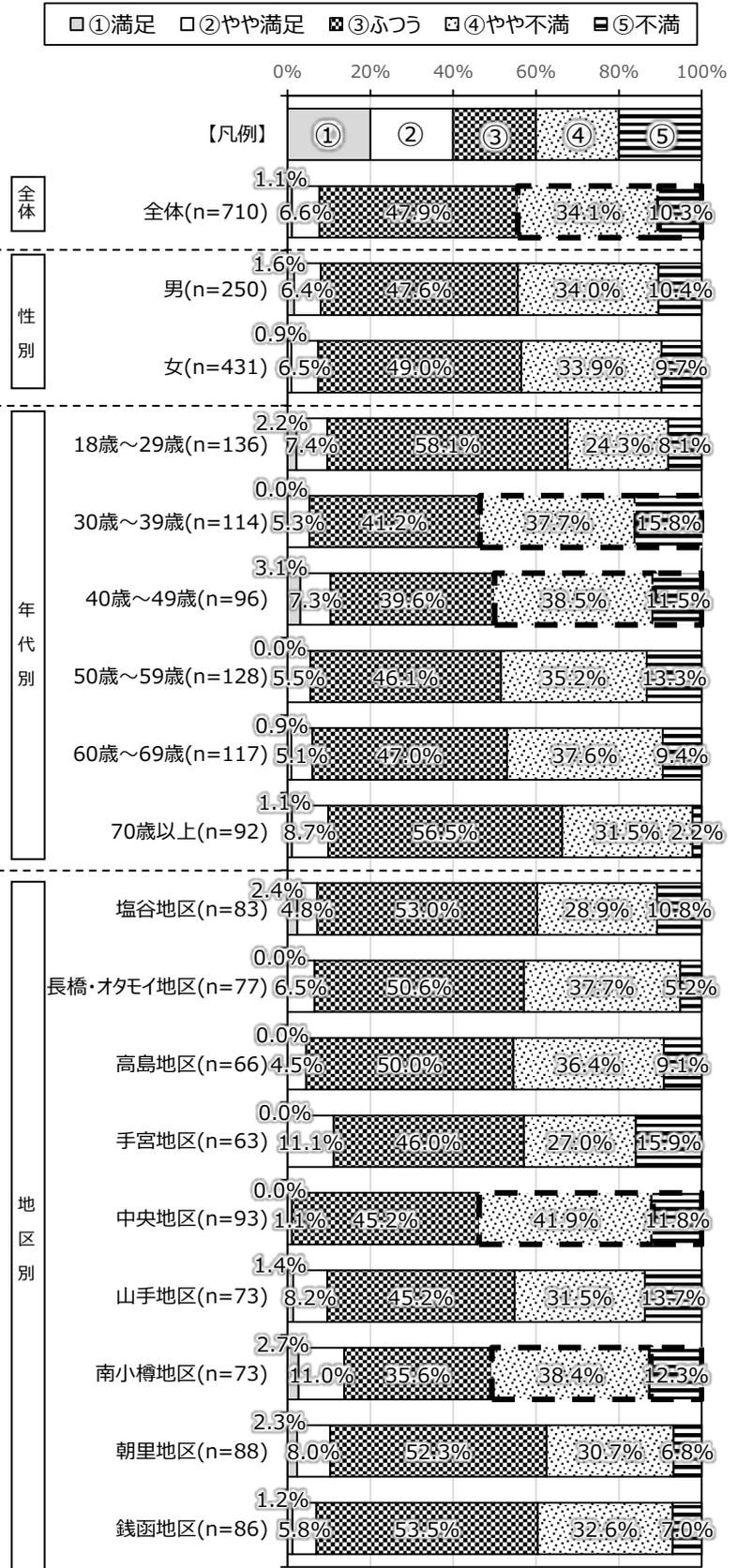
図6-1 土地の使われ方の満足度

小樽市のこれまでのまちづくりにおいて、土地（住宅地・商業地・工業地）の使われ方の満足度は、「ふつう」が47.9%と最も多くなっていますが、満足度の低い回答は44.4%と、満足度の高い回答を36.7ポイント上回っています。

性別で見ると、大きな差異はありません。

年代別で見ると、どの年代でも「ふつう」が最も多くなっていますが、満足度の低い回答が「30歳～39歳」と「40歳～49歳」が50%以上となっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「ふつう」を選択する中、「満足度の低い回答では「中央地区」と「南小樽地区」で50%以上となっています。



(2) 道路や交通網の整備状況について

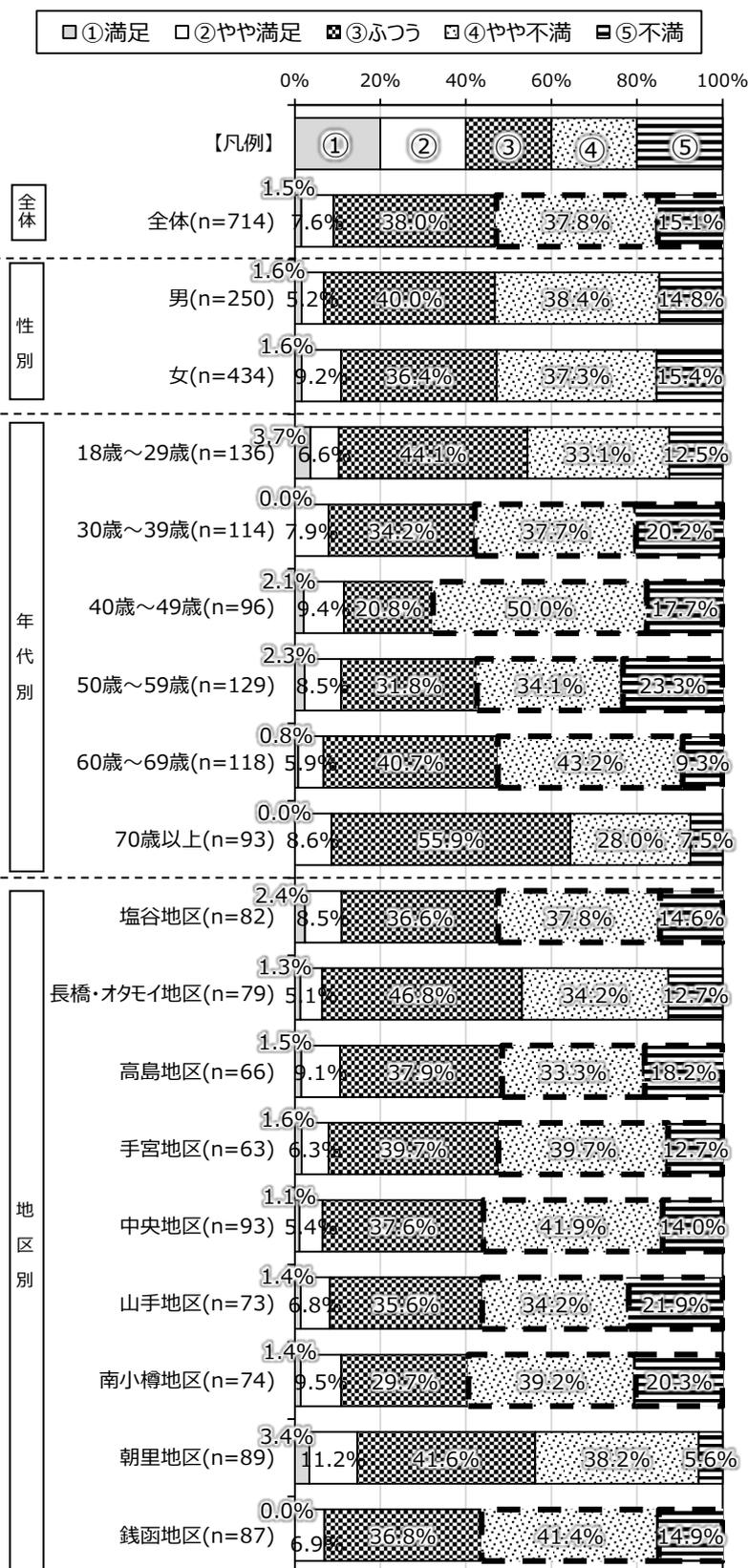
小樽市のこれまでのまちづくりにおいて、道路や交通網の整備状況についての満足度は「ふつう」が38.0%と最も多くなっていますが、満足度の低い回答は52.9%と、満足度の高い回答を43.8ポイント上回っています。

性別で見ると、大きな差異はありません。

年代別で見ると、「18歳～29歳」と「70歳以上」を除き、満足度の低い回答が50%以上となっています。

地区別で見ると、「長橋・オタモイ地区」と「朝里地区」を除き、満足度の低い回答が50%以上となっています。

図6-2 道路や交通網の整備状況の満足度



(3) 公園や緑地、水辺の整備状況について

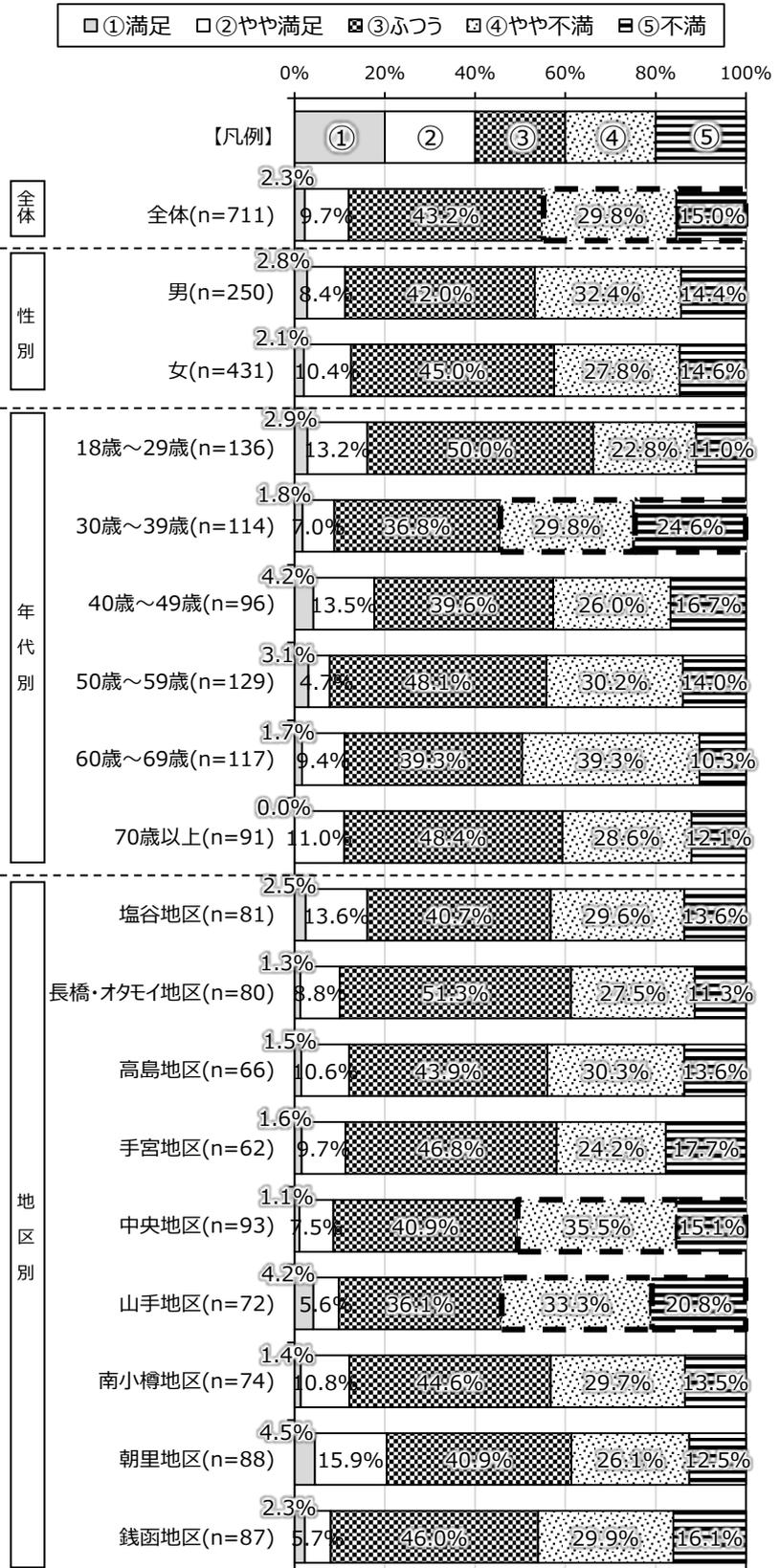
小樽市のこれまでのまちづくりにおいて、公園や緑地、水辺の整備状況についての満足度は「ふつう」が43.2%と最も多くなっていますが、満足度の低い回答は44.8%と、満足度の高い回答を32.8ポイント上回っています。

性別で見ると、大きな差異はありません。

年代別で見ると、「30歳～39歳」で満足度の低い回答が54.4%と最も多くなっています。

地区別で見ると、「中央地区」と「山手地区」では、「ふつう」が最も多くなっていますが、満足度の低い回答が50%以上となっています。

図6-3 公園や緑地、水辺の整備状況の満足度



(4) 生活環境（住環境、バリアフリー、処理施設）の整備状況について

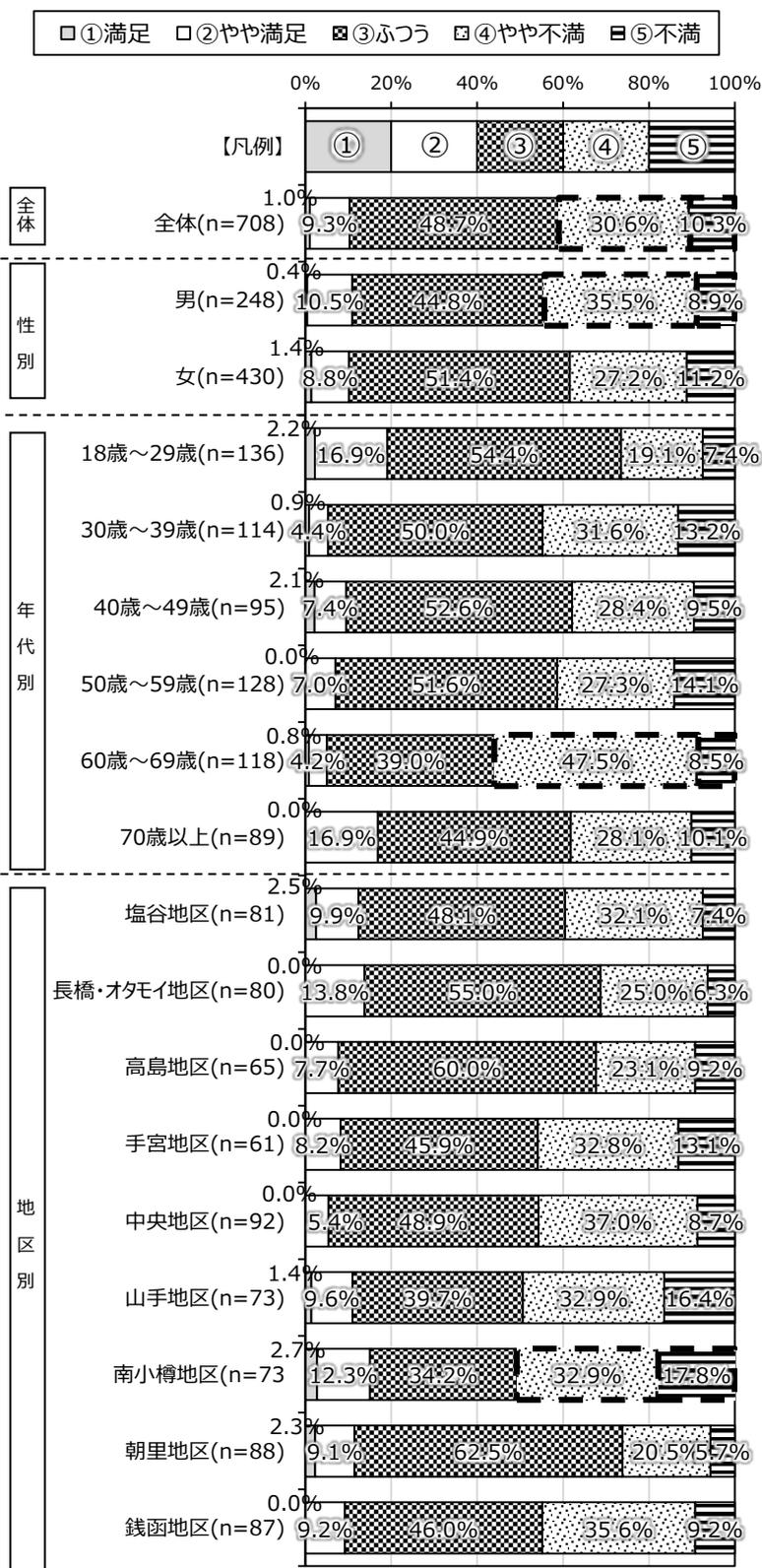
小樽市のこれまでのまちづくりにおいて、生活環境（住環境、バリアフリー、処理施設）の整備状況についての満足度は、「ふつう」が48.7%と最も多くなっていますが、満足度の低い回答は40.9%と、満足度の高い回答を30.6ポイント上回っています。

性別で見ると、「男性」は、満足度の低い回答では44.4%と「女性」より6.0ポイント上回っています。

年代別で見ると、「60歳～69歳」で満足度の低い回答が56.0%と最も多くなっています。

地区別で見ると、「南小樽地区」が満足度の低い回答が50.7%と最も多くなっています。

図6-4 生活環境の整備状況の満足度

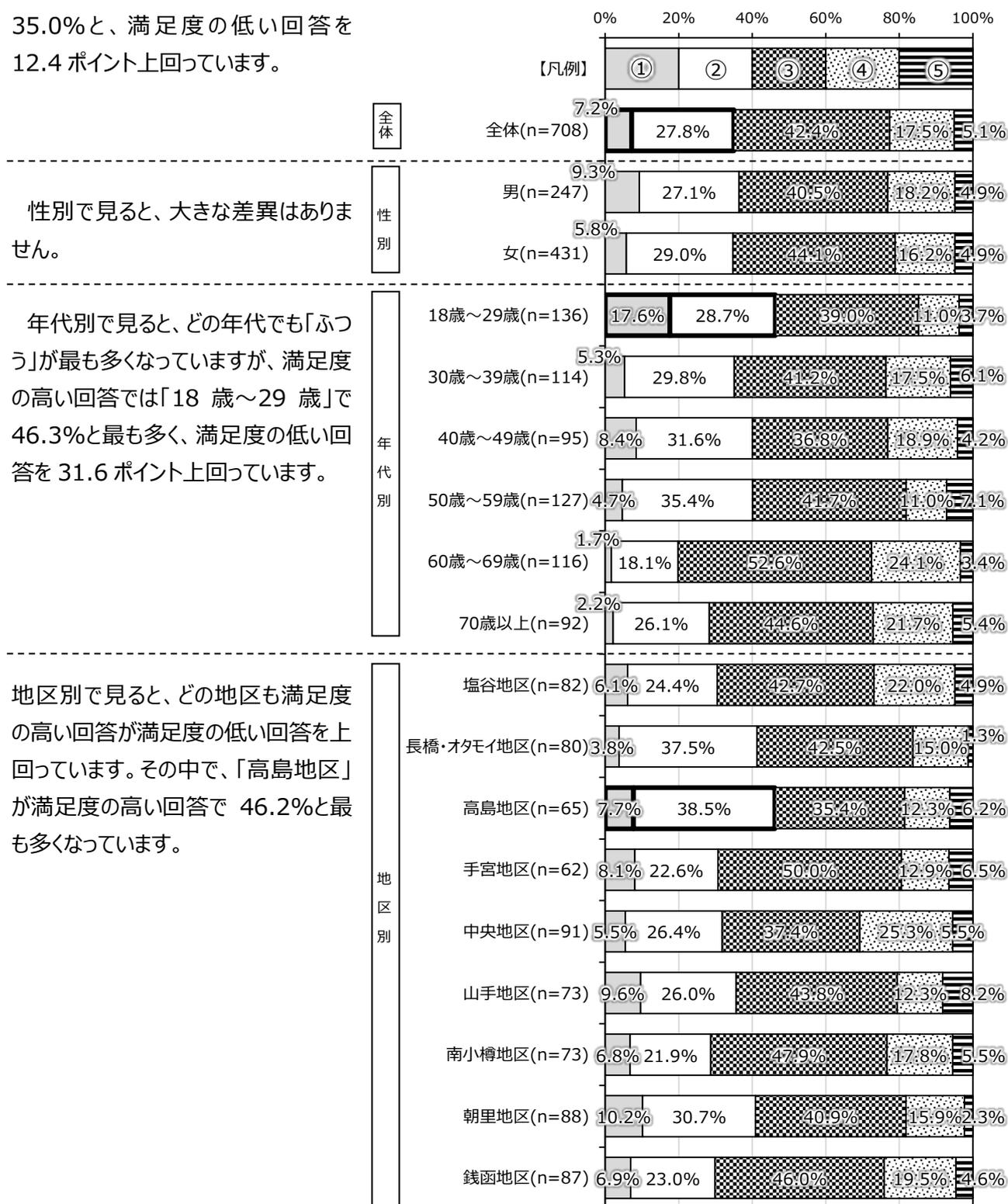


(5) 街並み、景観について

小樽市のこれまでのまちづくりにおいて、街並み、景観についての満足度は、「ふつう」が42.4%と最も多くなっていますが、満足度の高い回答は35.0%と、満足度の低い回答を12.4ポイント上回っています。

図6-5 街並み、景観の満足度

□①満足 □②やや満足 ■③ふつう □④やや不満 ▨⑤不満



性別で見ると、大きな差異はありません。

年代別で見ると、どの年代でも「ふつう」が最も多くなっていますが、満足度の高い回答では「18歳～29歳」で46.3%と最も多く、満足度の低い回答を31.6ポイント上回っています。

地区別で見ると、どの地区も満足度の高い回答が満足度の低い回答を上回っています。その中で、「高島地区」が満足度の高い回答で46.2%と最も多くなっています。

(6) 都市防災の対策状況について

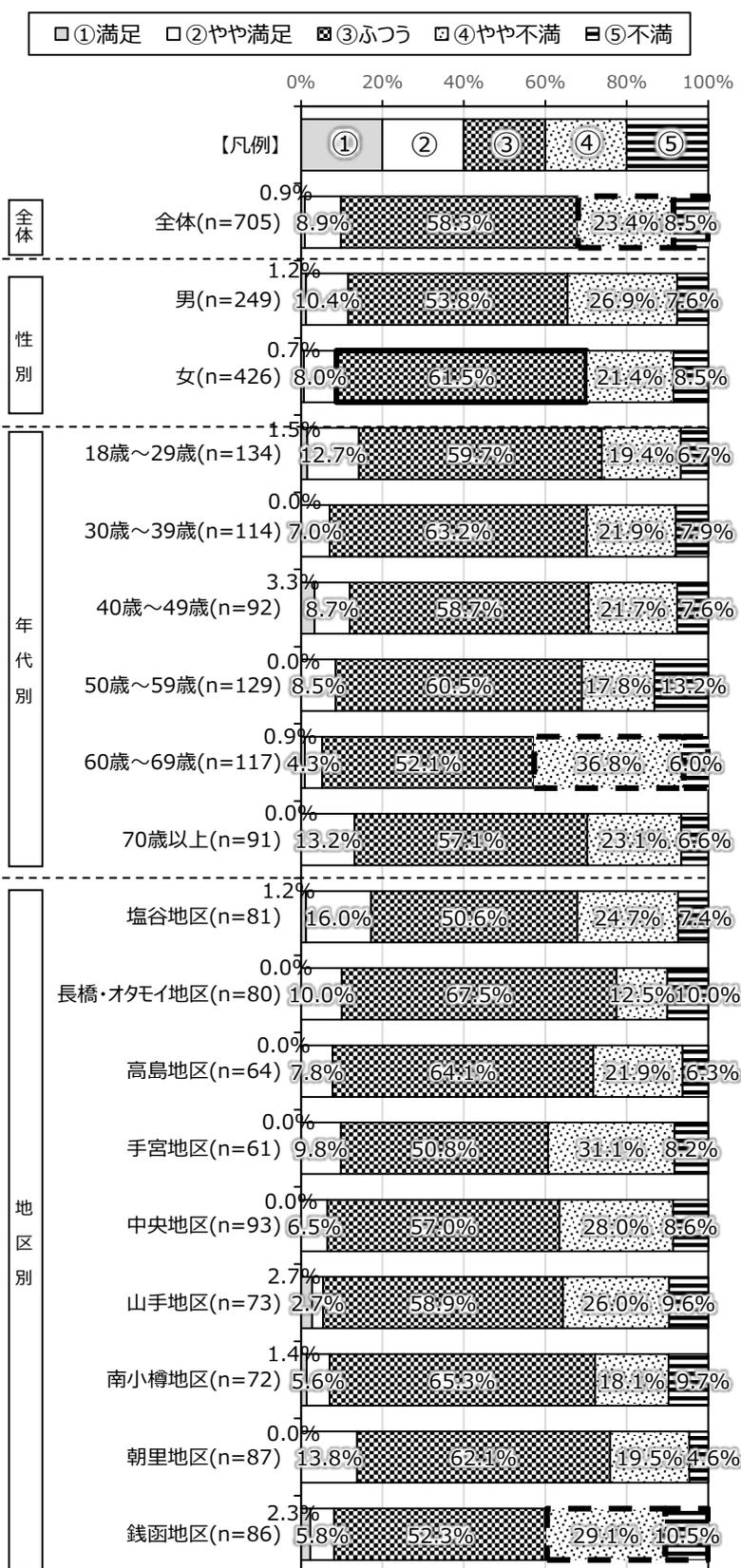
小樽市のこれまでのまちづくりにおいて、都市防災の対策状況についての満足度は、「ふつう」が58.3%と最も多くなっていますが、満足度の低い回答では31.9%と、満足度の高い回答を22.1ポイント上回っています。

性別で見ると、「ふつう」では「女性」が61.5%と、「男性」より7.7ポイント多くなっています。

年代別で見ると、どの年代でも「ふつう」が最も多くなっていますが、満足度の低い回答で「60歳～69歳」が42.8%と最も多く、満足度の高い回答を37.6ポイント上回っています。

地区別で見ると、どの地区でも「ふつう」が最も多く、50%以上となっていますが、「銭函地区」が満足度の低い回答で39.6%と最も多くなっています。

図6-6 都市防災の対策状況の満足度



4. 今後のまちづくりにおいて重点をおくべきもの

問4 土地の使われ方について、今後どのようなことに重点をおくべきだと思いますか。
(多肢選択)

土地の使われ方については、「市内に散在している空家・空き地の活用を図る必要がある」が全体で77.4%となっており、性別、年代別、地区別においても最も多くなっています。

全体の回答としては次いで、「駅周辺市街地の再整備を推進する必要がある」が31.2%、「新たな住宅地の開発を抑制し、現在の住宅地の環境を維持保全する必要がある」が29.8%となっています。

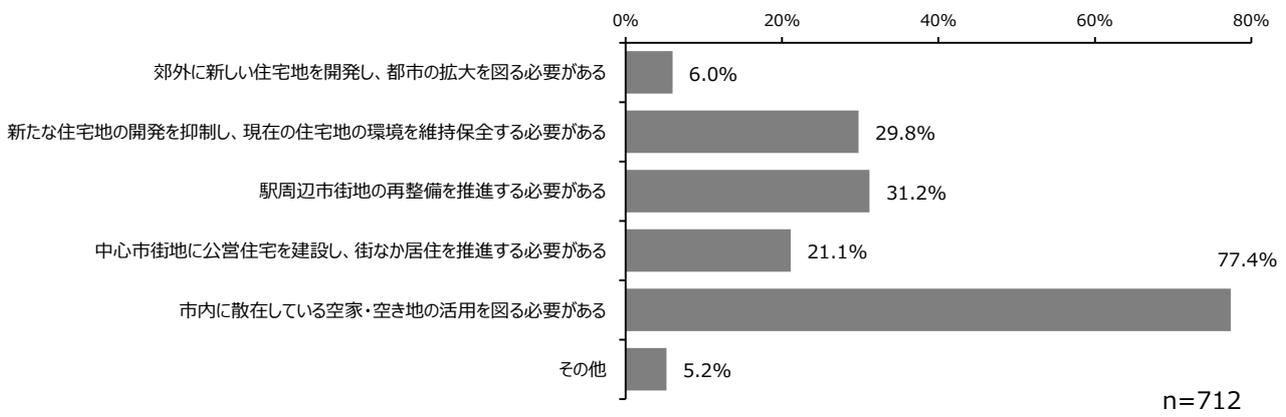


図7 今後重点をおくべき項目（土地の使われ方）

性別で見ると、どちらも「駅周辺市街地の再整備を推進する必要がある」が2番目に多くなっています。

年代別で見ると、50歳未満では「駅周辺市街地の再整備を推進する必要がある」、50歳以上では「新たな住宅地の開発を抑制し、現在の住宅地の環境を維持保全する必要がある」が2番目に多くなっています。

地区別で見ると、「新たな住宅地の開発を抑制し、現在の住宅地の環境を維持保全する必要がある」や「駅周辺市街地の再整備を推進する必要がある」が2番目に多い中、「南小樽地区」では、「中心市街地に公営住宅を建設し、街なか居住を推進する必要がある」が2番目に多くなっています。

表5 今後重点をおくべき項目（土地の使われ方）

		郊外に新しい住宅地を開発し、都市の拡大を図る必要がある。	新たな住宅地の開発を抑制し、現在の住宅地の環境を維持保全する必要がある。	駅周辺市街地の再整備を推進する必要がある。	中心市街地に公営住宅を建設し、街なか居住を推進する必要がある。	市内に散在している空家・空き地の活用を図る必要がある。	その他
全体(n=712)		6.0%	29.8%	31.2%	21.1%	77.4%	5.2%
性別	男(n=248)	7.7%	29.8%	32.3%	21.0%	72.2%	6.9%
	女(n=431)	4.6%	29.2%	30.9%	22.0%	80.7%	4.2%
年代別	18歳～29歳(n=135)	8.9%	25.9%	34.1%	14.1%	71.9%	5.9%
	30歳～39歳(n=116)	9.5%	22.4%	36.2%	14.7%	83.6%	10.3%
	40歳～49歳(n=96)	4.2%	32.3%	35.4%	18.8%	78.1%	3.1%
	50歳～59歳(n=128)	0.8%	32.8%	28.1%	25.0%	78.1%	7.8%
	60歳～69歳(n=113)	6.2%	33.6%	26.5%	31.0%	76.1%	0.9%
	70歳以上(n=93)	5.4%	30.1%	26.9%	26.9%	79.6%	1.1%
地区別	塩谷地区(n=78)	9.0%	29.5%	33.3%	19.2%	70.5%	3.8%
	長橋・杉井地区(n=80)	3.8%	28.8%	30.0%	23.8%	85.0%	1.3%
	高島地区(n=65)	3.1%	24.6%	24.6%	21.5%	86.2%	1.5%
	手宮地区(n=62)	8.1%	35.5%	29.0%	16.1%	82.3%	6.5%
	中央地区(n=93)	3.2%	23.7%	37.6%	29.0%	73.1%	8.6%
	山手地区(n=72)	1.4%	31.9%	37.5%	19.4%	77.8%	11.1%
	南小樽地区(n=73)	5.5%	24.7%	26.0%	27.4%	74.0%	6.8%
	朝里地区(n=91)	4.4%	38.5%	28.6%	17.6%	74.7%	3.3%
	銭函地区(n=88)	14.8%	31.8%	31.8%	12.5%	78.4%	3.4%

は各分類の中で最も多い項目

問5 道路・交通網等について、今後どのようなことに重点をおくべきだと思いますか。
(多肢選択)

道路・交通網等については、「冬期交通の滑り対策や交差点の見通しの改善を図る」が全体で54.9%となっており、性別、年代別においても最も多くなっています。全体の回答としては次いで、「バスや鉄道など、公共交通機関の充実を図る」が35.3%、「高齢者や障がい者の安全性を考慮し、歩道のバリアフリー化整備を進める」が29.6%となっています。

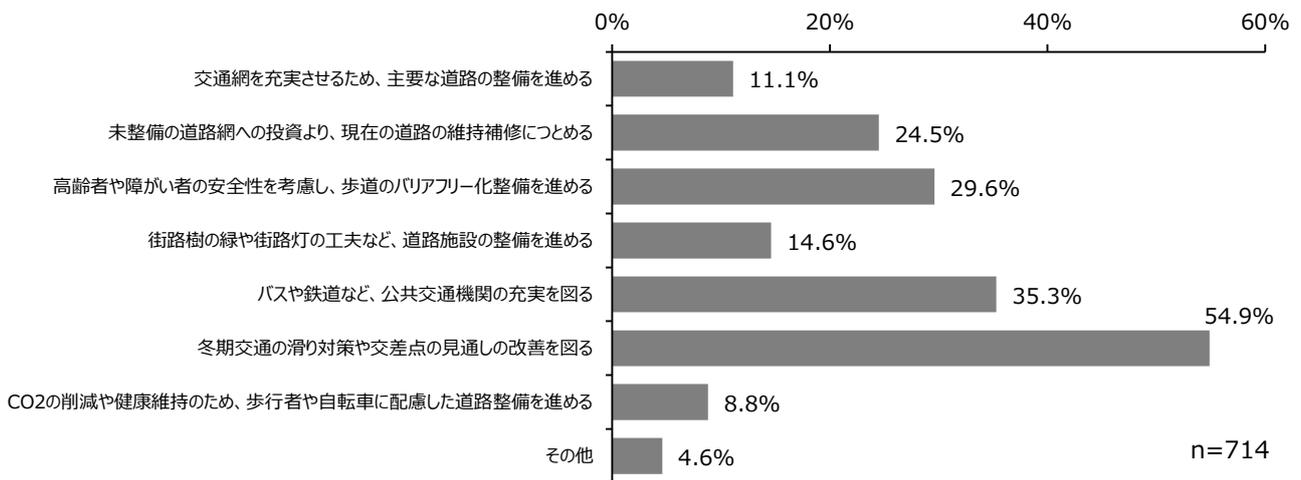


図8 今後重点をおくべき項目（道路・交通網等）

性別で見ると、どちらも「バスや鉄道など、公共交通機関の充実を図る」がどちらも2番目に多くっており、「女性」が38.0%と「男性」を7.4ポイント上回っています。

年代別で見ると、60歳未満で「バスや鉄道など、公共交通機関の充実を図る」が2番目に多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「冬期交通の滑り対策や交差点の見通しの改善を図る」が最も多い中、「銭函地区」では、「バスや鉄道など、公共交通機関の充実を図る」の割合が最も多くなっています。

表6 今後重点をおくべき項目（道路・交通網等）

		交通網を充実させるため、主要な道路の整備を進める。	未整備の道路網への投資より、現在の道路の維持補修に注力する。	高齢者や障がい者の安全性を考慮し、歩道のバリアフリー化整備を進める。	街路樹の緑や街路灯の工夫など、道路施設の整備を進める。	バスや鉄道など、公共交通機関の充実を図る。	冬期交通の滑り対策や交差点の見通しの改善を図る。	CO ₂ の削減や健康維持のため、歩行者や自転車に配慮した道路整備を進める。	その他
全体(n=714)		11.1%	24.5%	29.6%	14.6%	35.3%	54.9%	8.8%	4.6%
性別	男(n=248)	13.3%	30.6%	29.0%	14.1%	30.6%	48.4%	9.7%	7.3%
	女(n=434)	9.9%	20.7%	29.5%	15.0%	38.0%	59.0%	8.5%	3.2%
年代別	18歳～29歳(n=136)	15.4%	12.5%	27.9%	9.6%	47.1%	47.8%	10.3%	5.1%
	30歳～39歳(n=116)	14.7%	19.0%	25.9%	20.7%	33.6%	53.4%	7.8%	8.6%
	40歳～49歳(n=96)	10.4%	29.2%	24.0%	19.8%	31.3%	61.5%	10.4%	5.2%
	50歳～59歳(n=129)	7.8%	27.9%	28.7%	12.4%	38.8%	57.4%	7.0%	3.9%
	60歳～69歳(n=115)	7.8%	28.7%	40.0%	13.0%	27.0%	57.4%	11.3%	0.9%
	70歳以上(n=92)	10.9%	32.6%	29.3%	14.1%	29.3%	55.4%	6.5%	4.3%
地区別	塩谷地区(n=80)	12.5%	18.8%	30.0%	12.5%	46.3%	48.8%	6.3%	6.3%
	長橋・栲野地区(n=80)	11.3%	25.0%	28.8%	13.8%	35.0%	58.8%	8.8%	1.3%
	高島地区(n=65)	13.8%	33.8%	23.1%	13.8%	32.3%	56.9%	7.7%	6.2%
	手宮地区(n=63)	11.1%	27.0%	33.3%	17.5%	27.0%	47.6%	9.5%	3.2%
	中央地区(n=92)	7.6%	23.9%	30.4%	18.5%	35.9%	56.5%	4.3%	6.5%
	山手地区(n=72)	11.1%	18.1%	29.2%	9.7%	20.8%	72.2%	8.3%	8.3%
	南小樽地区(n=73)	8.2%	21.9%	34.2%	11.0%	31.5%	64.4%	9.6%	2.7%
	朝里地区(n=90)	10.0%	27.8%	26.7%	14.4%	35.6%	52.2%	11.1%	3.3%
	銭函地区(n=89)	13.5%	23.6%	30.3%	19.1%	47.2%	41.6%	13.5%	4.5%

は各分類の中で最も多い項目

問6 公園や緑地、水辺の環境について、今後どのようなことに重点をおくべきだと思いますか。
(多肢選択)

公園や緑地、水辺の環境は、「住宅地周辺にある既存の公園の充実を図る」が全体で46.3%となっており、性別においても最も多くなっています。

全体の回答としては次いで、「既存の大型公園の充実を図る」が39.5%、「水とふれあえるような水辺の広場等を整備する」が29.1%となっています。

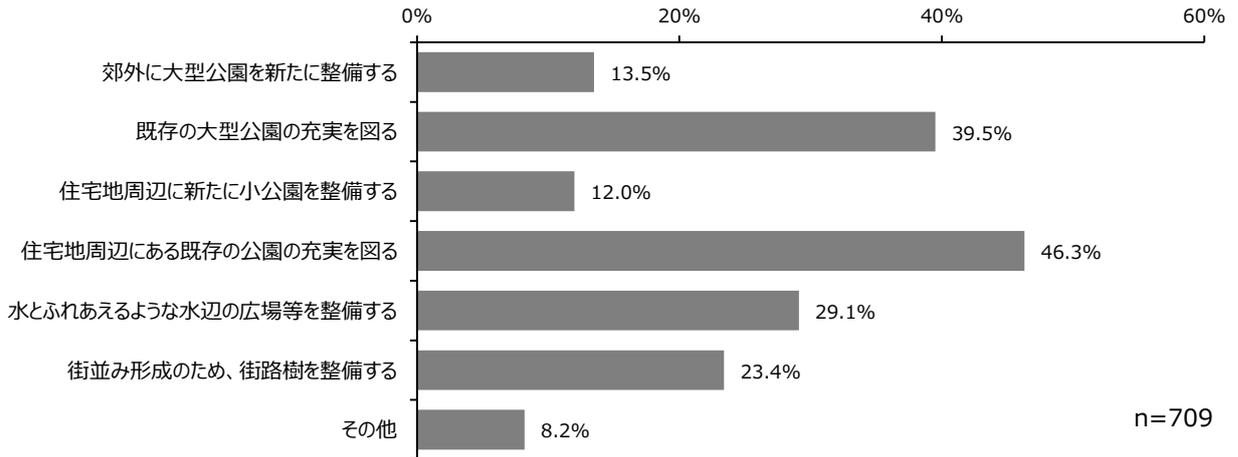


図9 今後重点をおくべき項目（公園や緑地、水辺の環境）

性別で見ると、どちらも「既存の大型公園の充実を図る」が2番目に多くっており、「男性」が47.0%と、「女性」より11.0ポイント多くなっています。

年代別で見ると、40歳以上では、「住宅地周辺にある既存公園の充実を図る」が最も多くなっています。また、「既存の大型公園の充実を図る」や「住宅地周辺にある既存の公園の充実を図る」を選択する年代が多い中、「30歳～39歳」では、「水とふれあえるよう水辺の広場等を整備する」が最も多くなっています。

地区別で見ると、「既存の大型公園の充実を図る」や「住宅地周辺にある既存の公園の充実を図る」を選択する地区が多い中、「手宮地区」では、「街並み形成のため、街路樹を整備する」が、「銭函地区」では、「水とふれあえるような水辺の広場等を整備する」が2番目に多くなっています。

表7 今後重点をおくべき項目（公園や緑、水辺の環境）

		郊外に大型公園を新たに整備する。	既存の大型公園の充実を図る。	住宅地周辺に新たに小公園を整備する。	住宅地周辺にある既存の公園の充実を図る。	水とふれあえるような水辺の広場等を整備する。	街並み形成のため、街路樹を整備する。	その他
全体(n=709)		13.5%	39.5%	12.0%	46.3%	29.1%	23.4%	8.2%
性別	男(n=247)	12.1%	47.0%	11.7%	47.8%	25.9%	19.8%	7.3%
	女(n=430)	13.7%	36.0%	12.3%	45.6%	30.7%	25.8%	7.9%
年代別	18歳～29歳(n=136)	16.9%	44.1%	13.2%	38.2%	30.1%	20.6%	7.4%
	30歳～39歳(n=116)	23.3%	31.9%	20.7%	34.5%	39.7%	22.4%	11.2%
	40歳～49歳(n=95)	15.8%	45.3%	7.4%	46.3%	34.7%	17.9%	10.5%
	50歳～59歳(n=128)	9.4%	46.1%	6.3%	53.9%	25.0%	24.2%	7.0%
	60歳～69歳(n=115)	6.1%	36.5%	10.4%	50.4%	26.1%	25.2%	6.1%
	70歳以上(n=89)	9.0%	33.7%	14.6%	56.2%	19.1%	31.5%	3.4%
地区別	塩谷地区(n=78)	16.7%	44.9%	16.7%	38.5%	32.1%	14.1%	9.0%
	長橋・栲木地区(n=79)	15.2%	35.4%	11.4%	46.8%	31.6%	31.6%	3.8%
	高島地区(n=66)	13.6%	37.9%	15.2%	51.5%	28.8%	19.7%	10.6%
	手宮地区(n=62)	11.3%	30.6%	11.3%	40.3%	25.8%	32.3%	9.7%
	中央地区(n=93)	9.7%	46.2%	10.8%	43.0%	26.9%	31.2%	5.4%
	山手地区(n=71)	9.9%	52.1%	11.3%	46.5%	32.4%	12.7%	9.9%
	南小樽地区(n=73)	5.5%	43.8%	9.6%	47.9%	20.5%	28.8%	11.0%
	朝里地区(n=89)	22.5%	36.0%	7.9%	51.7%	32.6%	16.9%	10.1%
	銭函地区(n=88)	15.9%	26.1%	13.6%	51.1%	27.3%	25.0%	6.8%

は各分類の中で最も多い項目

問7 生活環境（住環境、バリアフリー、処理施設）について、今後どのようなことに重点をおくべきだと思いますか。（多肢選択）

生活環境（住環境、バリアフリー、処理施設）では、「若年層やファミリー層向けの住宅施策を充実する」が46.0%と最も多くなっているものの、次いで、「災害に対し、安全で機能性を重視した処理施設を整備する」が45.8%とほぼ同率となっています。

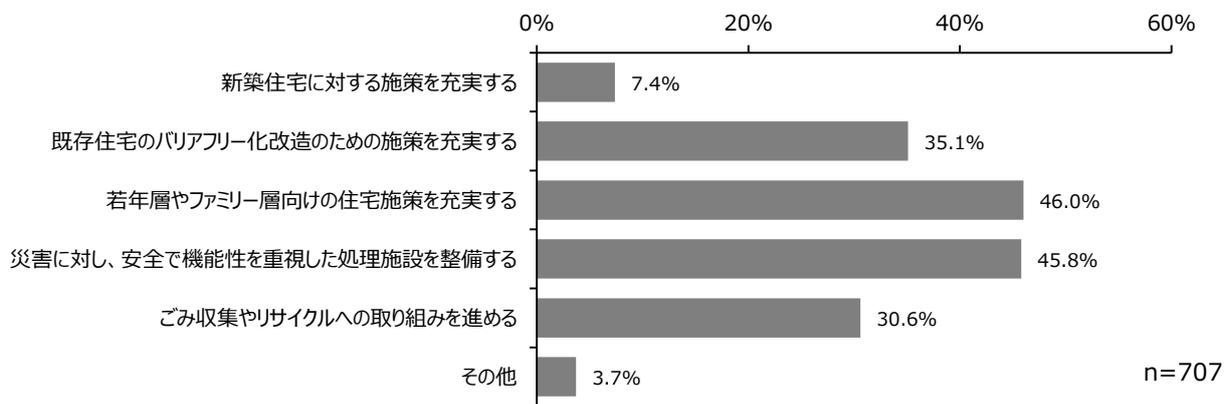


図10 今後重点をおくべき項目（生活環境）

性別で見ると、「男性」は「若年層やファミリー層向けの住宅施策を充実する」が最も多く、「女性」は「災害に対し、安全で機能性を重視した処理施設を整備する」が最も多くなっています。

年代別で見ると、40歳未満では「若年層やファミリー層向けの住宅施策を充実する」が最も多く、40歳以上では「災害に対し、安全で機能性を重視した処理施設を整備する」が最も多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区が「若年層やファミリー層向けの住宅施策を充実する」もしくは「災害に対し、安全で機能性を重視した処理施設を整備する」を最も多く選択する中、「長橋・オタモイ地区」と「手宮地区」では、「既存住宅のバリアフリー化改造のための施策を充実する」が2番目に多くなっています。

表8 今後重点をおくべき項目（生活環境）

		新築住宅に対する施策を充実する。	既存住宅のバリアフリー化改造のための施策を充実する。	若年層やファミリー層向けの住宅施策を充実する。	災害に対し、安全で機能性を重視した処理施設を整備する。	ごみ収集やリサイクルへの取り組みを進める。	その他
全体(n=707)		7.4%	35.1%	46.0%	45.8%	30.6%	3.7%
性別	男(n=243)	7.8%	36.6%	51.4%	41.2%	27.2%	3.7%
	女(n=433)	7.4%	34.9%	42.7%	49.0%	32.1%	3.2%
年代別	18歳～29歳(n=135)	9.6%	30.4%	51.9%	42.2%	27.4%	1.5%
	30歳～39歳(n=116)	18.1%	32.8%	66.4%	35.3%	26.7%	3.4%
	40歳～49歳(n=96)	9.4%	34.4%	45.8%	46.9%	26.0%	4.2%
	50歳～59歳(n=126)	1.6%	32.5%	45.2%	50.8%	28.6%	6.3%
	60歳～69歳(n=114)	2.6%	43.0%	32.5%	56.1%	35.1%	1.8%
	70歳以上(n=91)	3.3%	41.8%	30.8%	46.2%	41.8%	2.2%
地区別	塩谷地区(n=79)	3.8%	36.7%	43.0%	50.6%	29.1%	6.3%
	長橋・木野地区(n=78)	10.3%	41.0%	47.4%	39.7%	37.2%	0.0%
	高島地区(n=63)	6.3%	38.1%	46.0%	39.7%	33.3%	3.2%
	手宮地区(n=62)	4.8%	37.1%	33.9%	50.0%	32.3%	8.1%
	中央地区(n=92)	5.4%	29.3%	48.9%	50.0%	35.9%	1.1%
	山手地区(n=71)	8.5%	39.4%	46.5%	42.3%	35.2%	1.4%
	南小樽地区(n=74)	9.5%	35.1%	45.9%	39.2%	29.7%	1.4%
	朝里地区(n=90)	12.2%	25.6%	52.2%	43.3%	21.1%	5.6%
	銭函地区(n=88)	5.7%	38.6%	45.5%	52.3%	25.0%	5.7%

は各分類の中で最も多い項目

問8 街並み・景観について、今後どのようなことに重点をおくべきだと思いますか。（多肢選択）

街並み・景観については、「歴史的な建造物・風景を保全し、魅力のある景観づくりをする」が全体で67.1%となっており、性別、年代別、地区別においても最も多くなっています。

全体の回答としては次いで、「駅前や公共空間において、にぎわいのある都市景観の整備を進める」が36.9%、「海岸線や山麓の自然景観の整備を進める」が32.0%となっています。

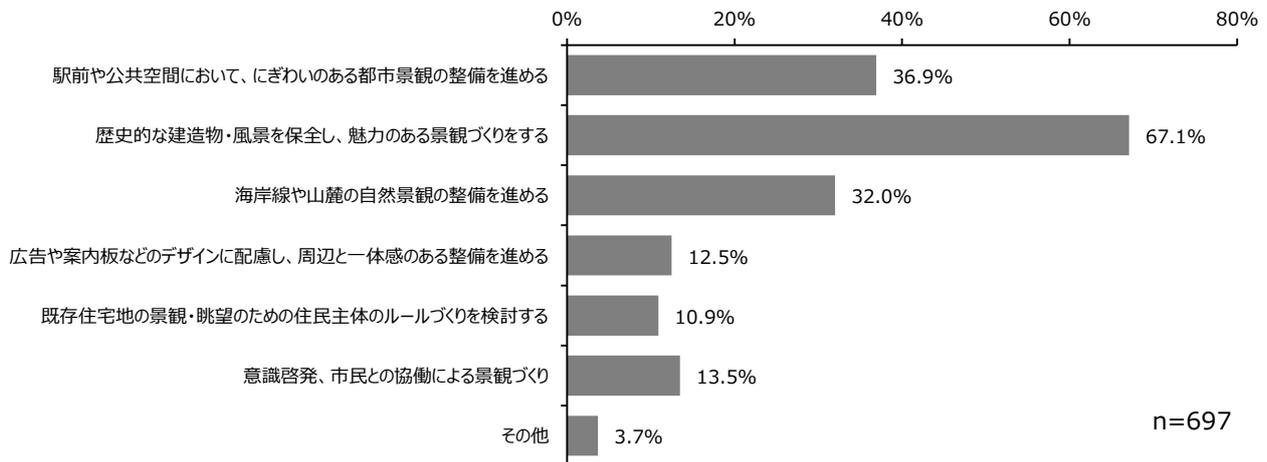


図11 今後重点をおくべき項目（街並み・景観）

性別で見ると、どちらも「駅前や公共空間において、にぎわいのある都市景観の整備を進める」が2番目に多くなっています。

年代別で見ると、ほとんどの年代で「駅前や公共空間において、にぎわいのある都市景観の整備を進める」を2番目に多く選んでいる中、「40歳～49歳」と「70歳以上」は、「海岸線や山麓の自然景観の整備を進める」が2番目に多くなっています。

地区別で見ると、「長橋・オタモイ地区」、「高島地区」、「手宮地区」、「中央地区」、「山手地区」、「南小樽地区」では「駅前や公共空間において、にぎわいのある都市景観の整備を進める」が、「塩谷地区」、「朝里地区」、「銭函地区」では「海岸線や山麓の自然景観の整備を進める」が2番目に多くなっています。

表9 今後重点をおくべき事項（街並み・景観）

		駅前や公共空間において、にぎわいのある都市景観の整備を進める。	歴史的な建造物・風景を保全し、魅力のある景観づくりをする。	海岸線や山麓の自然景観の整備を進める。	広告や案内板などのデザインに配慮し、周辺と一体感のある整備を進める。	既存住宅地の景観・眺望のための住民主体のルールづくりを検討する。	意識啓発、市民との協働による景観づくり	その他
全体(n=697)		36.9%	67.1%	32.0%	12.5%	10.9%	13.5%	3.7%
性別	男(n=240)	35.4%	66.3%	33.3%	12.9%	10.8%	16.7%	5.4%
	女(n=427)	38.6%	69.1%	30.7%	12.6%	11.0%	11.2%	2.1%
年代別	18歳～29歳(n=134)	41.0%	67.9%	29.9%	12.7%	6.7%	12.7%	2.2%
	30歳～39歳(n=114)	37.7%	64.0%	29.8%	21.1%	12.3%	11.4%	4.4%
	40歳～49歳(n=93)	35.5%	68.8%	39.8%	14.0%	5.4%	14.0%	6.5%
	50歳～59歳(n=125)	36.0%	75.2%	28.0%	10.4%	8.0%	15.2%	4.0%
	60歳～69歳(n=113)	41.6%	64.6%	31.9%	8.0%	15.0%	14.2%	2.7%
	70歳以上(n=90)	31.1%	65.6%	33.3%	10.0%	21.1%	12.2%	0.0%
地区別	塩谷地区(n=80)	38.8%	60.0%	40.0%	16.3%	10.0%	17.5%	5.0%
	長橋・杵臼地区(n=79)	39.2%	74.7%	30.4%	17.7%	7.6%	8.9%	2.5%
	高島地区(n=65)	41.5%	64.6%	30.8%	9.2%	7.7%	13.8%	1.5%
	手宮地区(n=61)	32.8%	75.4%	29.5%	4.9%	9.8%	14.8%	3.3%
	中央地区(n=93)	39.8%	66.7%	18.3%	15.1%	12.9%	15.1%	4.3%
	山手地区(n=69)	47.8%	66.7%	27.5%	11.6%	11.6%	10.1%	2.9%
	南小樽地区(n=72)	27.8%	68.1%	27.8%	11.1%	13.9%	18.1%	6.9%
	朝里地区(n=89)	31.5%	70.8%	39.3%	9.0%	9.0%	10.1%	1.1%
	銭函地区(n=88)	33.0%	60.2%	43.2%	14.8%	14.8%	13.6%	5.7%

は各分類の中で最も多い項目

問9 都市防災について、今後どのようなことに重点をおくべきだと思いますか。（多肢選択）

都市防災については、「防災拠点や避難施設となる公共施設の耐震化を図る」が39.7%と最も多くなっており、性別においても最も多くなっています。

全体の回答としては、次いで「地域住民が互いに助け合う活動や、迅速な応急活動のための自主防災組織づくりの周知」が29.0%、「建物密集地区の狭隘道路の改善や空地の確保につとめる」が27.3%となっています。

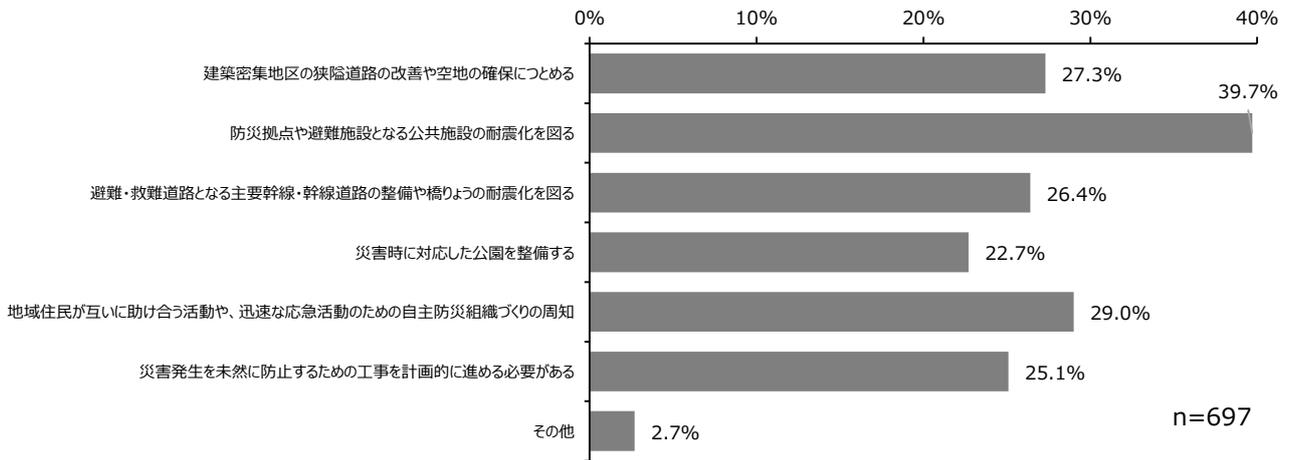


図12 今後重点をおくべき項目（都市防災）

性別で見ると、「男性」は「建物密集地区の狭隘道路の改善や空地の確保につとめる」、「女性」は「地域住民が互いに助け合う活動や、迅速な応急活動のための自主防災組織づくりの周知」が2番目に多くなっています。

年代別で見ると、ほとんどの年代で「防災拠点や避難施設となる公共施設の耐震化を図る」が最も多い中、「70歳以上」では「地域住民が互いに助け合う活動や、迅速な応急活動のための自主防災組織づくりの周知」が最も多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「防災拠点や避難施設となる公共施設の耐震化を図る」が最も多い中、「塩谷地区」では「地域住民が互いに助け合う活動や、迅速な応急活動のための自主防災組織づくりの周知」が最も多くなっています。

表 10 今後重点をおくべき事項（都市防災）

		建物密集地区の狭隘道路の改善 や空地の確保につとめる。	防災拠点や避難施設となる公共 施設の耐震化を図る。	避難・救難道路となる主要幹線・ 幹線道路の整備や橋りょうの耐 震化を図る。	災害時に対応した公園を整備す る。	地域住民が互いに助け合う活動 や、迅速な応急活動のための自主 防災組織づくりの周知。	災害発生を未然に防止するため の工事を計画的に進める必要が ある。	その他
全体(n=697)		27.3%	39.7%	26.4%	22.7%	29.0%	25.1%	2.7%
性別	男(n=242)	31.8%	36.0%	26.9%	23.1%	27.7%	26.9%	2.5%
	女(n=426)	24.6%	42.0%	27.0%	21.6%	30.3%	24.6%	2.8%
年代別	18歳～29歳(n=133)	22.6%	45.9%	36.1%	25.6%	20.3%	18.8%	1.5%
	30歳～39歳(n=114)	29.8%	46.5%	30.7%	22.8%	22.8%	21.9%	5.3%
	40歳～49歳(n=94)	33.0%	40.4%	24.5%	27.7%	23.4%	23.4%	4.3%
	50歳～59歳(n=128)	24.2%	33.6%	23.4%	21.9%	31.3%	30.5%	3.9%
	60歳～69歳(n=111)	24.3%	39.6%	23.4%	12.6%	36.9%	31.5%	0.9%
	70歳以上(n=90)	33.3%	31.1%	21.1%	23.3%	45.6%	25.6%	0.0%
地区別	塩谷地区(n=80)	22.5%	33.8%	28.8%	16.3%	36.3%	23.8%	7.5%
	長橋・榀地区(n=79)	26.6%	45.6%	27.8%	17.7%	29.1%	25.3%	0.0%
	高島地区(n=65)	35.4%	35.4%	18.5%	32.3%	32.3%	23.1%	0.0%
	手宮地区(n=61)	23.0%	39.3%	24.6%	21.3%	29.5%	24.6%	3.3%
	中央地区(n=92)	29.3%	47.8%	22.8%	26.1%	29.3%	17.4%	4.3%
	山手地区(n=71)	29.6%	33.8%	23.9%	23.9%	28.2%	28.2%	1.4%
	南小樽地区(n=73)	27.4%	39.7%	32.9%	16.4%	26.0%	24.7%	1.4%
	朝里地区(n=89)	27.0%	39.3%	25.8%	29.2%	24.7%	25.8%	3.4%
	銭函地区(n=86)	25.6%	39.5%	31.4%	20.9%	26.7%	33.7%	2.3%

は各分類の中で最も多い項目

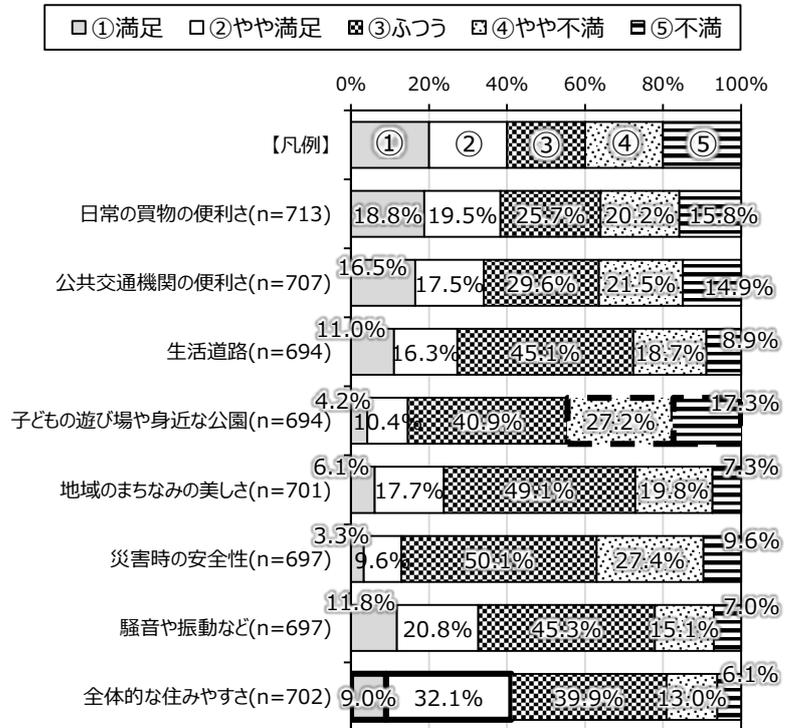
5. お住まいの地域周辺の生活環境について

問 11 あなたがお住まいの地域の周辺の生活環境についてどのように感じていますか。（単一選択）

お住まいの地域について、周辺の生活環境の満足度は、それぞれの項目において「ふつう」が最も多くなっていますが、「全体的な住みやすさ」で、満足度の高い回答が 41.1%と、満足度の低い回答を 22.0 ポイント上回っています。

また、「子供の遊び場や身近な公園」で、満足度の低い回答が 44.5%と、満足度の高い回答を 29.9 ポイント上回っています。

図13 地域周辺の生活環境についての満足度



ここでは、満足を5点、不満を1点とし、平均点を出すことにより各項目の満足度の高さを比較しやすくしています。（平均は3）

「全体的な住みやすさ」の平均点は3.25と最も高くなり、「子供の遊び場や身近な公園」の平均点は2.57と最も低くなっています。

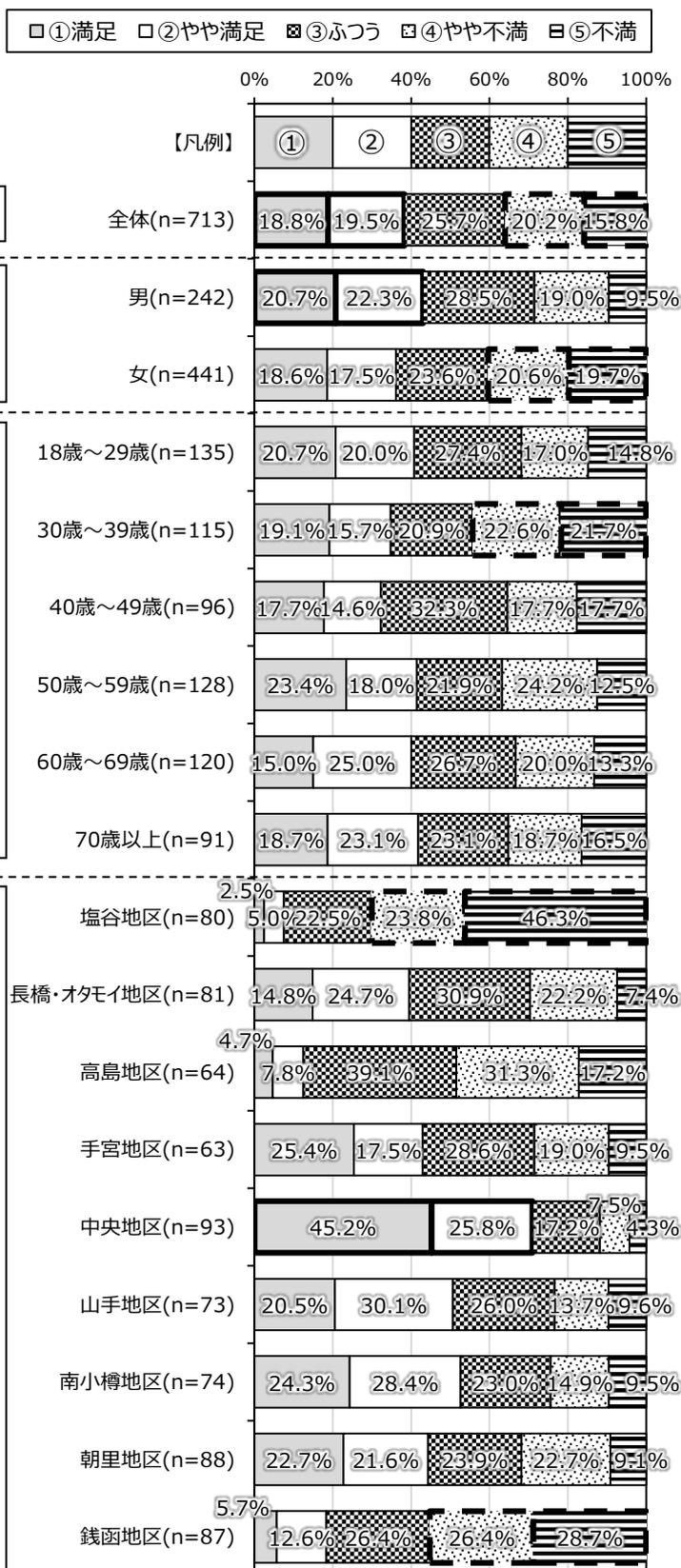
表 11 地域周辺の生活環境についての平均点

	満足	やや満足	ふつう	やや満足	不満	合計	平均
日常の買物の便利さ	134	139	183	144	113	713	3.05
公共交通機関の便利さ	117	124	209	152	105	707	2.99
生活道路	76	113	313	130	62	694	3.02
子どもの遊び場や身近な公園	29	72	284	189	120	694	2.57
地域のまちなみの美しさ	43	124	344	139	51	701	2.96
災害時の安全性	23	67	349	191	67	697	2.70
騒音や振動など	82	145	316	105	49	697	3.15
全体的な住みやすさ	63	225	280	91	43	702	3.25

(1) 日常の買物の便利さ

お住まいの地域周辺の生活環境について、日常の買物の便利さの満足度は、「ふつう」が 25.7%と最も多くなっていますが、満足度の高い回答（38.3%）と満足度の低い回答（36.0%）がほぼ同率となっています。

図13-1 日常の買物の便利さの満足度



性別で見ると、どちらも「ふつう」が最も多くなっていますが、「男性」は満足度の高い回答が 43.0%と、満足度の低い回答を 14.5 ポイント上回っています。一方、「女性」は満足度が低い回答が 40.3%と、満足度の高い回答を 4.2 ポイント上回っています。

年代別で見ると、満足度の低い回答では、「30歳～39歳」が44.3%と最も多く、満足度の高い回答を 9.5 ポイント上回っています。

一方、満足度の高い回答では、「18歳～29歳」と50歳以上では、満足度の低い回答を 4.7～8.9 ポイント上回っています。

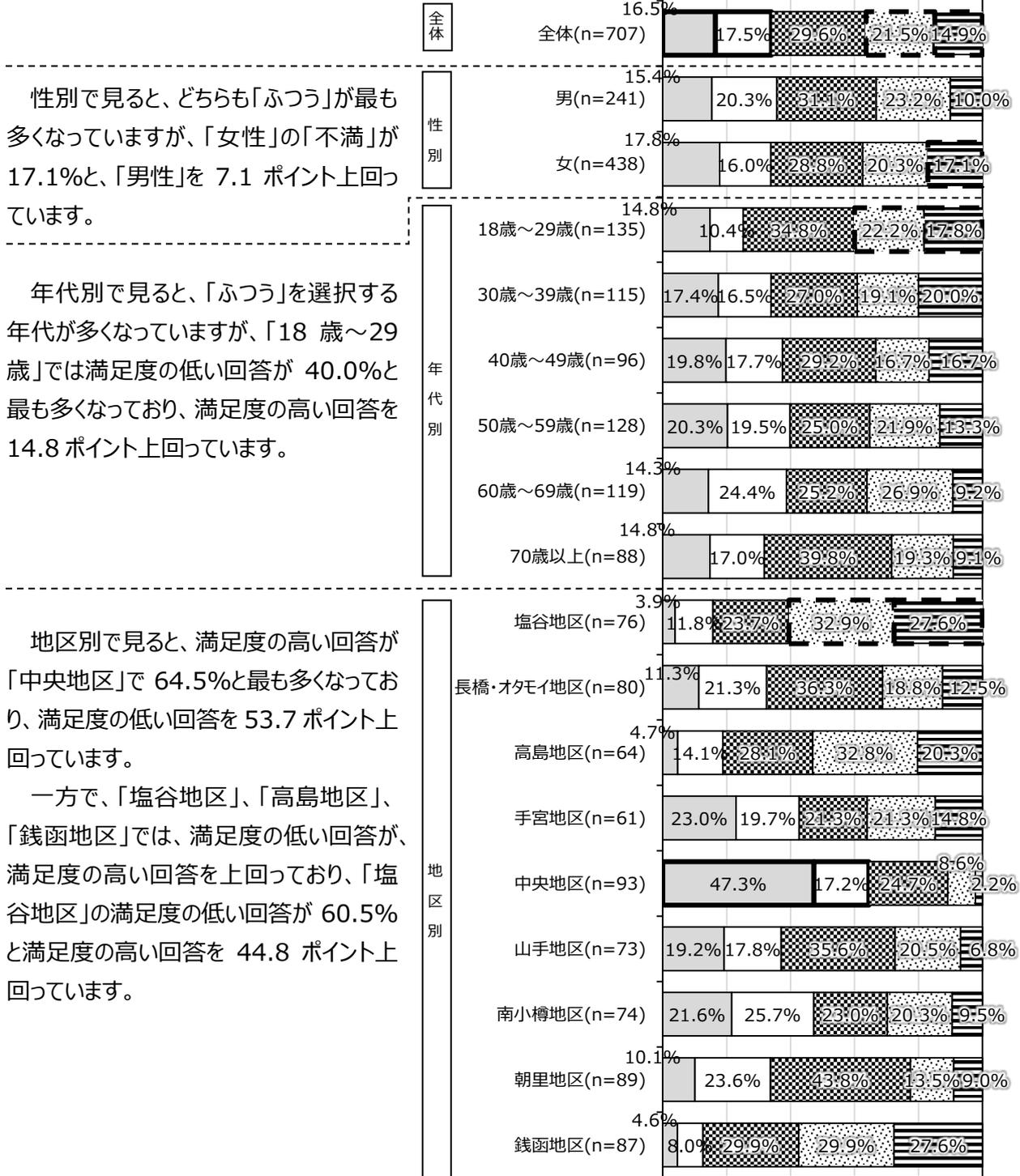
地区別では、満足度の高い回答では、「中央地区」が 71.0%と最も多く、「南小樽地区」、「山手地区」においても 50%以上となっています。一方で満足度の低い回答では、「塩谷地区」が 70.1%と最も多く、「銭函地区」においても 55.1%となっています。

(2) 公共交通機関の便利さ

お住まいの地域周辺の生活環境について、公共交通機関の便利さについての満足度は、「ふつう」が最も多く、29.6%となっていますが、満足度の低い回答（36.4%）と満足度の高い回答（34.0%）とほぼ同率となっています。

図13-2 公共交通機関の便利さの満足度

□①満足 □②やや満足 ■③ふつう □④やや不満 ▨⑤不満



性別で見ると、どちらも「ふつう」が最も多くなっていますが、「女性」の「不満」が17.1%と、「男性」を7.1ポイント上回っています。

年代別で見ると、「ふつう」を選択する年代が多くなっていますが、「18歳~29歳」では満足度の低い回答が40.0%と最も多くなっており、満足度の高い回答を14.8ポイント上回っています。

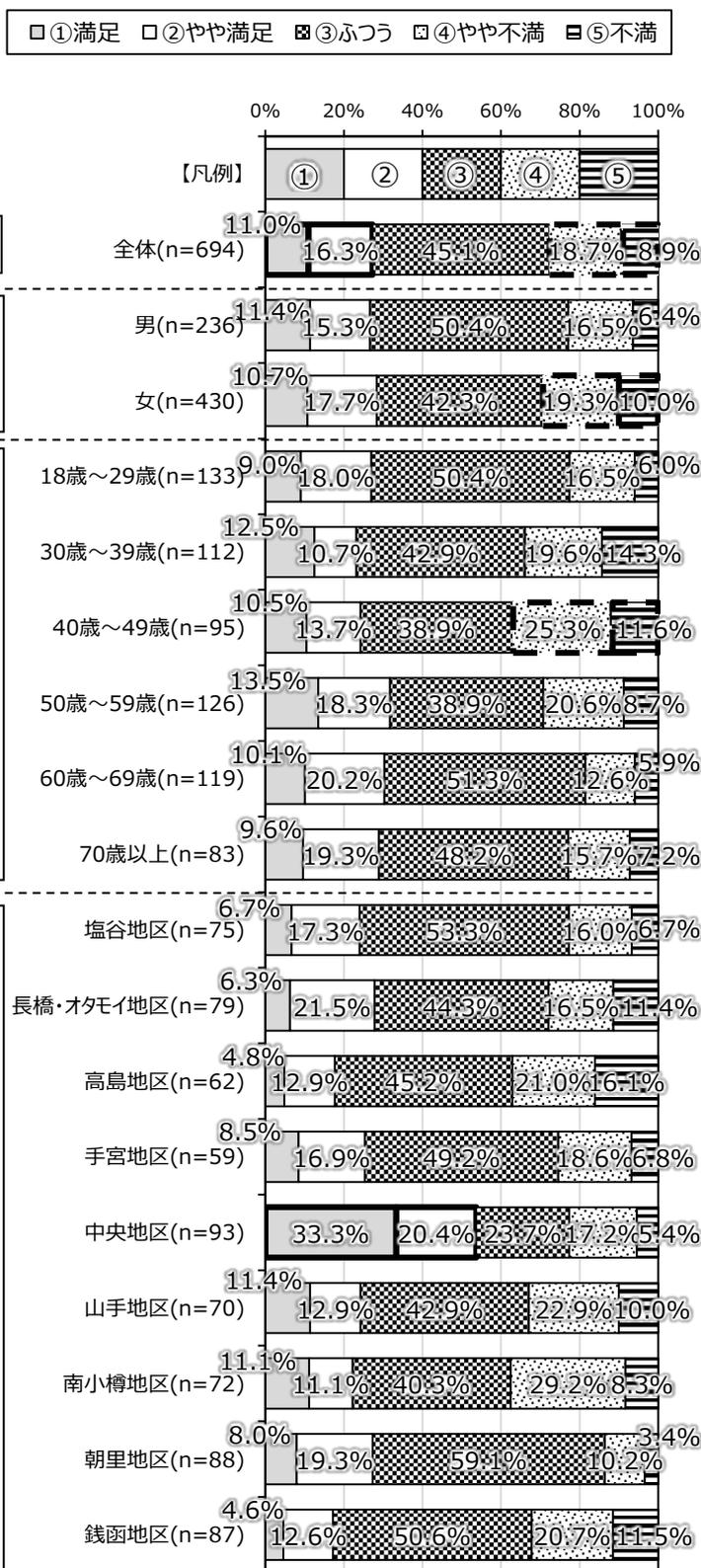
地区別で見ると、満足度の高い回答が「中央地区」で64.5%と最も多くなっており、満足度の低い回答を53.7ポイント上回っています。

一方で、「塩谷地区」、「高島地区」、「銭函地区」では、満足度の低い回答が、満足度の高い回答を上回っており、「塩谷地区」の満足度の低い回答が60.5%と満足度の高い回答を44.8ポイント上回っています。

(3) 生活道路

お住まいの地域周辺の生活環境について、生活道路の満足度は、「ふつう」が45.1%と最も割合が多くなっており、満足度の高い回答（27.3%）と満足度の低い回答（27.6%）ではほぼ同率となっています。

図13-3 生活道路の満足度



性別で見ると、どちらも「ふつう」が最も多くなっていますが、「女性」の満足度の低い回答が29.3%で、「男性」を6.4ポイント上回っています。

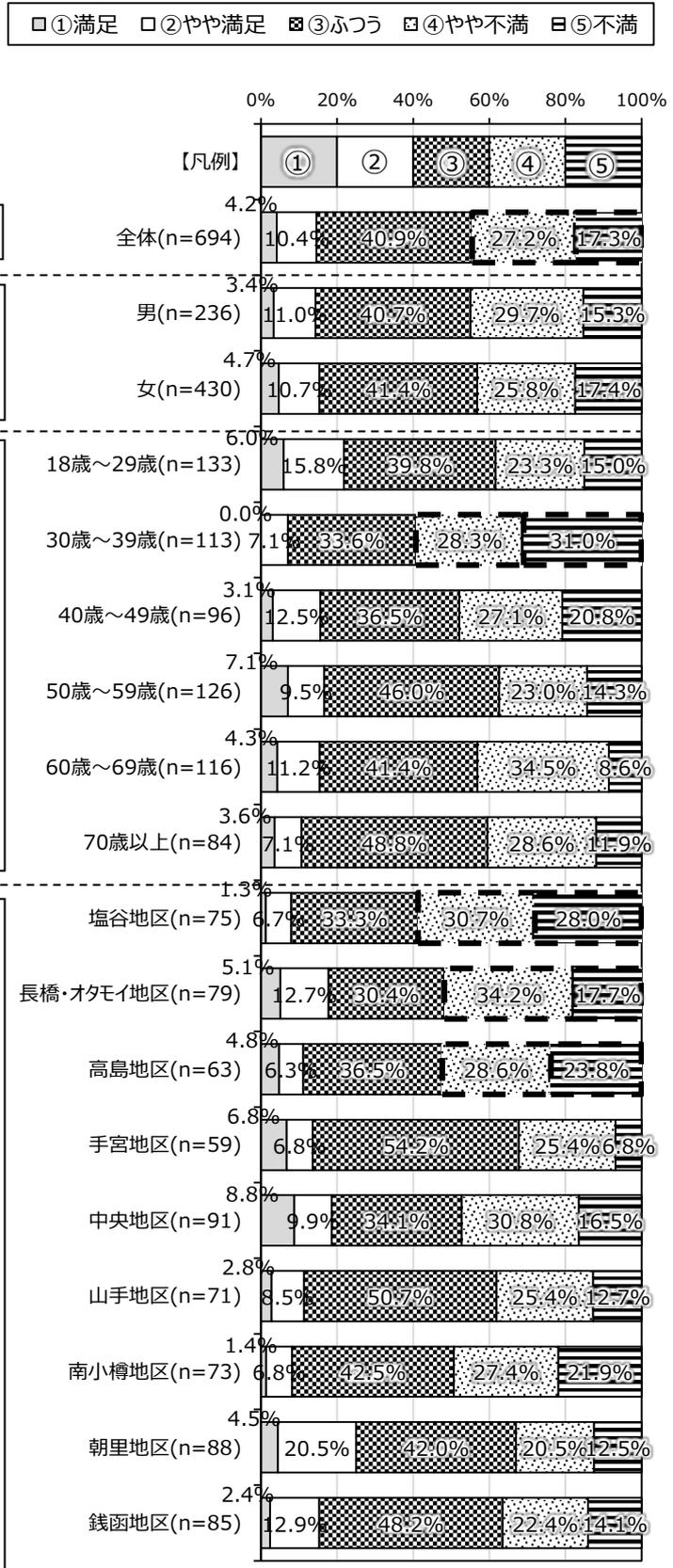
年代別で見ると、どの年代も「ふつう」が最も多いものの、「40歳～49歳」で満足度の低い回答が36.9%と最も多く、満足度の高い回答を12.7ポイント上回っています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「ふつう」を最も多く選択する中、「中央地区」は「満足」が33.3%と最も多くなっています。満足度の高い回答でも53.7%と最も多く、満足度の低い回答を31.1ポイント上回っています。

(4) 子どもの遊び場や身近な公園

お住まいの地域周辺の生活環境について、子どもの遊び場や身近な公園の満足度は、「ふつう」が40.9%と最も多くなっていますが、満足度の低い回答が44.5%と、満足度の高い回答を29.9ポイント上回っています。

図13-4 子どもの遊び場や身近な公園の満足度



性別で見ると、男女の大きな差異はないものの、どちらも満足度の低い回答が、満足度の高い回答を上回っています。

年代別で見ると、どの年代も「ふつう」が最も多くなっていますが、満足度の低い回答が、高い回答を上回っており、特に「30歳~39歳」では52.2ポイントと、その差が最も大きくなっています。

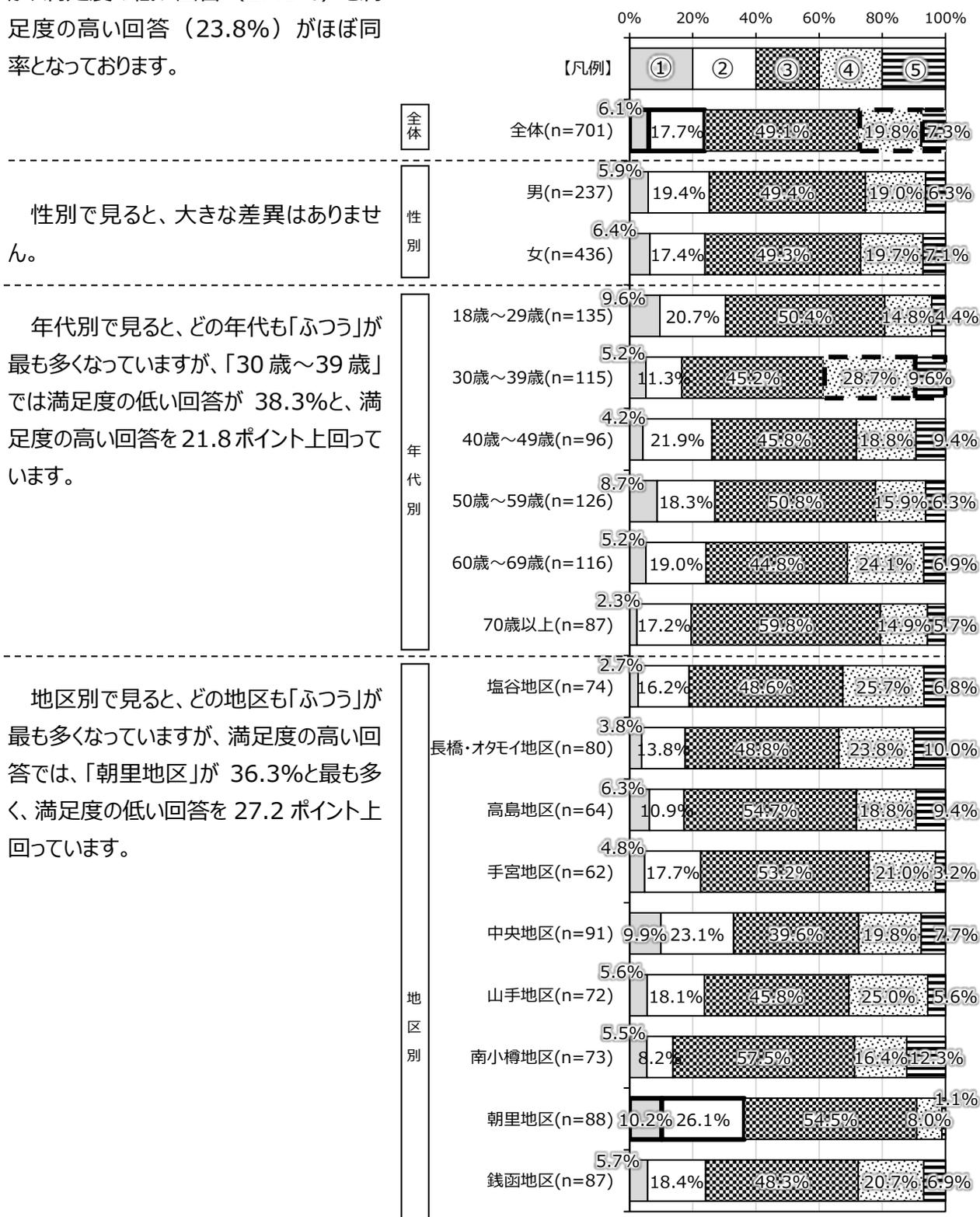
地区別で見ると、ほとんどの地区が「ふつう」を最も多く選択する中、満足度の低い回答では「塩谷地区」、「長橋・オタモイ地区」、「高島地区」で、50.0%以上となっています。

(5) 地域のまちなみの美しさ

お住まいの地域周辺の生活環境について、地域のまちなみの美しさの満足度は、「ふつう」が49.1%と最も多くなっていますが、満足度の低い回答（27.1%）と満足度の高い回答（23.8%）がほぼ同率となっております。

図13-5 地域のまちなみの美しさの満足度

□①満足 □②やや満足 ■③ふつう ▨④やや不満 ▩⑤不満



(6) 災害時の安全性

お住まいの地域周辺の生活環境について、災害時の安全性の満足度は、「ふつう」の割合が 50.1%と最も多くなっていますが、満足度の低い回答が 37.0%と満足度の高い回答を 24.1 ポイント上回っています。

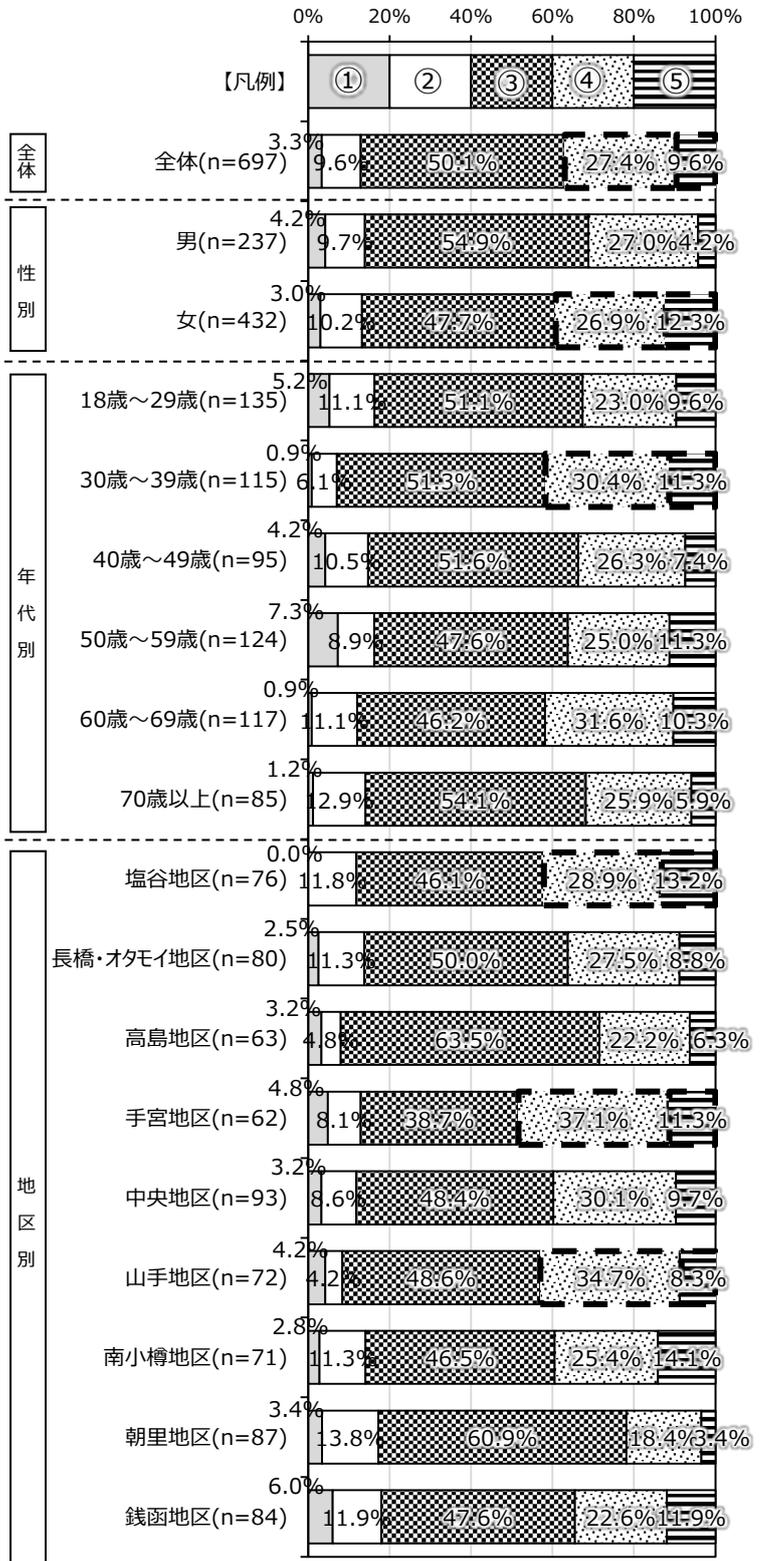
図13-6 災害時の安全性の満足度

□①満足 □②やや満足 ■③ふつう ▨④やや不満 ▩⑤不満

性別で見ると、「女性」の「不満」が 12.3%と「男性」より 8.1 ポイント上回っており、満足度の低い回答でも「女性」が 39.2%と「男性」を 8.0 ポイント上回っています。

年代別で見ると、どの年代も「ふつう」が最も多くなっていますが、「30歳～39歳」では満足度の低い回答が 41.7%と満足度の高い回答を 34.7 ポイント上回っており、その差が最も大きくなっています。

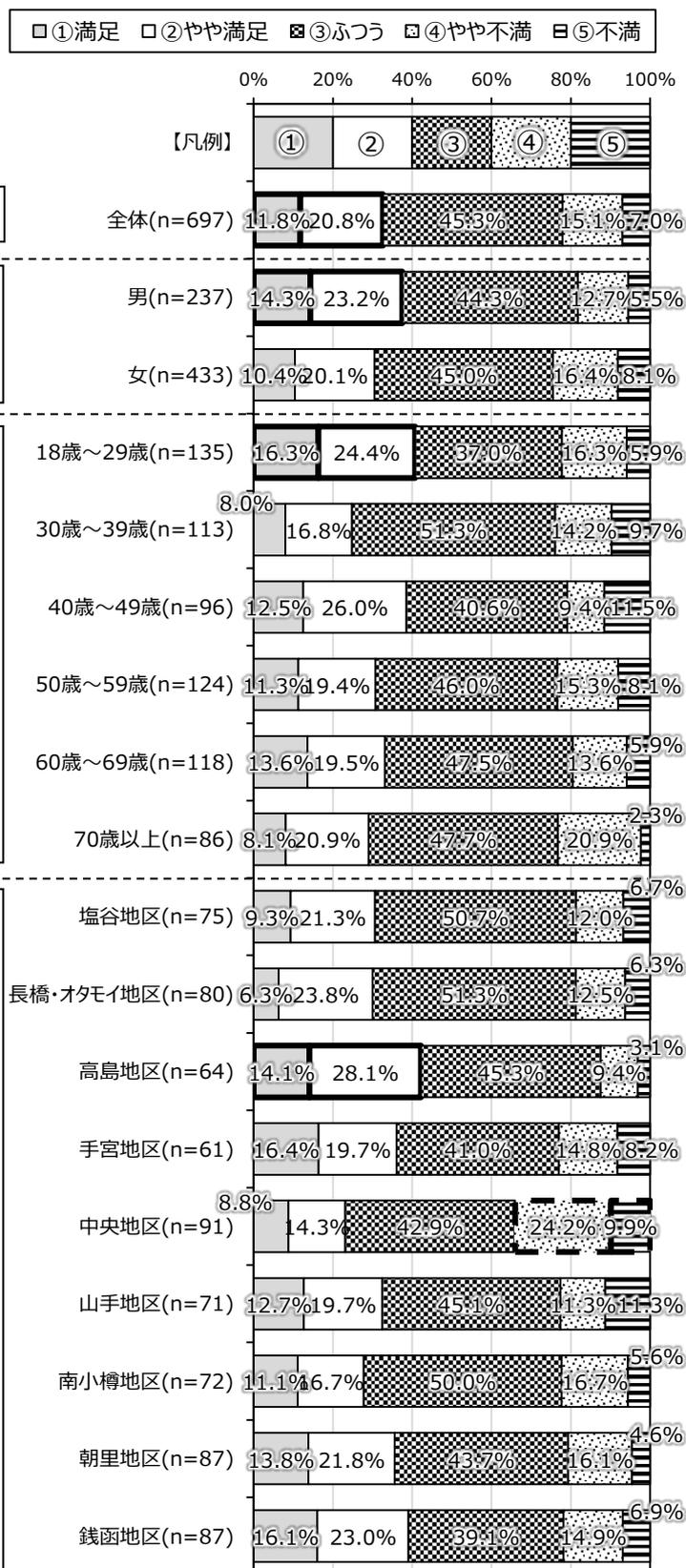
地区別で見ると、どの地域でも「ふつう」が最も多くなっていますが、「塩谷地区」、「手宮地区」、「山手地区」で満足度の低い回答と満足度の高い回答との差がいずれも 30 ポイント以上となっております。



(7) 騒音や振動など

お住まいの地域周辺の生活環境について、騒音や振動などの満足度は、「ふつう」の割合が最も多く、45.3%となっていますが、満足度の高い回答が32.6%と、満足度の低い回答を10.5ポイント上回っています。

図13-7 騒音や振動などの満足度



性別で見ると、どちらも「ふつう」が最も多くなっていますが、満足度の高い回答で「男性」が37.5%と、「女性」を7.0ポイント上回っています。

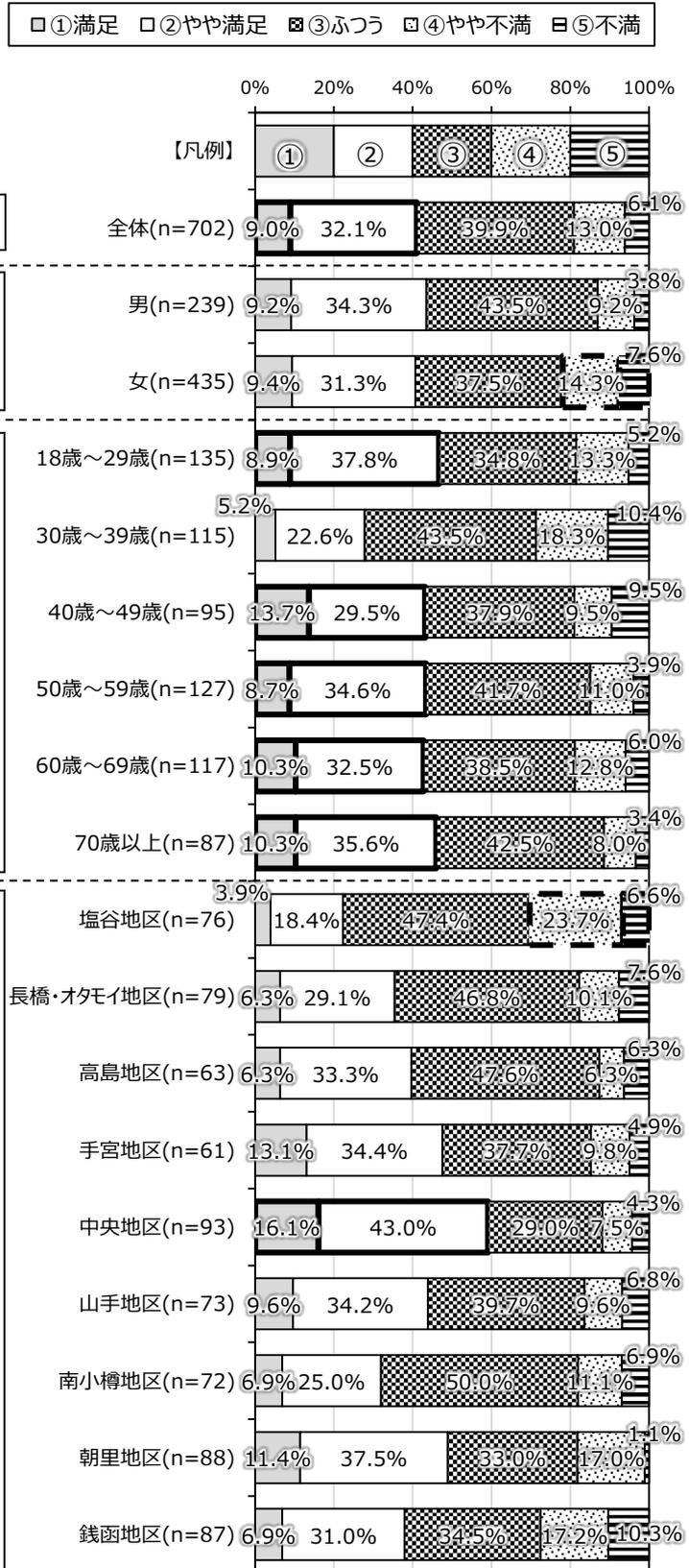
年代別で見ると、どの年代も「ふつう」が最も多くなっていますが、満足度の高い回答では「18歳～29歳」が40.7%と最も多く、満足度の低い回答を18.5ポイント上回っています。

地区別で見ると、どの地区でも「ふつう」が最も多くなっていますが、満足度の高い回答が「高島地区」で42.2%と最も多く、満足度の低い回答では「中央地区」が34.1%と最も多く、満足度の高い回答を11.0ポイント上回っています。

(8) 全体的な住みやすさ

お住まいの地域周辺の生活環境について、全体的な住みやすさの満足度は、「ふつう」が 39.9%と最も多くなっていますが、満足度が高い回答が 41.1%と、満足度の低い回答を 22.0 ポイント上回っています。

図13-8 全体的な住みやすさの満足度



性別で見ると、どちらも「ふつう」が最も多くなっていますが、満足度の低い回答では「女性」が 21.9%と、「男性」を 8.9 ポイント上回っています。

年代別で見ると、ほとんどの年代が「ふつう」を最も多く選択する中、「30歳～39歳」を除き、満足度の高い回答が、満足度の低い回答を上回っています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「ふつう」を最も多く選択する中、「中央地区」では満足度の高い回答が 59.1%となっています。また、ほとんどの地区で満足度の低い回答より満足度が高い回答が多い中、「塩谷地区」では満足度の低い回答が 30.3%と、満足度の高い回答を 8.0 ポイント上回っています。

6. お住まいの地域の「たからもの」・「将来へ残したいもの」

問 12 あなたがお住まいの地域の「たからもの」、「将来へ残したいもの」は、『どこ』で、その『理由』は何ですか。（自由記載）

あなたの地域の「たからもの」、「将来に残したいもの」として、「公園」、「海・海岸」、「山」、「運河」、「鉄道施設」など、自然環境や景観等に関わる回答が多くなっています。

表 12 あなたの地域の「たからもの」、「将来に残したいもの」

	分類	回答数	主な場所（主な理由）など
1	公園	100	・長橋なえぼ公園（広大な自然がすばらしい。四季が楽しめる。ほか） ・手宮公園（眺望が良い。四季が感じられる。桜がすばらしい。ほか） ・小樽公園（運動環境がある。緑豊か。眺望が良い。ほか） ・その他（近くで船が見られる。水遊びができる。景観がよく憩いの場として最適。ほか） など
2	海・海岸	76	・オタモイ海岸（景色がきれい。ほか） ・塩谷海岸（海水浴場としての賑わい。景色がきれい。ほか） ・銭函海水浴場（海がきれい。海水浴場としての賑わい。ほか） ・その他（対岸が見えて夜がきれい。小樽駅から海が一望できる。ほか） など
3	山	34	・塩谷丸山（眺望が良い。動植物が豊富。ほか） ・天狗山（市街地を一望できる。四季折々の風情。ほか） ・その他（四季が感じられる。山菜取りなど楽しめる。ほか） など
4	小樽運河	32	・小樽運河（小樽を象徴する場所だから。観光資源だから。にぎわいがあり街並みがきれい。ほか）
5	鉄道施設	23	・JR 銭函駅（駅からの海の眺望が良い。昔の面影を残している。ほか） ・旧手宮線（歴史を感じながら緑が多く安らげる。歴史を感じる場所だから。ほか） ・その他（北海道鉄道発祥の地、札幌に近い。ほか） など
6	歴史的建造物など	19	・歴史的建造物（旧日本郵船や和光荘など小樽を象徴するものだから。歴史を体感できる。ほか） ・史跡（ゴロダの丘からの景観が良い。ほか） など
7	水族館	16	・おたる水族館（観光名所だから。親しみがある。大人も子どもも楽しめる。ほか）
8	展望台	15	・旭展望台（市街地が一望できる。散歩コースに最適。ほか） ・祝津パノラマ展望台（景観が全て美しい。ほか）
9	まち（各地区）	13	・各地区（朝里地区は地域の活動が盛ん。朝里川温泉地区は四季の景観が美しい。天神地区は新幹線駅ができる。桂岡地区は静かで過ごしやすい。手宮地区や南小樽地区は小樽発展の原動力となり未来の子どもたちに受け継ぎたい。ほか） など
10	神社	11	・水天宮（自然と眺望がマッチしている。祭りなどがある。ほか） ・住吉神社（初詣に行く場所だから。） ・宗円寺（有形文化財の五百羅漢像がある。） など

上記以外のほか

・学校(9) ・川(8) ・港(8) ・市場(8) ・スキー場(7) ・桜(7) ・商業施設(6) ・商店街(5) など

7. お住まいの地域のイメージについて（現在・将来）

問 13 あなたがお住まいの地域はどのような地域でしょうか。（多肢選択）

お住まいの地域について、現在のイメージは、「自然に恵まれた静かな地域」が 41.5%と最も多く、次いで、「住宅が立ち並ぶ地域」が 36.5%となっています。

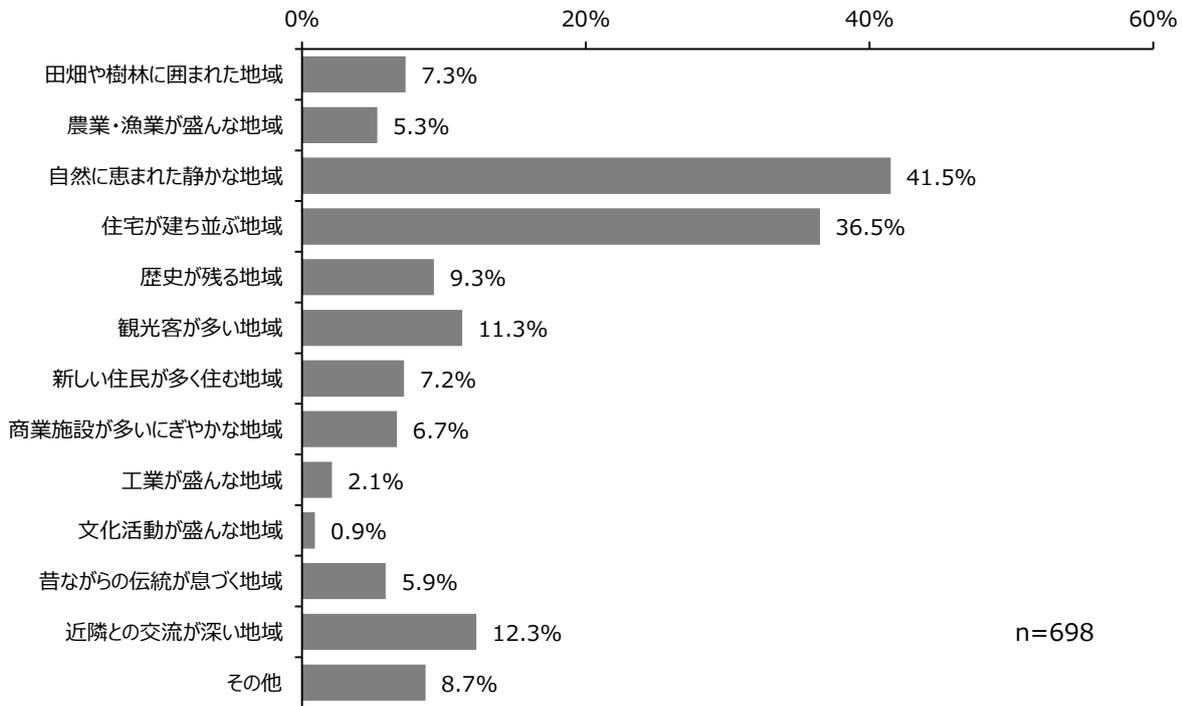


図 14 お住まいの地域について現在のイメージ

性別で見ると、「男性」は、「住宅が立ち並ぶ地域」が 41.2%と最も多く、「女性」は、「自然に恵まれた静かな地域」が 42.7%と最も多くなっています。

年代別で見ると、40 歳未満は、「住宅が立ち並ぶ地域」が最も多く、40 歳以上は「自然に恵まれた静かな地域」が最も多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区が「自然に恵まれた静かな地域」もしくは「住宅が立ち並ぶ地域」を最も多く選択する中、「中央地区」は、「観光客が多い地域」が最も多くなっています。

第2次小樽市都市計画マスタープラン策定のためのアンケート調査

表 13-1 お住まいの地域について（現在のイメージ）

		れた地域	田畑や樹林に囲まれた地域	農業・漁業が盛んな地域	自然に恵まれた静かな地域	住宅が建ち並ぶ地域	歴史が残る地域	観光客が多い地域	新しい住民が多く住む地域	ぎやかな地域	商業施設が多い地域	工業が盛んな地域	文化活動が盛んな地域	昔からの伝統が息づく地域	近隣との交流が深い地域	その他
全体(n=698)		7.3%	5.3%	41.5%	36.5%	9.3%	11.3%	7.2%	6.7%	2.1%	0.9%	5.9%	12.3%	8.7%		
性別	男(n=238)	6.7%	3.8%	38.2%	41.2%	10.1%	10.9%	8.8%	8.0%	3.4%	0.4%	7.1%	8.8%	7.1%		
	女(n=431)	7.4%	6.0%	42.7%	34.3%	9.3%	11.4%	6.5%	6.5%	1.4%	0.9%	5.3%	14.6%	9.0%		
年代別	18歳~29歳(n=131)	8.4%	2.3%	37.4%	40.5%	10.7%	11.5%	5.3%	9.9%	3.1%	0.0%	3.8%	9.9%	9.9%		
	30歳~39歳(n=113)	7.1%	7.1%	38.9%	39.8%	7.1%	15.0%	8.8%	8.8%	4.4%	0.0%	1.8%	8.8%	8.8%		
	40歳~49歳(n=95)	8.4%	4.2%	46.3%	38.9%	8.4%	9.5%	3.2%	4.2%	0.0%	1.1%	4.2%	14.7%	6.3%		
	50歳~59歳(n=125)	5.6%	5.6%	46.4%	36.0%	11.2%	12.8%	4.8%	5.6%	0.8%	0.8%	4.8%	12.0%	11.2%		
	60歳~69歳(n=118)	4.2%	9.3%	39.0%	31.4%	13.6%	9.3%	9.3%	6.8%	2.5%	2.5%	9.3%	11.9%	6.8%		
	70歳以上(n=88)	11.4%	2.3%	40.9%	33.0%	4.5%	8.0%	13.6%	5.7%	1.1%	0.0%	13.6%	20.5%	4.5%		
地区別	塩谷地区(n=81)	23.5%	18.5%	67.9%	4.9%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	12.3%	13.6%	12.3%		
	長橋・オタモイ地区(n=79)	5.1%	0.0%	45.6%	59.5%	3.8%	1.3%	6.3%	0.0%	2.5%	0.0%	1.3%	15.2%	8.9%		
	高島地区(n=63)	12.7%	20.6%	52.4%	27.0%	3.2%	3.2%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	9.5%	17.5%	6.3%		
	手宮地区(n=58)	5.2%	6.9%	48.3%	17.2%	29.3%	8.6%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	8.6%	8.6%	13.8%		
	中央地区(n=93)	0.0%	0.0%	4.3%	28.0%	23.7%	50.5%	4.3%	33.3%	0.0%	3.2%	3.2%	8.6%	6.5%		
	山手地区(n=71)	2.8%	1.4%	42.3%	56.3%	8.5%	8.5%	7.0%	7.0%	0.0%	1.4%	1.4%	8.5%	8.5%		
	南小樽地区(n=72)	5.6%	1.4%	26.4%	50.0%	11.1%	13.9%	6.9%	6.9%	5.6%	0.0%	6.9%	16.7%	5.6%		
	朝里地区(n=86)	2.3%	1.2%	37.2%	64.0%	3.5%	4.7%	20.9%	4.7%	0.0%	0.0%	3.5%	7.0%	5.8%		
	銭函地区(n=85)	10.6%	1.2%	60.0%	22.4%	3.5%	2.4%	12.9%	0.0%	9.4%	2.4%	4.7%	16.5%	10.6%		

は各分類の中で最も多い項目

表 13-2 お住まいの地域について現在のイメージ（地区別）

地区	現在のイメージ
塩谷地区、高島地区、手宮地区、銭函地区	自然に恵まれた静かな地域
長橋・オタモイ地区、山手地区、南小樽地区、朝里地区	住宅が建ち並ぶ地域
中央地区	観光地が多い地域

問 14 あなたがお住まいの地域が将来どのようになっていると良いと思いますか。（多肢選択）

お住まいの地域の将来イメージについて、「自然や緑が豊かなまち」が最も多く、27.9%となっていますが、「安心できるまち」も27.2%とほぼ同率となっています。次いで「利便性の高いまち」が22.9%となっています。

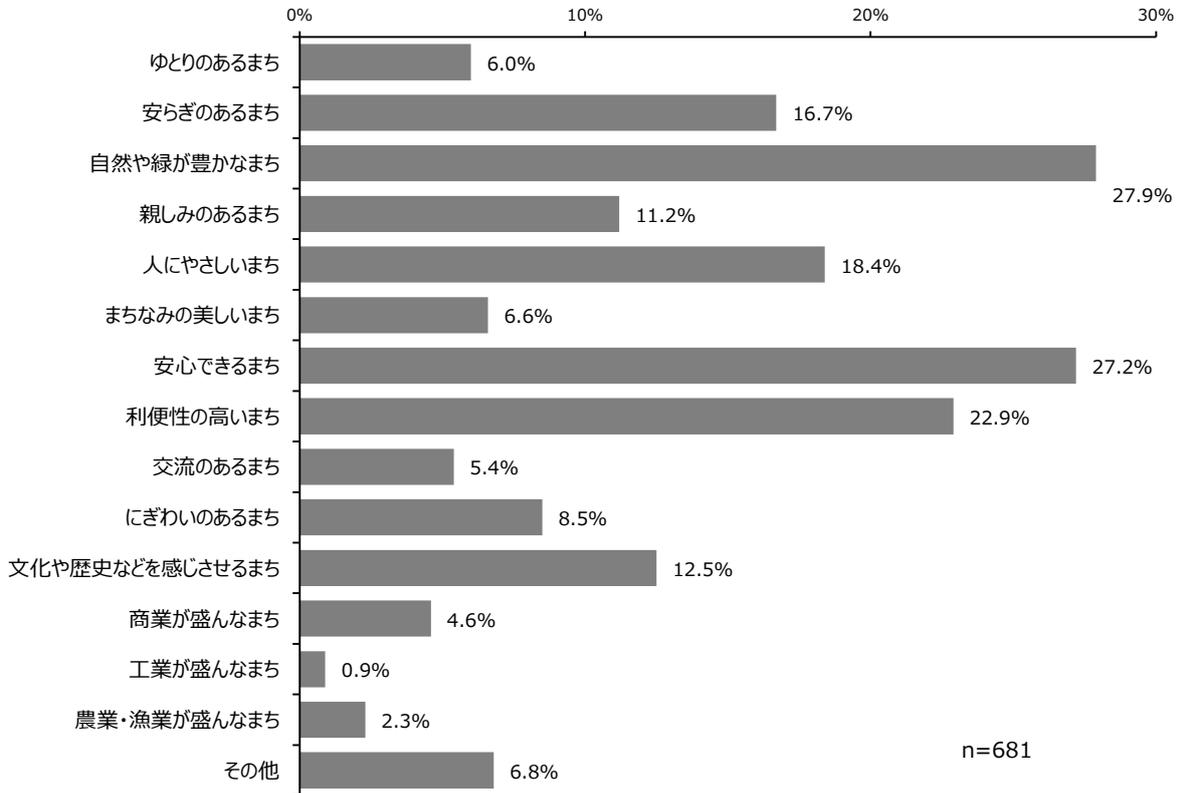


図 15 お住まいの地域について将来のイメージ

性別で見ると、「男性」は「自然や緑が豊かなまち」が25.8%と最も多く、「女性」は「安心できるまち」が31.0%と最も多くなっています。

年代別で見ると、ほとんどの年代で「自然や緑が豊かなまち」もしくは「安心できるまち」を最も多く選択する中、「30歳～39歳」は「利便性の高いまち」が最も多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「自然や緑が豊かなまち」もしくは「安心できるまち」を最も多く選択する中、「手宮地区」と「中央地区」は「文化や歴史などを感じさせるまち」が最も多くなっています。

第2次小樽市都市計画マスタープラン策定のためのアンケート調査

表 14-1 お住まいの地域について (将来のイメージ)

		ゆとりのあるまち	安らぎのあるまち	自然や緑が豊かなまち	親しみのあるまち	人によさしいまち	まちなみの美しいまち	安心できるまち	利便性の高いまち	交流のあるまち	にぎわいのあるまち	文化や歴史などを 感じさせるまち	商業が盛んなまち	工業が盛んなまち	農業・漁業が盛んなまち	その他
全体(n=681)		6.0%	16.7%	27.9%	11.2%	18.4%	6.6%	27.2%	22.9%	5.4%	8.5%	12.5%	4.6%	0.9%	2.3%	6.8%
性別	男(n=236)	8.1%	22.9%	25.8%	9.7%	19.9%	7.6%	21.6%	19.9%	5.9%	8.1%	14.8%	5.9%	0.8%	3.8%	5.5%
	女(n=420)	4.5%	13.3%	28.3%	12.1%	17.9%	6.4%	31.0%	25.0%	5.5%	9.0%	11.7%	3.8%	1.0%	1.7%	6.9%
年代別	18歳~29歳(n=129)	7.8%	18.6%	26.4%	10.9%	10.9%	10.9%	26.4%	20.2%	5.4%	9.3%	14.0%	4.7%	0.8%	1.6%	7.0%
	30歳~39歳(n=110)	10.0%	8.2%	27.3%	10.9%	19.1%	0.9%	22.7%	37.3%	2.7%	12.7%	13.6%	7.3%	0.9%	0.9%	8.2%
	40歳~49歳(n=93)	3.2%	16.1%	28.0%	12.9%	19.4%	4.3%	34.4%	21.5%	6.5%	5.4%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%	7.5%
	50歳~59歳(n=121)	4.1%	20.7%	28.9%	11.6%	24.8%	9.9%	22.3%	16.5%	5.0%	12.4%	11.6%	0.8%	0.0%	4.1%	8.3%
	60歳~69歳(n=114)	6.1%	16.7%	26.3%	6.1%	17.5%	6.1%	32.5%	22.8%	8.8%	7.9%	14.9%	4.4%	1.8%	4.4%	3.5%
	70歳以上(n=91)	3.3%	19.8%	28.6%	16.5%	23.1%	7.7%	28.6%	20.9%	5.5%	2.2%	12.1%	7.7%	2.2%	3.3%	3.3%
地区別	塩谷地区(n=78)	5.1%	12.8%	43.6%	2.6%	11.5%	0.0%	34.6%	16.7%	9.0%	10.3%	7.7%	5.1%	0.0%	5.1%	9.0%
	長橋・オタモイ地区(n=78)	5.1%	12.8%	29.5%	12.8%	20.5%	2.6%	32.1%	23.1%	6.4%	5.1%	6.4%	2.6%	1.3%	0.0%	10.3%
	高島地区(n=60)	5.0%	20.0%	31.7%	8.3%	20.0%	3.3%	23.3%	16.7%	8.3%	6.7%	16.7%	0.0%	0.0%	6.7%	5.0%
	手宮地区(n=59)	11.9%	22.0%	20.3%	20.3%	11.9%	0.0%	18.6%	18.6%	1.7%	5.1%	23.7%	6.8%	0.0%	1.7%	10.2%
	中央地区(n=89)	6.7%	9.0%	10.1%	13.5%	18.0%	15.7%	22.5%	28.1%	5.6%	15.7%	29.2%	14.6%	1.1%	2.2%	2.2%
	山手地区(n=66)	6.1%	13.6%	28.8%	9.1%	24.2%	12.1%	33.3%	27.3%	4.5%	6.1%	10.6%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%
	南小樽地区(n=73)	6.8%	16.4%	20.5%	6.8%	16.4%	8.2%	30.1%	21.9%	4.1%	11.0%	12.3%	6.8%	1.4%	2.7%	8.2%
	朝里地区(n=85)	5.9%	22.4%	29.4%	14.1%	23.5%	8.2%	24.7%	22.4%	3.5%	3.5%	4.7%	1.2%	0.0%	1.2%	9.4%
	銭函地区(n=86)	3.5%	22.1%	38.4%	11.6%	18.6%	5.8%	25.6%	27.9%	5.8%	10.5%	3.5%	1.2%	3.5%	2.3%	5.8%

は各分類の中で最も多い項目

表 14-2 お住まいの地域について将来のイメージ

地区	お住まいの地域について将来のイメージ
塩谷地区、高島地区、朝里地区、銭函地区	自然や緑が豊かなまち
長橋・オタモイ地区、山手地区、南小樽地区	安心できるまち
手宮地区、中央地区	文化や歴史などを 感じさせるまち

8. 魅力的なまちにするための提案

問 15 小樽市やあなたがお住まいの地域を魅力的なまちにするためのアイデアや提案がありましたら、お教えてください。（自由記載）

地域を魅力的なまちにするアイデアや提案として、子育て支援に関する内容など多くあげられています。

表 15 アイデアや提案

	分野	主なアイデアや提案の内容
1	公園等整備 【75件】	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを遊ばせに行きたいと思える公園の充実。 ・年代を問わず楽しめる大型の公園。（池、花見、紅葉狩り、雪遊びができる） ・大型公園の整備により、自転車が乗れたり、バーベキューができる。 ・既存公園を活用して、様々なイベントの開催。 ・公園遊具の充実。 ・公園駐車場を増やす。 など
2	子育て支援 【31件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー層への支援充実。 ・子どもの医療助成拡充、児童クラブの会費の無料化。 ・授乳スペース・オムツ換えスペースを示した地図作成。 ・市内の子どもと遊びに出でかけられる場所の冊子作成。 ・ベビーカーの貸し出し。 ・産院を増やす。 ・大学までの子育て世代への支援。 など
"	観光振興 【31件】	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設の充実。 ・まちの美観に雑然とした感じがある。共通区域への心配りが必要。 ・手宮地区の文化、歴史、斜度 22°のはげましの坂、北限の山栗などを生かしたイベントの開催。 ・ニシン祭りやシャコ祭りのようなイベントをネットやガイドブックなどで PR。案内板の充実。 ・アジア圏の観光客向けの雪遊び（雪かき、雪中ウォーク、雪だるま、雪中ダイビング、インスタ映え）。 など
4	空き家・空地対策 【27件】	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地が多くなってくるので、街をコンパクトにする。 ・子育て世代に向け空き家再生 ・移住希望者に空き家などを貸し出す。 など
5	除排雪対策 【24件】	<ul style="list-style-type: none"> ・流雪溝、融雪溝の整備。 ・除排雪頻度を増やす、雪山の高さを下げる。 など
"	雇用創出 【24件】	<ul style="list-style-type: none"> ・大企業を誘致する。 ・若者が働ける会社。工場や大型の施設を整備。 ・市内在住者の雇用を優先し、定着を図るべき。 など
7	公共交通網形成等 【21件】	<ul style="list-style-type: none"> ・バスとJRの接続の見直し（利便性の向上）。 ・高齢者割合が高い地区でのデマンドバスや乗合タクシーの導入。病院や商業施設への定期便化。 ・駅舎内の古い施設の改善・バリアフリー化等。 ・「コミュニティバス」が「市役所中心に」走ればよいと思う。 ・バスの増便 など
"	若年層の定住対策 【21件】	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代への優遇措置など長期的に効果が出る施策。 ・アパートの家賃を安くして若者が住みやすくする。 など
9	環境美化 【19件】	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸線のゴミ清掃。 ・観光客向けに、各国の言葉で案内板やゴミ箱目印の設置。 ・人力車の人たちだけではなく観光地はきれいにしたい。 など
10	緑化推進 【18件】	<ul style="list-style-type: none"> ・庭先に鉢植えや花壇などが目に入ってくると素敵です。 ・地域の行事や呼びかけを増やし、個人宅周りの緑化を進める。 ・桜の木をたくさん植えたり、公園に花をたくさん植えたりして、花の名所的なところができたら素敵です。 など

上記以外のアイデアとして

- ・道路整備(16件) ・商業施設開発(15件) ・駅前開発(15件) ・歴史的建造物の保全(11件)
- ・駐車場整備(11件) ・高齢者支援(10件) など

9. 身近なみどりについて

問 16 あなたは、お住まいのまわり（住宅の庭や公園、背後の樹林地など）が、みどり豊かだと思いますか。（単一選択）

お住まいのまわり（住宅の庭や公園、背後の樹林地など）のみどりについて、「どちらかといえば、豊かだと思う」が47.9%と最も多く、みどり豊かと感じている※6 回答では72.4%となっています。

図16 お住まいの周りのみどりの豊かさ



※6 みどり豊かと感じている = 「豊かだと思う」 + 「どちらかといえば、豊かだと思う」

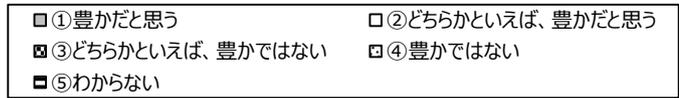
※7 みどり豊かと感じていない = 「どちらかといえば、豊かではない」 + 「豊かではない」

問 17 あなたは、お住まいのまわりの道路（街路樹や花壇など）が、みどり豊かだと思いますか。

(単一選択)

お住まいの道路（街路樹や花壇など）のみどりについて、「どちらかといえば、豊かだと思う」が 37.3%と最も多くなっているもの、みどり豊かと感じていない回答（49.0%）と、みどり豊かだと感じている回答（47.7%）がほぼ同率となっています。

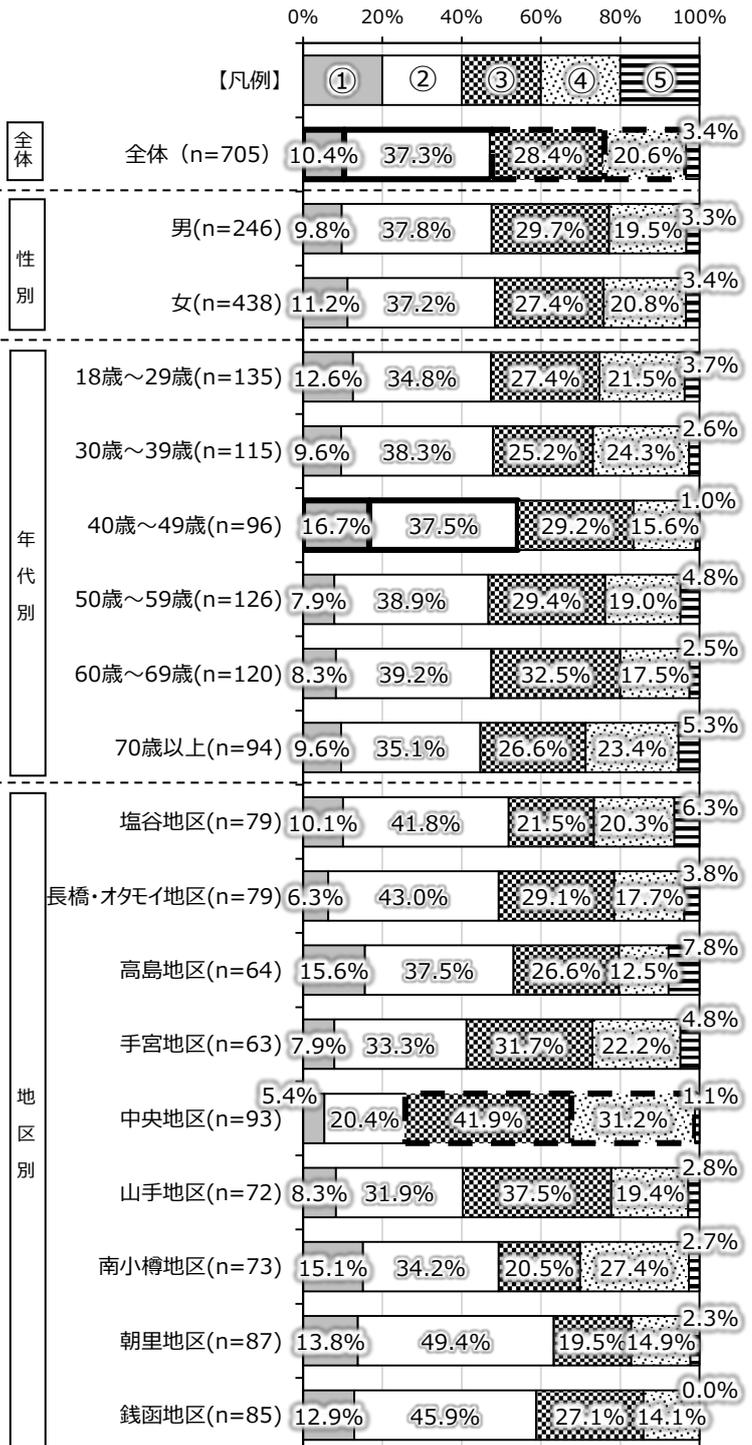
図17 お住まいのまわりの道路のみどりの豊かさ



性別で見ると、大きな差異はありません。

年代別で見ると、どの年代も「どちらかといえば、豊かだと思う」が最も多くなっていますが、「40歳～49歳」は、みどり豊かと感じている回答が 54.2%と最も多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「どちらかといえば、豊かだと思う」を最も多く選択する中、「中央地区」と「山手地区」では、「どちらかといえば、豊かではない」が最も多くなっており、「中央地区」ではみどり豊かだと感じていない回答が 73.1%と、みどり豊かだと感じている回答を 47.3 ポイント上回っています。



問 18 公園以外で、小樽の市街地内で「今後も保全すべき緑地」といえば、どこだと思いますか。
(多肢選択)

小樽の市街地内で今後も保全すべき緑地として、「住吉神社」が 63.9%と最も多く、性別、年代別においても最も多くなっています。全体の回答としては次いで、「小樽稲荷神社（手宮公園近く）」が 51.3%、「水天宮」が 45.6%となっています。

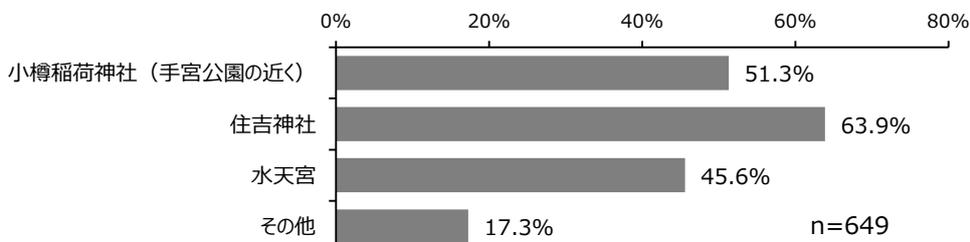


図 18 今後も保全すべき緑地（市街地内）

性別で見ると、どちらも「小樽稲荷神社（手宮公園近く）」が 2 番目に多く、「男性」(51.5%)と「女性」(51.3%)がほぼ同率となっています。

年代別で見ると、ほとんどの年代で「小樽稲荷神社（手宮公園の近く）」が 2 番目に多くなっています。

地区別で見ると、どの地区においても「住吉神社」の割合が 50%以上となっておりますが、「中央地区」では「水天宮」が、「高島地区」、「手宮地区」、「銭函地区」では、「小樽稲荷神社（手宮公園の近く）」が最も多くなっています。

表 16 今後も保全すべき緑地（市街地内）

		小樽稲荷神社 (手宮公園の近く)	住吉神社	水天宮	その他
全体(n=649)		51.3%	63.9%	45.6%	17.3%
性別	男(n=227)	51.5%	62.1%	48.9%	20.3%
	女(n=400)	51.3%	66.3%	43.8%	15.3%
年代別	18歳～29歳(n=125)	61.6%	70.4%	53.6%	9.6%
	30歳～39歳(n=108)	50.0%	68.5%	41.7%	20.4%
	40歳～49歳(n=89)	41.6%	69.7%	42.7%	12.4%
	50歳～59歳(n=118)	50.8%	57.6%	47.5%	30.5%
	60歳～69歳(n=107)	47.7%	59.8%	42.1%	44.6%
	70歳以上(n=83)	54.2%	61.4%	44.6%	18.1%
地区別	塩谷地区(n=70)	52.9%	65.7%	42.9%	21.4%
	長橋・村野地区(n=75)	48.0%	60.0%	34.7%	18.7%
	高島地区(n=60)	66.7%	55.0%	33.3%	11.7%
	手宮地区(n=57)	77.2%	59.6%	47.4%	8.8%
	中央地区(n=89)	47.2%	51.7%	57.3%	14.6%
	山手地区(n=68)	32.4%	72.1%	55.9%	22.1%
	南小樽地区(n=68)	38.2%	86.8%	51.5%	20.6%
	朝里地区(n=82)	52.4%	75.6%	48.8%	14.6%
	銭函地区(n=69)	55.1%	53.6%	37.7%	21.7%

は各分類の中で最も多い項目

問 19 小樽の市街地内で特にみどりが少ないと感じる地域はどこですか。（多肢選択）

小樽の市街地内で、特にみどりが少ないと感じる地域とは、「小樽駅前の中心市街地」が 73.7%と最も多く、性別、年代、地区別においても最も多くなっています。

全体の回答としては次いで、「小樽築港駅周辺」が 40.4%、「南小樽駅周辺」は、34.1%となっています。

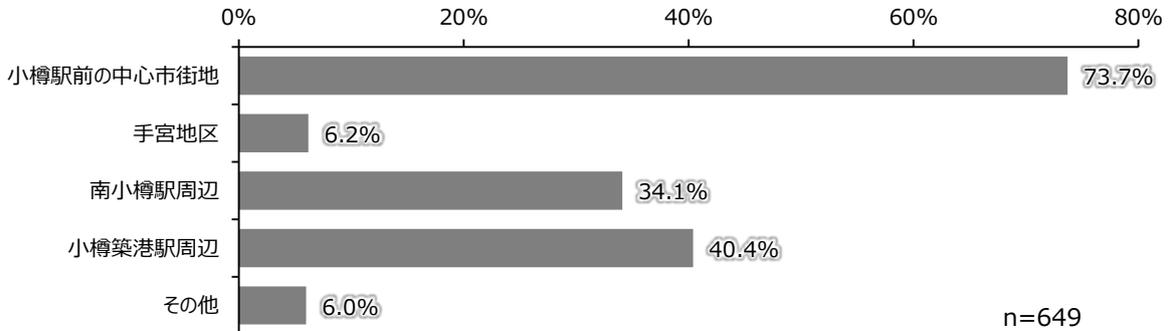


図 19 みどりが少ないと感じる地域（市街地内）

性別で見ると、「小樽築港駅周辺」が2番目に多くはありますが、「男性」が44.1%と、「女性」を5.1ポイント上回っています。

年代別で見ると、ほぼ同様の傾向となっており、どの年代も「小樽築港駅周辺」が2番目になっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「小樽築港駅周辺」が2番目に選択している中、「塩谷地区」、「高島地区」、「朝里地区」で「南小樽駅周辺」が2番目に多くなっています。

表 17 特にみどりが少ないと感じる地域

		小樽駅前の中心市街地	手宮地区	南小樽駅周辺	小樽築港駅周辺	その他
全体(n=649)		73.7%	6.2%	34.1%	40.4%	6.0%
性別	男(n=227)	71.4%	4.8%	37.0%	44.1%	8.4%
	女(n=400)	75.5%	6.8%	32.3%	39.0%	4.0%
年代別	18歳～29歳(n=125)	74.4%	5.6%	36.0%	40.0%	2.4%
	30歳～39歳(n=108)	73.1%	8.3%	36.1%	43.5%	6.5%
	40歳～49歳(n=89)	77.5%	5.6%	32.6%	41.6%	2.2%
	50歳～59歳(n=118)	67.8%	4.2%	28.8%	34.7%	11.9%
	60歳～69歳(n=107)	75.7%	4.7%	35.5%	43.9%	4.7%
	70歳以上(n=83)	75.9%	8.4%	34.9%	42.2%	6.0%
地区別	塩谷地区(n=70)	78.6%	0.0%	25.7%	25.7%	4.3%
	長橋・栲野地区(n=75)	73.3%	2.7%	28.0%	41.3%	2.7%
	高島地区(n=60)	83.3%	16.7%	36.7%	35.0%	5.0%
	手宮地区(n=57)	71.9%	8.8%	31.6%	35.1%	10.5%
	中央地区(n=89)	73.0%	5.6%	33.7%	40.4%	5.6%
	山手地区(n=68)	77.9%	5.9%	39.7%	57.4%	2.9%
	南小樽地区(n=68)	69.1%	2.9%	38.2%	50.0%	4.4%
	朝里地区(n=82)	69.5%	7.3%	42.7%	42.7%	6.1%
	銭函地区(n=69)	71.0%	7.2%	29.0%	36.2%	13.0%

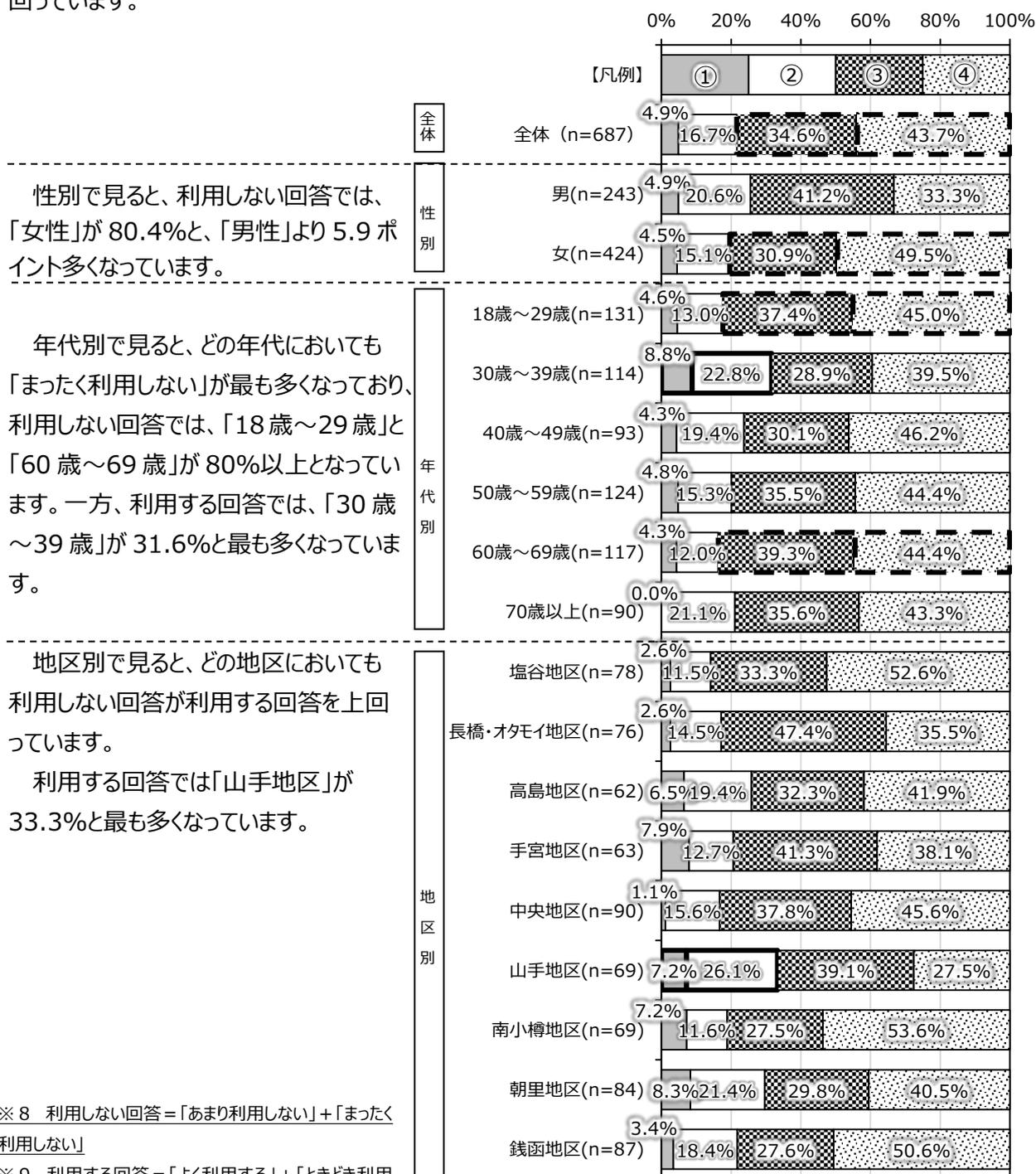
は各分類の中で最も多い項目

10. 身近な公園について

問 20 あなたは、身近な公園をどれくらい利用していますか。（単一選択）

身近な公園の利用頻度については、「まったく利用しない」が43.7%と最も多く、利用しない回答※⁸が78.3%となっており、利用する回答※⁹を56.7ポイント上回っています。

図20 身近な公園の利用頻度



※⁸ 利用しない回答 = 「あまり利用しない」 + 「まったく利用しない」

※⁹ 利用する回答 = 「よく利用する」 + 「ときどき利用する」

問 21 あなたは、身近な公園を利用しない理由を教えてください。（多肢選択）

身近な公園を利用しない理由は、「利用する時間や暇がない」が 43.7%と最も多くなっており、性別においても最も多くなっています。

全体の回答としては次いで、「遊具、水飲み台、トイレなどの施設が古く、魅力を感じない」が 32.0%、「ベンチなど休憩施設が少なく、魅力を感じない」が 29.7%、「歩いて行けるところがない」が 29.0%となっています。

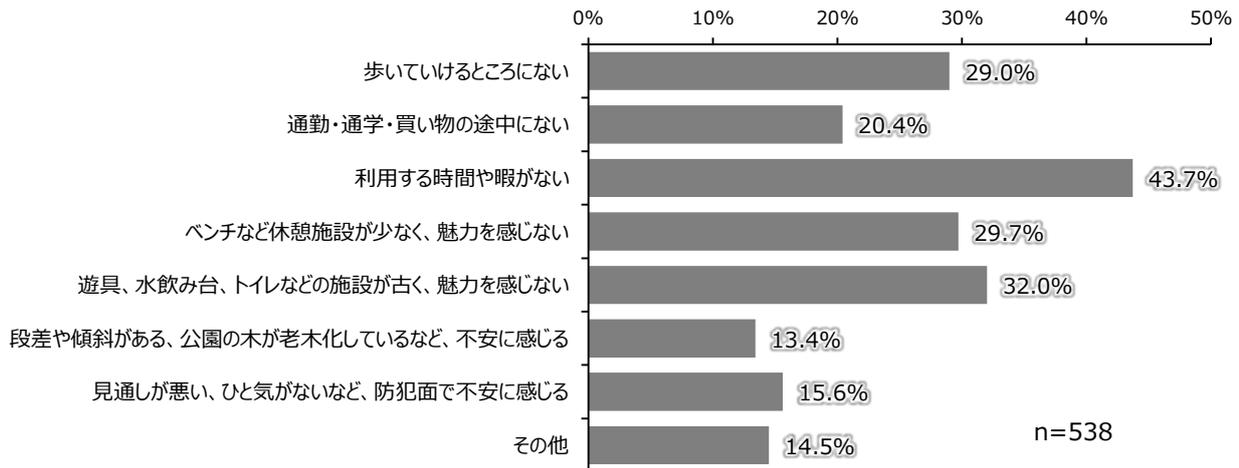


図 21 身近な公園を利用しない理由

性別で見ると、「男性」では「ベンチなど休憩施設が少なく、魅力を感じない」が、「女性」では「歩いて行けるところがない」が、身近な公園を利用しない 2 番目の理由になっています。

年代別で見ると、「18 歳～29 歳」、「40 歳～49 歳」、「50 歳～59 歳」は、「利用する時間や暇がない」が 50%以上となっています。また、「70 歳以上」は、「ベンチなど休憩施設が少なく、魅力を感じない」が最も多く、「30 歳～39 歳」と「60 歳～69 歳」では、「遊具、水飲み台、トイレなどの施設が古く、魅力を感じない」が最も多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「利用する時間や暇がない」を最も多く選択している中、「塩谷地区」では「歩いて行けるところがない」、「銭函地区」では「遊具、水飲み台、トイレなどの施設が古く、魅力を感じない」が最も多くなっています。

表 18 身近な公園を利用しない理由

		歩いていけるところがない	通勤・通学・買い物途中にない	利用する時間や暇がない	ベンチなど休憩施設が少なく、魅力を感じない	遊具、水飲み台、トイレなどの施設が古く、魅力を感じない	段差や傾斜がある、公園の木が老木化しているなど、不安を感じる	見通しが悪い、ひと気がないなど、防犯面で不安を感じる	その他
全体(n=538)		29.0%	20.4%	43.7%	29.7%	32.0%	13.4%	15.6%	14.5%
性別	男(n=176)	19.9%	17.0%	43.8%	36.4%	34.7%	19.9%	10.8%	14.2%
	女(n=339)	34.2%	22.7%	45.4%	26.0%	30.7%	10.0%	18.6%	15.0%
年代別	18歳～29歳(n=106)	23.6%	32.1%	59.4%	19.8%	35.8%	9.4%	14.2%	9.4%
	30歳～39歳(n=77)	40.3%	26.0%	45.5%	37.7%	48.1%	10.4%	22.1%	15.6%
	40歳～49歳(n=71)	14.1%	16.9%	50.7%	26.8%	28.2%	9.9%	19.7%	15.5%
	50歳～59歳(n=98)	35.7%	18.4%	52.0%	25.5%	22.4%	15.3%	11.2%	17.3%
	60歳～69歳(n=96)	27.1%	19.8%	33.3%	33.3%	39.6%	16.7%	17.7%	15.6%
	70歳以上(n=70)	34.3%	5.7%	21.4%	40.0%	17.1%	20.0%	12.9%	15.7%
地区別	塩谷地区(n=67)	65.7%	29.9%	34.3%	20.9%	28.4%	9.0%	10.4%	13.4%
	長橋・木下地区(n=61)	37.7%	19.7%	39.3%	26.2%	27.9%	9.8%	14.8%	14.8%
	高島地区(n=46)	28.3%	17.4%	43.5%	37.0%	32.6%	17.4%	23.9%	10.9%
	手宮地区(n=49)	22.4%	12.2%	38.8%	32.7%	30.6%	20.4%	24.5%	16.3%
	中央地区(n=74)	25.7%	25.7%	47.3%	31.1%	31.1%	10.8%	10.8%	14.9%
	山手地区(n=46)	8.7%	21.7%	47.8%	26.1%	37.0%	23.9%	19.6%	19.6%
	南小樽地区(n=56)	25.0%	23.2%	60.7%	39.3%	32.1%	17.9%	14.3%	12.5%
	朝里地区(n=58)	20.7%	17.2%	53.4%	25.9%	32.8%	10.3%	17.2%	19.0%
銭函地区(n=66)	21.2%	15.2%	36.4%	34.8%	37.9%	10.6%	12.1%	13.6%	

は各分類の中で最も多い項目

問 22 小樽にあつたら良いと思う公園はどれですか。(多肢選択)

小樽市にあつたら良いと思う公園は、「花が多く季節の楽しみがある公園」が 34.0%と最も多くなっています。

全体の回答としては次いで、「ウォーキングが出来る公園」が 29.9%、「冬でも楽しめる公園」が 23.5%、「様々なスポーツを楽しめる公園」が 21.3%となっています。

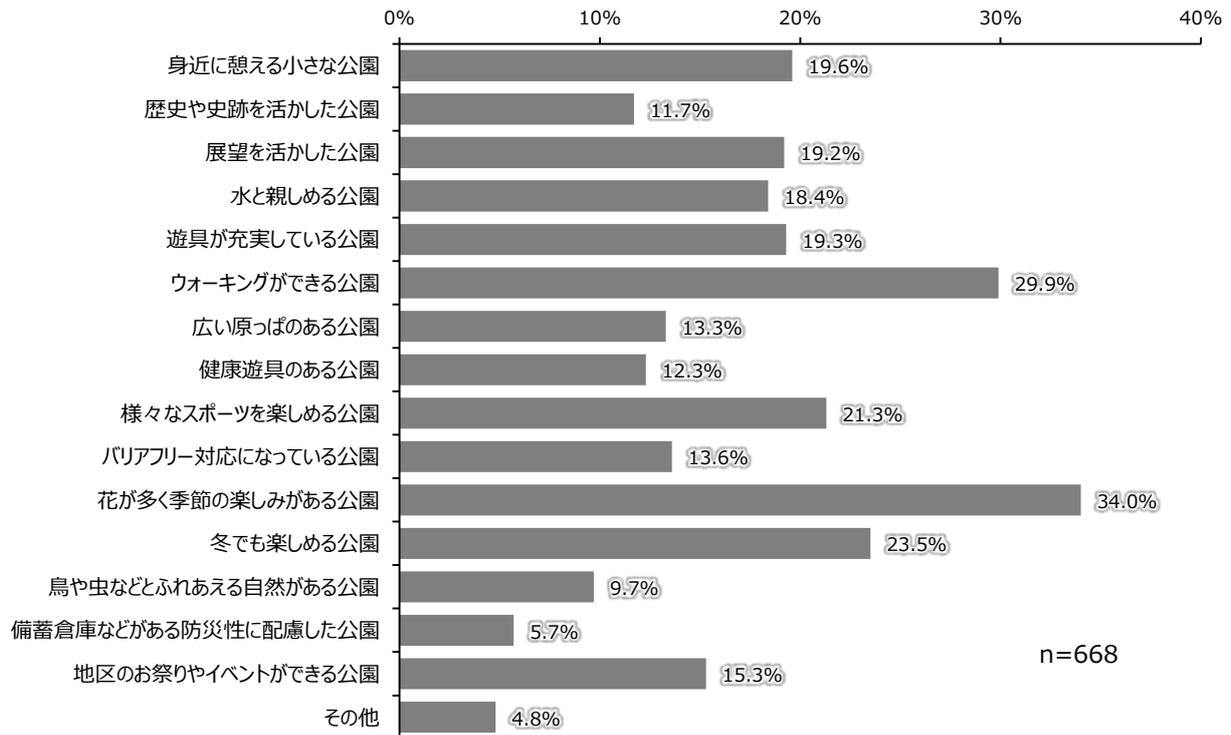


図 22 小樽にあつたら良いと思う公園

性別で見ると、「男性」は、「ウォーキングが出来る公園」が 30.9%と最も多く、「女性」は、「花が多く季節の楽しみがある公園」が 36.9%と最も多くなっています。

年代別で見ると、50歳未満では、「冬でも楽しめる公園」が最も多く、50歳以上では、「花が多く季節の楽しみがある公園」が最も多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「ウォーキングが出来る公園」もしくは「花が多く季節の楽しみがある公園」を最も多く選択しています。

第2次小樽市都市計画マスタープラン策定のためのアンケート調査

表 19 小樽にあったら良いと思う公園

		身近に憩える小さな公園	歴史や史跡を活かした公園	展望を活かした公園	水と親しめる公園	遊具が充実している公園	ウォーキングができる公園	広い原っぱのある公園	健康遊具のある公園	様々なスポーツを楽しめる公園	バリアフリー対応になっている公園	花が多く季節の楽しみがある公園	冬でも楽しめる公園	鳥や虫などとふれあえる自然がある公園	備蓄倉庫などがある防災性に配慮した公園	地区のお祭りやイベントができる公園	その他
全体(n=668)		19.6%	11.7%	19.2%	18.4%	19.3%	29.9%	13.3%	12.3%	21.3%	13.6%	34.0%	23.5%	9.7%	5.7%	15.3%	4.8%
性別	男(n=236)	16.9%	14.8%	22.0%	18.2%	14.4%	30.9%	16.1%	9.3%	25.0%	11.4%	30.1%	18.6%	11.9%	5.5%	14.8%	4.7%
	女(n=412)	22.1%	10.2%	17.7%	18.0%	22.3%	29.4%	11.9%	13.3%	18.9%	15.0%	36.9%	25.7%	8.5%	5.3%	15.8%	4.4%
年代別	18歳~29歳(n=124)	16.1%	11.3%	16.9%	18.5%	26.6%	27.4%	16.1%	11.3%	25.8%	7.3%	21.0%	28.2%	7.3%	5.6%	19.4%	5.6%
	30歳~39歳(n=115)	15.7%	15.7%	14.8%	27.8%	35.7%	28.7%	20.0%	7.8%	28.7%	9.6%	22.6%	37.4%	9.6%	8.7%	16.5%	3.5%
	40歳~49歳(n=91)	18.7%	11.0%	20.9%	23.1%	27.5%	19.8%	12.1%	12.1%	22.0%	11.0%	26.4%	36.3%	9.9%	6.6%	14.3%	5.5%
	50歳~59歳(n=121)	21.5%	10.7%	19.8%	19.8%	11.6%	33.9%	12.4%	14.0%	19.0%	21.5%	43.0%	14.9%	11.6%	5.8%	13.2%	5.0%
	60歳~69歳(n=110)	21.8%	10.9%	25.5%	10.9%	8.2%	36.4%	11.8%	11.8%	20.0%	15.5%	49.1%	13.6%	9.1%	3.6%	16.4%	2.7%
	70歳以上(n=89)	29.2%	11.2%	18.0%	5.6%	4.5%	33.7%	6.7%	15.7%	9.0%	16.9%	48.3%	7.9%	12.4%	2.2%	12.4%	4.5%
地区別	塩谷地区(n=78)	20.5%	10.3%	20.5%	14.1%	21.8%	26.9%	12.8%	12.8%	24.4%	10.3%	32.1%	17.9%	12.8%	3.8%	15.4%	7.7%
	長橋・桜地区(n=74)	24.3%	13.5%	17.6%	17.6%	17.6%	25.7%	16.2%	8.1%	20.3%	13.5%	45.9%	24.3%	10.8%	14.9%	17.6%	2.7%
	高島地区(n=62)	27.4%	16.1%	14.5%	17.7%	19.4%	22.6%	14.5%	12.9%	19.4%	11.3%	33.9%	21.0%	11.3%	0.0%	14.5%	6.5%
	手宮地区(n=61)	18.0%	14.8%	11.5%	13.1%	16.4%	32.8%	11.5%	16.4%	21.3%	13.1%	31.1%	18.0%	3.3%	9.8%	14.8%	8.2%
	中央地区(n=87)	19.5%	14.9%	12.6%	23.0%	18.4%	32.2%	13.8%	8.0%	25.3%	11.5%	44.8%	24.1%	6.9%	8.0%	12.6%	3.4%
	山手地区(n=65)	20.0%	15.4%	21.5%	21.5%	16.9%	29.2%	10.8%	13.8%	15.4%	16.9%	24.6%	24.6%	10.8%	0.0%	18.5%	6.2%
	南小樽地区(n=69)	11.6%	8.7%	26.1%	20.3%	23.2%	31.9%	17.4%	10.1%	18.8%	15.9%	33.3%	26.1%	10.1%	5.8%	14.5%	1.4%
	朝里地区(n=81)	18.5%	3.7%	25.9%	22.2%	24.7%	30.9%	17.3%	12.3%	23.5%	17.3%	38.3%	27.2%	9.9%	2.5%	16.0%	2.5%
	銭函地区(n=83)	16.9%	8.4%	21.7%	15.7%	15.7%	37.3%	6.0%	18.1%	21.7%	13.3%	19.3%	26.5%	10.8%	6.0%	13.3%	6.0%

は各分類の中で最も多い項目

11. 「みどりのふれあい」について

問 23 あなたは、公園などでのみどりづくりやイベント（自然観察会、植樹会など）に参加したことがありますか。（単一選択）

公園などでみどりづくりやイベントへの参加について、「参加したことがなく、今後も参加しない」が54.8%と最も多く、性別、年代別、地区別においても最も多くなっています。また、イベント参加に消極的な回答※10が59.4%とイベント参加に積極的な回答※11を18.8ポイント上回っています。

性別で見ると、「女性」の「参加したことがなく、今後も参加しない」が57.1%と「男性」よりも7.1ポイント上回っており、イベント参加に消極的な回答も61.6%と、「男性」より6.6ポイント上回っています。

年代別で見ると、イベント参加に消極的な回答が50%以上になっており、「参加したことがなく、今後も参加しない」では「18歳～29歳」が63.8%と最も多くなっています。

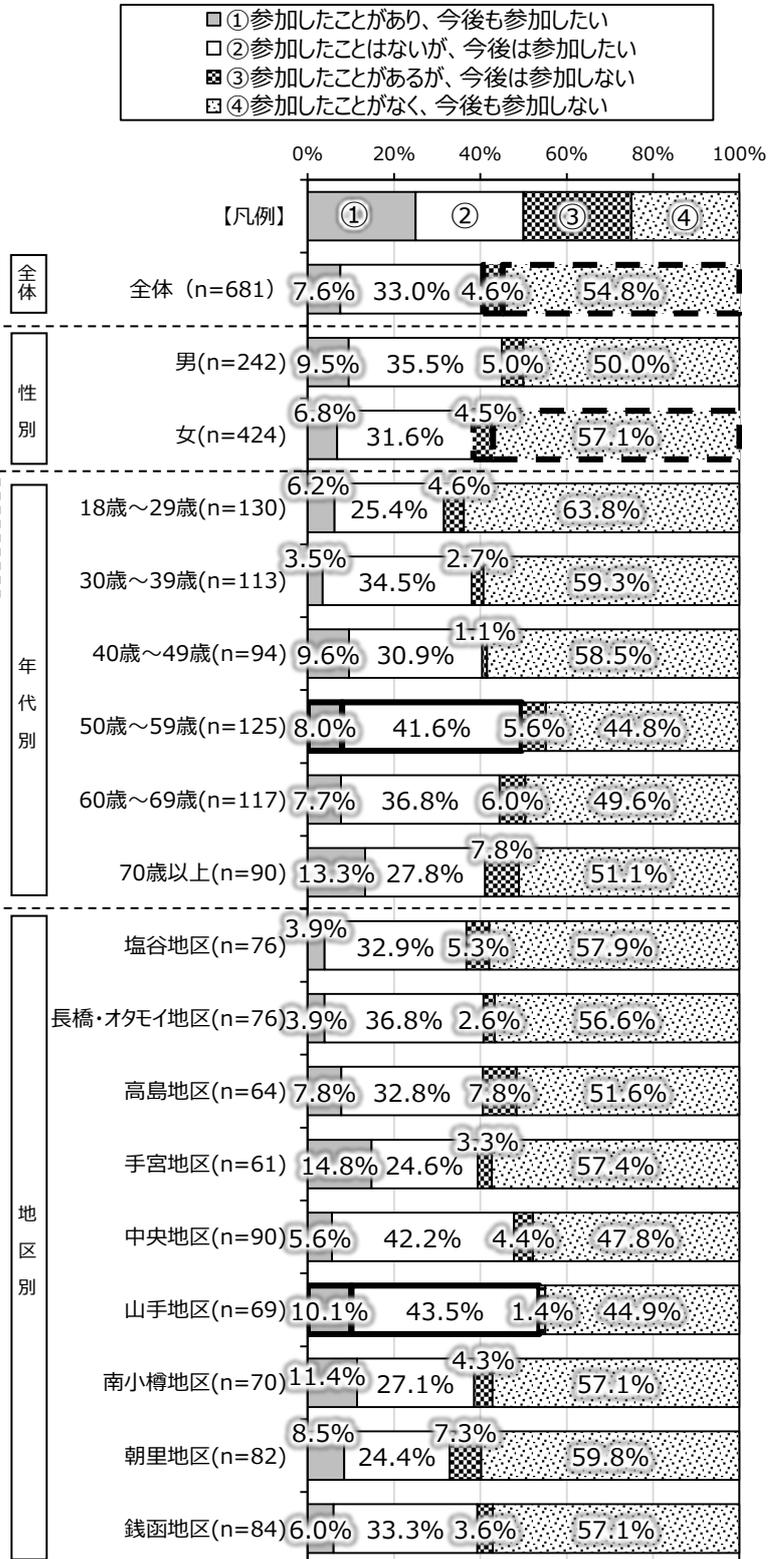
一方、「参加したことはないが、今後は参加したい」では「50歳～59歳」が41.6%、イベント参加に積極的な回答も49.6%と最も多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区でイベント参加に消極的な回答が積極的な回答を上回る中、「山手地区」ではイベント参加に積極的な回答で53.6%とイベント参加に消極的な回答を7.3ポイント上回っています。

※10 イベント参加に消極的な回答＝「参加したことがあるが、今後は参加しない」＋「参加したことがなく、今後も参加しない」

※11 イベント参加に積極的な回答＝「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」

図23 イベントへの参加経験と今後の参加意思



問 24 「参加したことがない」理由を教えてください。（多肢選択）

公園などでのみどりづくりやイベント（自然観察会、植樹会など）に参加したことがない理由として、「参加する時間がない」が42.8%と最も多くなっています。次いで、「実施していることを知らなかった」が41.6%、「興味がない、気が進まない」が22.2%となっています。

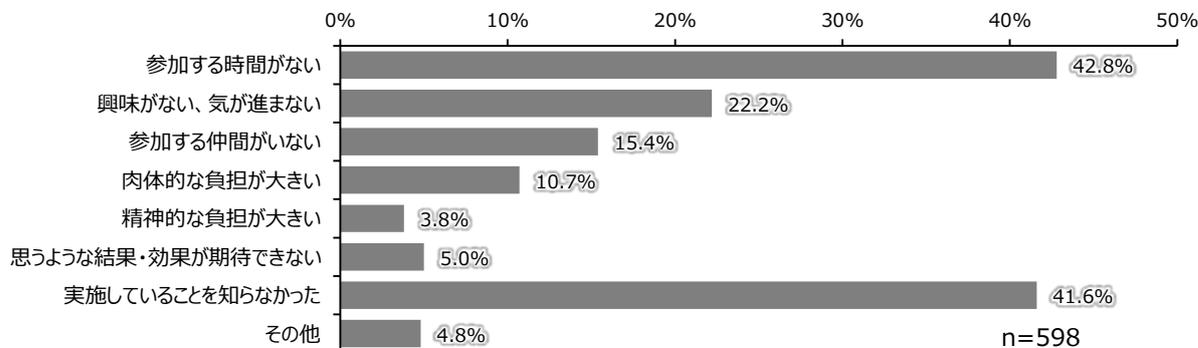


図 24 参加したことがない理由

性別で見ると、同様の傾向となっているものの、「男性」は「参加する時間がない」が最も多く、「女性」は「実施していることを知らなかった」が最も多くなっています。

年代別で見ると、ほとんどの年代で「参加する時間がない」もしくは「実施していることを知らなかった」を最も多く選択する中、「70歳以上」は、「肉体的な負担が大きい」が最も多くなっています。

地区別で見ると、どの地区においても「参加する時間がない」もしくは「実施していることを知らなかった」が、1番目又は2番目に多くなっています。

表 20 参加したことがない理由

		間参加 がする ない時	まい興 ない、味 気が進 まない	間参加 がする ない仲	担肉 が体 的的 な負 担が	担精 が神 的的 な負 担が	ない結 が期 待・よ うな 結果・ 効果	らる実 な施 かとし てて た知	そ の 他
全体(n=598)		42.8%	22.2%	15.4%	10.7%	3.8%	5.0%	41.6%	4.8%
性別	男(n=204)	44.1%	22.1%	13.7%	10.8%	4.4%	5.4%	42.2%	5.4%
	女(n=372)	42.7%	23.1%	16.1%	10.5%	3.5%	4.8%	43.3%	4.3%
年代別	18歳～29歳(n=115)	50.4%	27.0%	17.4%	1.7%	0.0%	3.5%	52.2%	0.9%
	30歳～39歳(n=103)	47.6%	19.4%	13.6%	1.0%	3.9%	4.9%	56.3%	5.8%
	40歳～49歳(n=83)	50.6%	21.7%	13.3%	6.0%	2.4%	6.0%	36.1%	9.6%
	50歳～59歳(n=108)	53.7%	23.1%	14.8%	8.3%	3.7%	1.9%	38.9%	4.6%
	60歳～69歳(n=99)	32.3%	26.3%	18.2%	20.2%	6.1%	8.1%	35.4%	2.0%
	70歳以上(n=71)	16.9%	16.9%	14.1%	35.2%	8.5%	7.0%	31.0%	8.5%
地区別	塩谷地区(n=66)	42.4%	19.7%	16.7%	13.6%	4.5%	4.5%	42.4%	6.1%
	長橋・杵臼地区(n=71)	39.4%	26.8%	9.9%	8.5%	4.2%	5.6%	45.1%	5.6%
	高島地区(n=53)	45.3%	22.6%	17.0%	7.5%	5.7%	3.8%	32.1%	5.7%
	手宮地区(n=49)	46.9%	28.6%	14.3%	14.3%	2.0%	8.2%	42.9%	2.0%
	中央地区(n=81)	43.2%	24.7%	19.8%	4.9%	2.5%	3.7%	46.9%	0.0%
	山手地区(n=61)	54.1%	11.5%	19.7%	14.8%	6.6%	9.8%	34.4%	4.9%
	南小樽地区(n=59)	37.3%	27.1%	13.6%	6.8%	1.7%	1.7%	47.5%	6.8%
	朝里地区(n=69)	43.5%	24.6%	15.9%	7.2%	4.3%	5.8%	37.7%	5.8%
	銭函地区(n=75)	38.7%	18.7%	13.3%	18.7%	4.0%	2.7%	49.3%	6.7%

は各分類の中で最も多い項目

問 25 あなたは、「みどりとのふれあい」に何を期待していますか。（多肢選択）

みどりとのふれあいに期待することは、「健康づくりや気分転換」が42.6%と最も多くなっています。
 次いで、「風景や自然を守り育てる」が39.1%、「身近な環境をより良くする」が31.3%、「人との交流」が20.7%となっています。

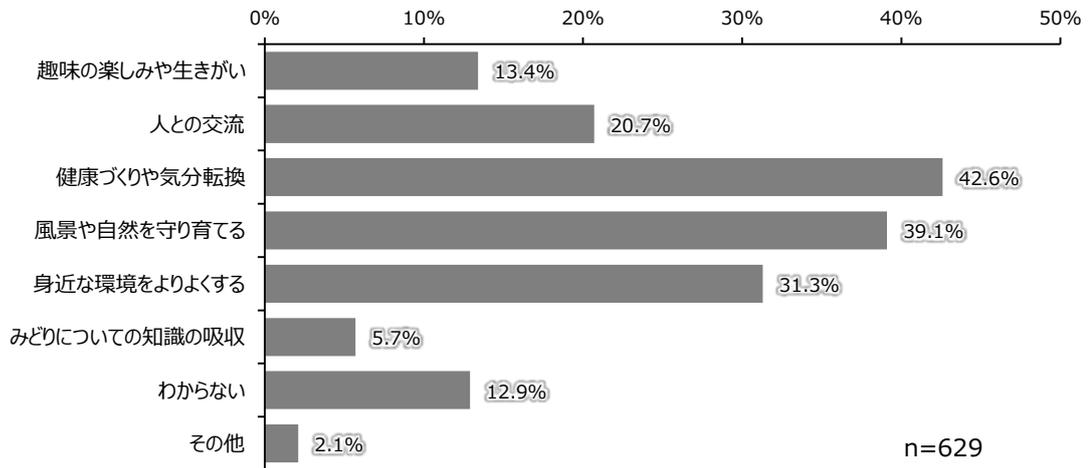


図 25 みどりのふれあいに期待するもの

性別で見ると、ほぼ同様の傾向となっているものの、「人との交流」では「男性」が24.6%と、「女性」を5.5ポイント上回っています。

年代別で見ると、ほとんどの年代で「健康づくりや気分転換」を最も多く選択する中、「18歳～29歳」と「40歳～49歳」は、「風景や自然を守り育てる」が最も多くなっています。

地区別で見ると、「塩谷地区」、「長橋・オタモイ地区」、「高島地区」、「手宮地区」、「銭函地区」では「健康づくりや気分転換」が、「中央地区」、「山手地区」、「南小樽地区」、「朝里地区」では「風景や自然を守り育てる」が最も多くなっています。

表 21 みどりのふれあいに期待するもの

		趣味の楽しみや生きがい	人との交流	健康づくりや気分転換	風景や自然を守り育てる	身近な環境をよりよくする	みどりに関する知識の吸収	わからない	その他
全体(n=629)		13.4%	20.7%	42.6%	39.1%	31.3%	5.7%	12.9%	2.1%
性別	男(n=224)	15.2%	24.6%	43.8%	41.1%	31.3%	7.1%	9.4%	1.8%
	女(n=392)	12.0%	19.1%	41.8%	38.3%	31.4%	4.8%	14.5%	2.3%
年代別	18歳～29歳(n=119)	7.6%	19.3%	33.6%	42.9%	34.5%	8.4%	16.0%	0.0%
	30歳～39歳(n=103)	16.5%	18.4%	38.8%	35.0%	29.1%	3.9%	15.5%	6.8%
	40歳～49歳(n=88)	14.8%	18.2%	31.8%	36.4%	34.1%	8.0%	19.3%	2.3%
	50歳～59歳(n=119)	11.8%	18.5%	48.7%	42.9%	34.5%	4.2%	10.1%	0.8%
	60歳～69歳(n=104)	16.3%	25.0%	48.1%	40.4%	27.9%	4.8%	9.6%	1.9%
	70歳以上(n=85)	14.1%	28.2%	55.3%	34.1%	24.7%	4.7%	7.1%	1.2%
地区別	塩谷地区(n=74)	10.8%	24.3%	47.3%	36.5%	18.9%	4.1%	14.9%	4.1%
	長橋・オキ地区(n=67)	13.4%	22.4%	50.7%	38.8%	26.9%	6.0%	13.4%	1.5%
	高島地区(n=55)	16.4%	27.3%	49.1%	23.6%	27.3%	3.6%	14.5%	3.6%
	手宮地区(n=57)	10.5%	19.3%	43.9%	33.3%	35.1%	8.8%	15.8%	1.8%
	中央地区(n=83)	14.5%	18.1%	41.0%	48.2%	38.6%	3.6%	8.4%	0.0%
	山手地区(n=59)	18.6%	20.3%	44.1%	45.8%	33.9%	3.4%	8.5%	1.7%
	南小樽地区(n=67)	4.5%	20.9%	29.9%	52.2%	35.8%	9.0%	13.4%	3.0%
	朝里地区(n=79)	13.9%	16.5%	35.4%	41.8%	36.7%	6.3%	11.4%	1.3%
	銭函地区(n=79)	13.9%	20.3%	46.8%	31.6%	29.1%	5.1%	15.2%	2.5%

は各分類の中で最も多い項目

問 26 小樽のみどりをより良くしていく上で、どのようなことが大事だと感じますか。（多肢選択）

小樽のみどりをより良くしていく上で大事なことは、「年代を問わず誰もが利用しやすく楽しめる公園を充実させる」が53.5%と最も多く、性別、年代別においても最も多くなっています。

全体の回答としては、次いで「森林、農地、河川、市街地に残された貴重な樹木・樹林など、今あるみどりを守る」が39.9%、「公園の防犯や遊具の安全など、安全で安心して利用できる維持管理を充実させる」が31.2%となっています。

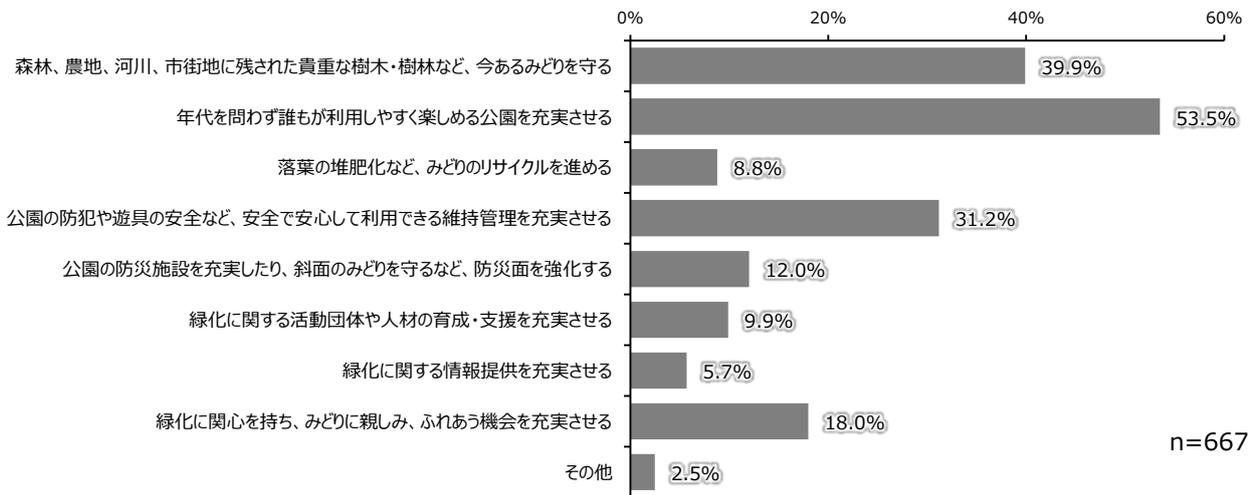


図 26 みどりをよりよくしていく上で大事なこと

性別で見ると、同様の傾向となっています。

年代別で見ると、「50歳～59歳」では、「森林、農地、河川、市街地に残された貴重な樹木・樹林など、今あるみどりを守る」も同率で最も多くなっています。

地区別で見ると、ほとんどの地区で「年代を問わず誰もが利用しやすく楽しめる公園を充実させる」を最も多く選択する中、「朝里地区」は、「森林、農地、河川、市街地に残された貴重な樹木・樹林など、今あるみどりを守る」が最も多くなっています。

表 22 みどりをよりよくしていく上で大事なこと

		森林、農地、河川、市街地に残された貴重な樹木・樹林など、今あるみどりを守る	年代を問わず誰もが利用しやすく楽しめる公園を充実させる	落葉の堆肥化など、みどりのリサイクルを進める	公園の防犯や遊具の安全など、安全で安心して利用できる維持管理を充実させる	公園の防災施設を充実したり、斜面のみどりを守るなど、防災面を強化する	緑化に関する活動団体や人材の育成・支援を充実させる	緑化に関する情報提供を充実させる	緑化に関心を持ち、みどりと親しみ、ふれあう機会を充実させる	その他
全体(n=667)		39.9%	53.5%	8.8%	31.2%	12.0%	9.9%	5.7%	18.0%	2.5%
性別	男(n=244)	39.8%	50.4%	7.0%	29.1%	13.9%	12.3%	8.2%	18.0%	3.7%
	女(n=420)	40.0%	55.2%	10.0%	32.4%	11.0%	8.6%	4.3%	17.9%	1.9%
年代別	18歳~29歳(n=130)	40.8%	52.3%	9.2%	36.2%	13.8%	3.1%	5.4%	16.9%	0.8%
	30歳~39歳(n=113)	33.6%	54.9%	9.7%	44.2%	12.4%	14.2%	5.3%	11.5%	0.9%
	40歳~49歳(n=96)	37.5%	51.0%	12.5%	40.6%	12.5%	9.4%	5.2%	12.5%	3.1%
	50歳~59歳(n=126)	51.6%	51.6%	6.3%	19.0%	7.1%	9.5%	6.3%	20.6%	5.6%
	60歳~69歳(n=114)	38.6%	52.6%	7.0%	26.3%	14.0%	12.3%	8.8%	21.1%	2.6%
	70歳以上(n=87)	33.3%	60.9%	9.2%	20.7%	11.5%	12.6%	2.3%	26.4%	2.3%
地区別	塩谷地区(n=73)	39.7%	46.6%	11.0%	32.9%	9.6%	8.2%	6.8%	13.7%	4.1%
	長橋・栲木地区(n=76)	31.6%	56.6%	17.1%	36.8%	10.5%	13.2%	5.3%	13.2%	1.3%
	高島地区(n=62)	40.3%	58.1%	6.5%	27.4%	11.3%	9.7%	9.7%	17.7%	0.0%
	手宮地区(n=59)	44.1%	55.9%	6.8%	22.0%	16.9%	6.8%	1.7%	15.3%	3.4%
	中央地区(n=89)	28.1%	62.9%	5.6%	28.1%	10.1%	14.6%	5.6%	23.6%	1.1%
	山手地区(n=65)	50.8%	53.8%	7.7%	33.8%	7.7%	10.8%	3.1%	12.3%	1.5%
	南小樽地区(n=70)	45.7%	57.1%	8.6%	24.3%	15.7%	4.3%	5.7%	21.4%	4.3%
	朝里地区(n=84)	45.2%	44.0%	9.5%	35.7%	10.7%	11.9%	6.0%	20.2%	2.4%
	銭函地区(n=83)	38.6%	49.4%	7.2%	34.9%	16.9%	7.2%	7.2%	20.5%	3.6%

は各分類の中で最も多い項目

12.まとめ

アンケートの結果から、市民のまちづくりに対する意向を2つの視点からまとめます。

(1) まちづくりの満足度について

アンケートの問3は、「これまでのまちづくりについて」、問4～問9では、今後のまちづくりにおいて「今後重点をおくべき項目」について質問しています。

これらの集計結果から小樽市のまちづくりに対する市民の満足度を確認するとともに、今後のまちづくりに何を期待しているのかを把握できると考えられます。

【問3 これまでのまちづくりについて】

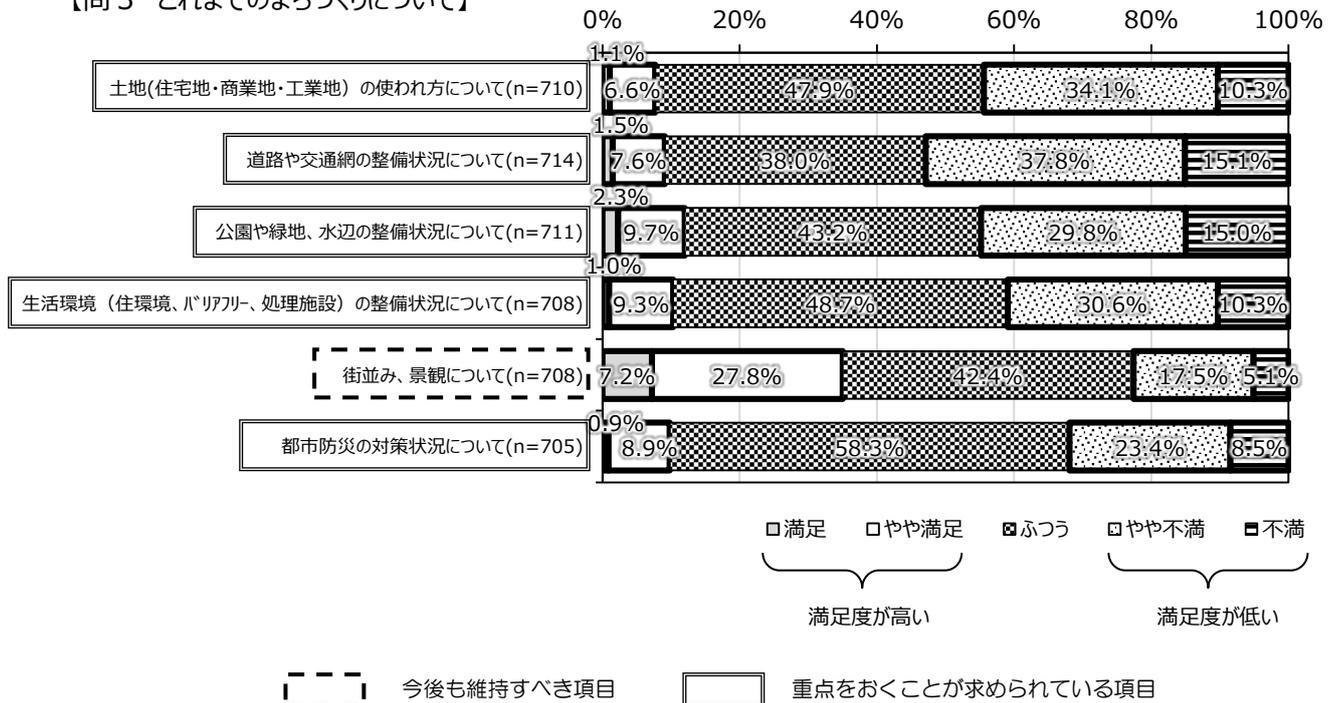


図6 これまでのまちづくりの満足度(再掲)

問3「これまでの小樽市のまちづくり」では、「街並み、景観について」の満足度の高い回答が低い回答を上回っていることから今後も方向性を維持すべき項目として考えることが出来ます。

一方で、これまでのまちづくりについて満足度の低い回答が上回っている「土地の使われ方」、「道路や交通網の整備状況について」、「公園や緑地、水辺の環境について」、「生活環境の整備状況について」、「都市防災の対策状況について」については、今後のまちづくりにおいて、重点をおくことが求められている項目であると考えられます。

アンケートの結果において、満足度が低かった「土地（住宅地・商業地・工業地）の使われ方について」は、問4の回答結果から、「市内に散在している空き家・空き地の活用を図る必要がある」が、重点をおくことが求められている項目であると考えられます。

【問4 土地（住宅地・商業地・工業地）の使われ方について】

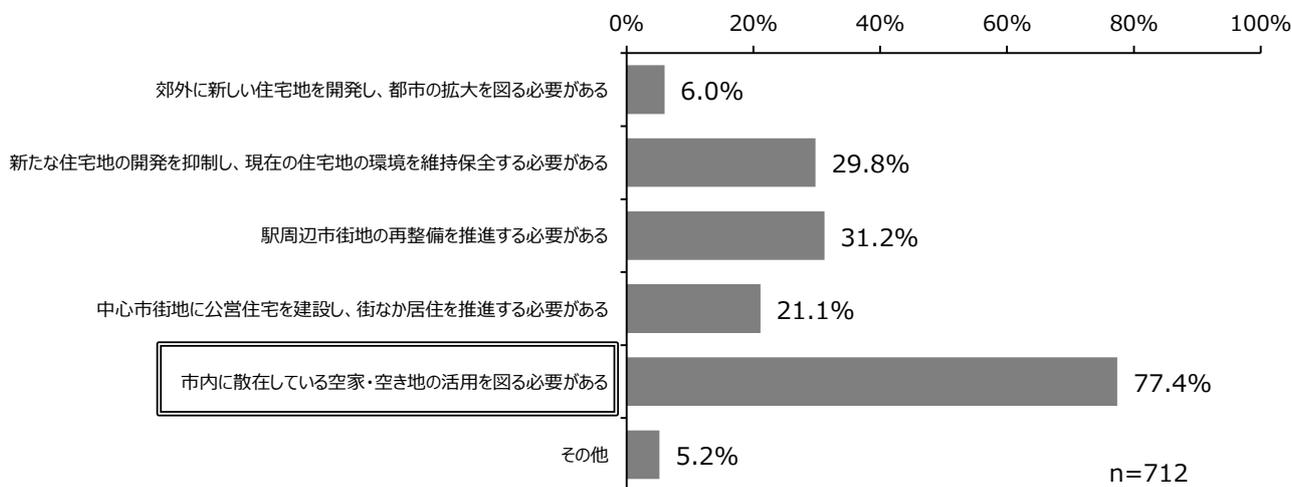


図7 今後重点をおくべき項目（再掲）

「道路や交通網の整備状況について」は、問5の回答結果から、「冬期交通の滑り対策や交差点の見通しの改善を図る」が、今後、重点をおくことが求められている項目であると考えられます。また、回答数は2番目ですが、将来の都市構造を見据え「バスや鉄道など、公共交通機関の充実を図る」についても同様に重点をおくことが求められている項目とします。

【問5 道路や交通網の整備状況について】

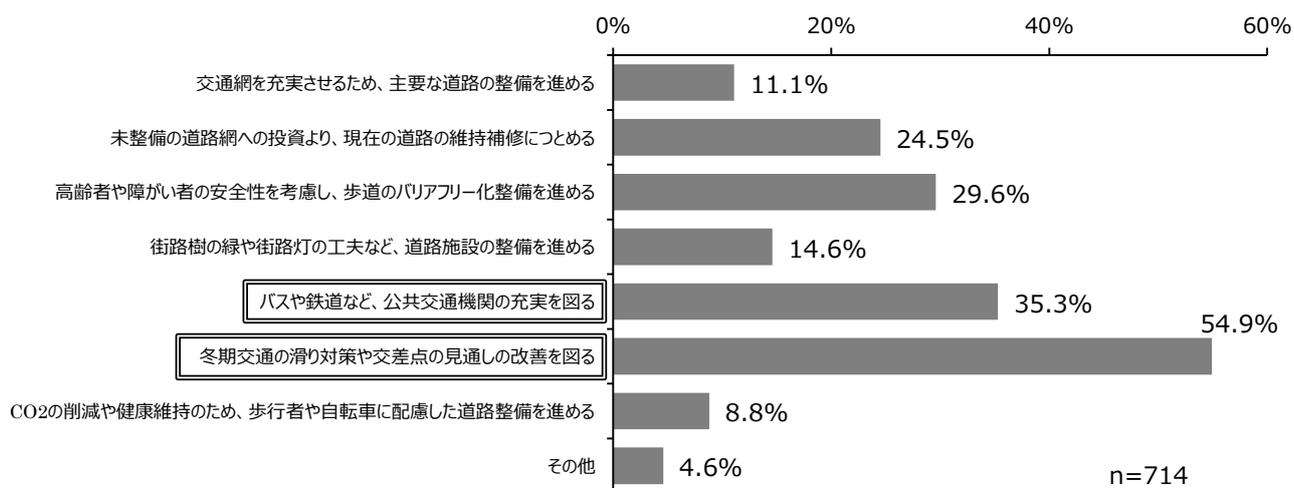


図8 今後重点をおくべき項目（再掲）

「公園や緑地、水辺の環境について」は、問6の回答結果から、「住宅地周辺にある既存の公園の充実を図る」が、今後、重点をおくことが求められている項目であると考えられます。

【問6 公園や緑地、水辺の環境について】

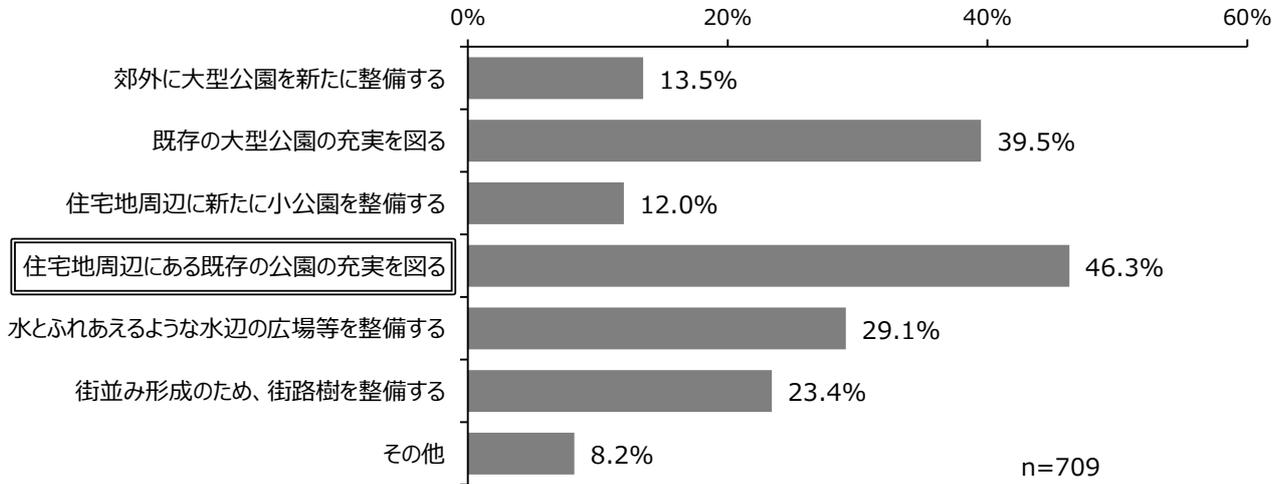


図9 今後重点をおくべき項目（再掲）

「生活環境（住環境・バリアフリー・処理施設）について」は、問7の回答結果から、「若年層やファミリー層向けの住宅施策を充実する」と「災害に対し、安全で機能性を重視した処理施設を整備する」が、今後、重点をおくことが求められている項目であると考えられます。

【問7 生活環境（住環境・バリアフリー・処理施設）について】

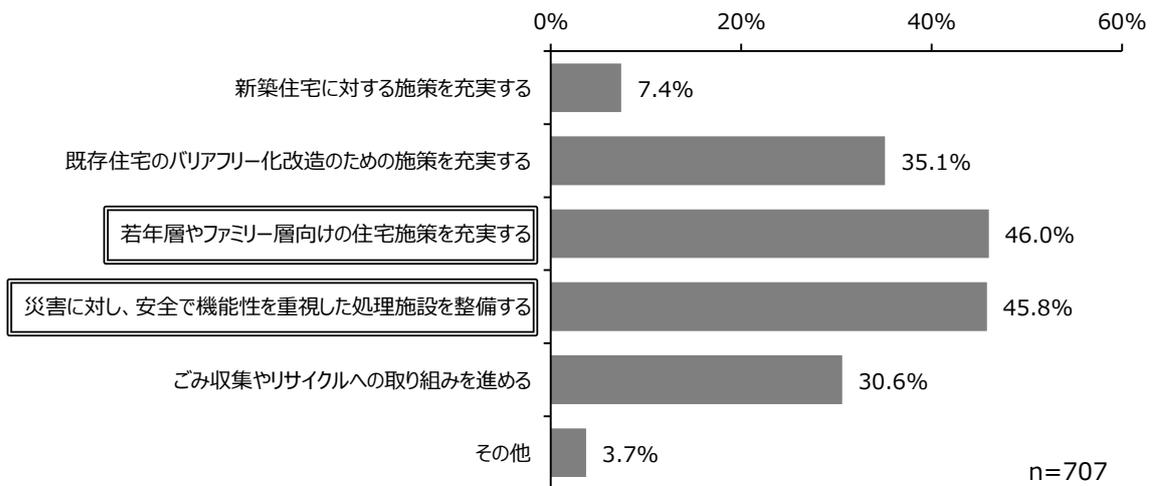


図10 今後重点をおくべき項目（再掲）

「都市防災について」は、問9の回答結果から、「防災拠点や避難施設となる公共施設の耐震化を図る」が、今後、重点をおくことが求められている項目であると考えられます。

【問9 都市防災について】

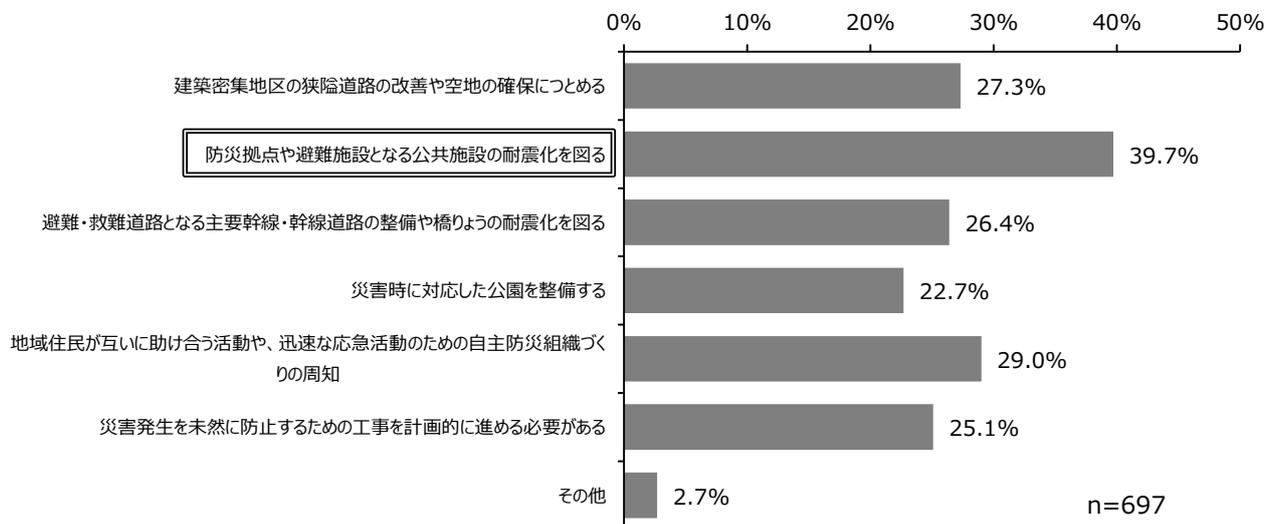


図12 今後重点をおくべき項目（再掲）

アンケートの結果から、満足度が低かったまちづくりの各項目について、以下の重点をおくことが求められている項目を取り組むことにより、まちづくりの満足度を高めることが可能であると考えられます。

表23 重点をおくことが求められている項目

まちづくりの項目	重点をおくことが求められている項目
土地の使い方について	市内に散在している空家・空き地の活用を図る必要がある
道路や交通網の整備状況について	冬期の滑り対策や交差点の見通しの改善を図る バスや鉄道など、公共交通機関の充実を図る
公園や緑地、水辺の整備状況について	住宅地周辺にある既存の公園の充実を図る
生活環境の整備状況について	若年層やファミリー層向けの住宅施策を充実する 災害に対し、安全で機能性を重視した処理施設を整備する
都市防災の対策状況について	防災拠点や避難施設となる公共施設の耐震化を図る

(2) 定住意向について

アンケートの問2では、「定住の意向」について、問3では、「これまでのまちづくりについて」、問4～問9では、今後のまちづくりにおいて「今後重点をおくべき項目」について質問しています。

これらについてクロス集計することによって、定住意向が最も低い年代がどのような取り組みに不満を持ち、今後のまちづくりについて何を期待しているのかを知ることが出来ます。

【問2 定住意向】(抜粋)

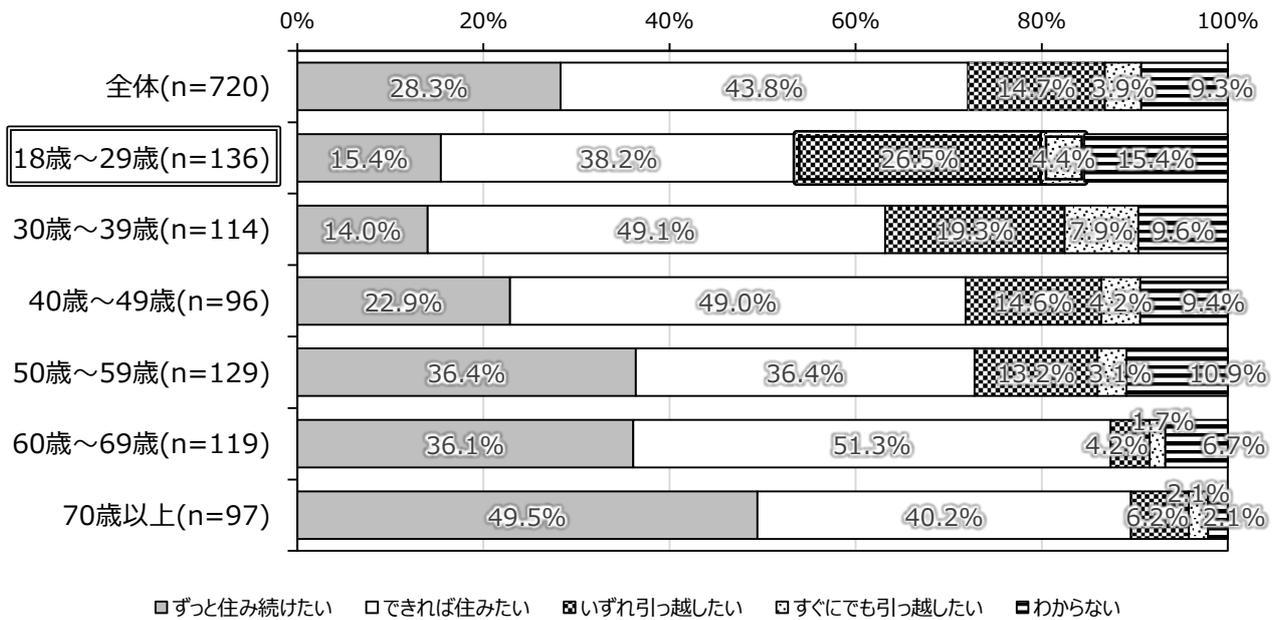


図5 定住意向【抜粋】

問2の集計結果では、「できれば住みたい（43.8%）」が最も多く、「ずっと住み続けたい」が28.3%と、定住に肯定的な回答で、72.1%となっています。

年代別では年代が低くなるにつれて定住意向も低くなる傾向にあり、「18歳～29歳」では、「いずれ引っ越したい」が26.5%、「すぐにでも引っ越したい」が4.4%と、最も低い結果となりました。

このため、「18歳～29歳」が小樽市のまちづくりに関してどのような不満を持ち、今後のまちづくりに対して何を期待しているかを確認します。

「18歳～29歳」は、これまでのまちづくりについて、「道路や交通網の整備状況について」の満足度が低くなっています。

【問3 これまでのまちづくりについて】（18～29歳回答）

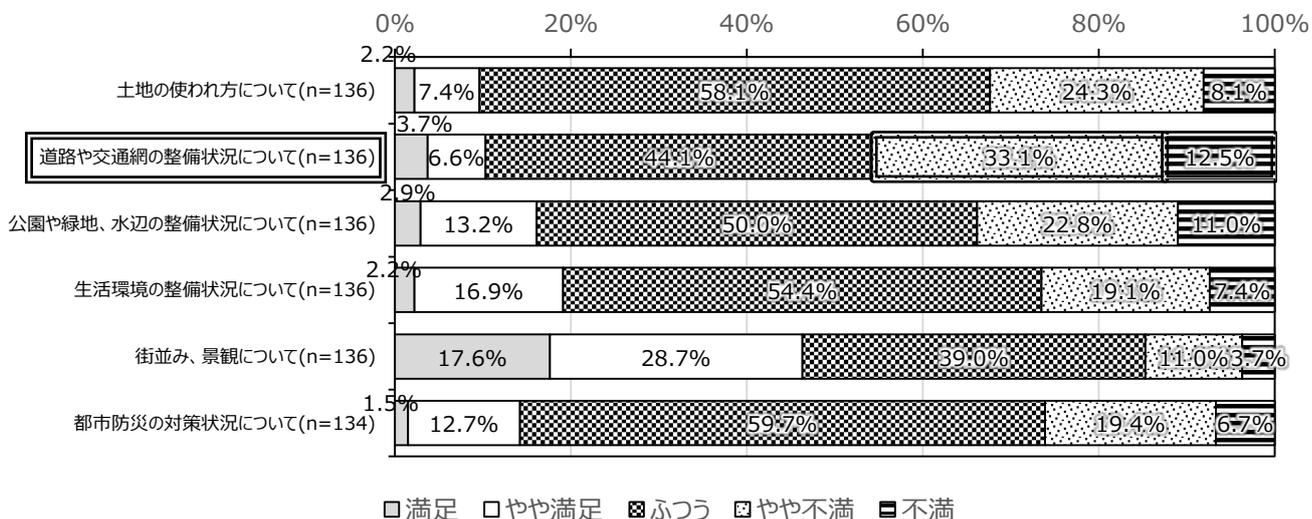


図27 これまでのまちづくりについて

満足度の低い道路や交通網の整備状況について、「18歳～29歳」は、今後のまちづくりで重点をおくべき項目を以下のように回答しています。

【問5 道路や交通網の整備状況について】（18～29歳）

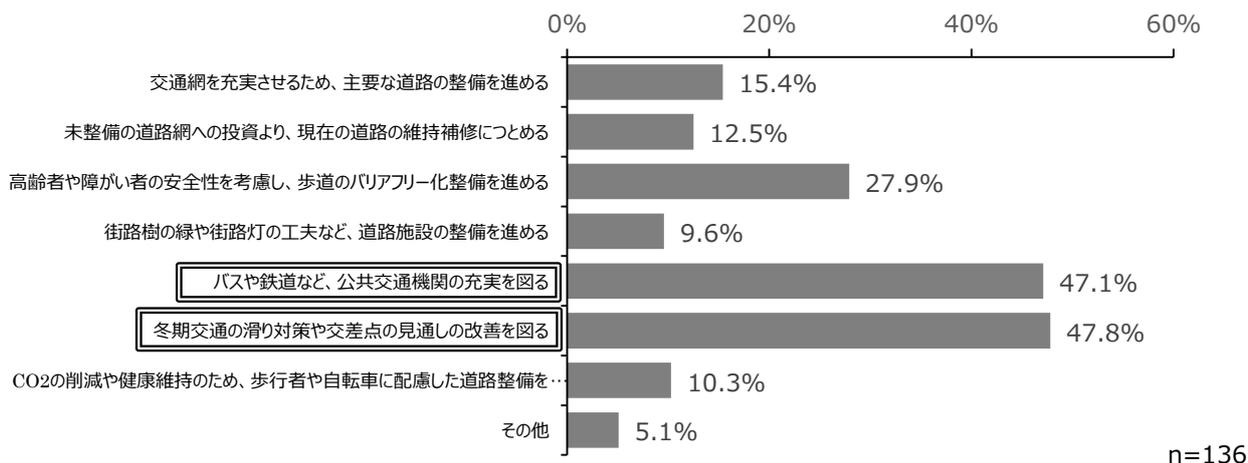


図28 今後重点をおくべき項目

「18歳～29歳」は、道路や交通網の整備について、「冬期の滑り対策や交差点の見通しの改善を図る」、「バスや鉄道など、公共交通機関の充実を図る」ことを今後のまちづくりで重点をおくべきと回答しています。この結果から、以下の項目について重点をおいて検討し取り組むことで、定住意向の低い世代の流出抑制に資することも可能と考えられます。

表 24 重点をおくことが求められている項目

まちづくりの項目	重点をおくことが求められている項目
道路や交通網の整備状況について	冬期の滑り対策や交差点の見通しの改善を図る バスや鉄道など、公共交通機関の充実を図る